



動画ディスプレイ

DP-V2410

使用説明書

ご使用の前に、必ずこの使用説明書をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。また、この使用説明書はいつでも
ご覧になれるよう、大切に保管してください。

日本語

目次

はじめに	4
本書について	4
商標	4
規格	4
付属品の確認	5
安全上のご注意	6
取り扱い上のご注意	10
本機の特長	11
各部名称	12
設置／接続のしかた	14
本機の持ち運びかた	14
保護板の取り付けかた	14
スタンドの取りはずしかた、取り付けかた	15
転倒・落下防止の処置をする	16
本機をスタンドや壁に取り付ける	17
本機と入力機器を接続する	18
電源の入れかた	20
本機の電源を入れる	20
操作のしかた	21
ジョグダイヤルの操作のしかた	21
OSDメニューの基本操作	21
映像全体を見ながら画質を調整する	23
調整値を一時保存する(アンカーポイントの設定)	24
ズーム表示を調整する	24
入力信号に応じて自動的に画質を切り換える	25
画面の右側／左側の画質を調整する(画質比較モード)	26
PCレスでキャリブレーションする	26
エクスポート／インポートする	28
日時を設定する	30
文字を入力する	31
ファンクション(F)ボタンを使う	31
チャンネル(CH)ボタンを使う	32
信号情報や本機の状態を確認する	33
外部機器を使って本機を操作する[LAN端子]	34
外部機器を使って本機を操作する[USB端子：Wi-Fi接続]	35
Webブラウザーを使って本機をリモート操作する	36
OSDメニュー	38
OSDメニューインデックス	38
画質設定	45
チャンネル設定	58
ディスプレイ設定	64
オーディオ設定	67
マーカー設定	68

ファンクション設定	73
ピクチャーファンクション設定	83
システム設定	87
シグナルインフォメーション	94
システムインフォメーション	94
主な仕様／性能	95
外形寸法	97
付録	98
対応信号フォーマット	98
画像・フレーム表示	112
エラーメッセージ	115
こんなときは	117
保証書とアフターサービス	119
修理について	120
本機で使用しているソフトウェアについて	121
索引	126

はじめに

このたびは、動画ディスプレイDP-V2410をご購入いただき、誠にありがとうございます。
ご購入時、本機のOSD(On Screen Display)メニューや表示されるメッセージは、英語表記になっています。必要に応じて、OSDメニューで言語を切り換えてください(📖87)。

本書について

本書では、見やすくするために加工した画面を一部、使用しています。

本文中の表記

- 📖：参照ページを示します。
- 📝 メモ：知っておいていただきたいことを示します。
- 📌 参考：参考情報を示します。
- 🚫 ご注意：守っていただきたいことを示します。

商標

- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- VESAは、Video Electronics Standards Associationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Wi-Fi、WPA、WPA2は、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Apple、Safariは米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- Google、Google Chromeは、Google LLCの商標または登録商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

規格

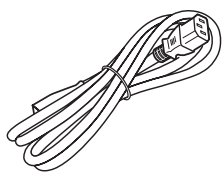
この装置はクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

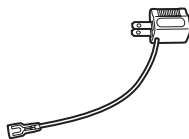
本機はJIS C 61000-3-2適合品です。

付属品の確認

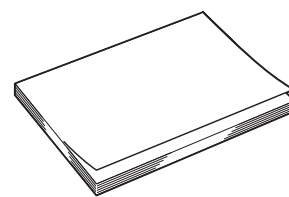
本機には、次の物が付属されています。ご使用になる前にお確かめください。



AC電源コード HT-20



電源プラグアダプター PU-01
(二芯変換アダプター)



DP-V2410使用説明書(本書)

安全上のご注意

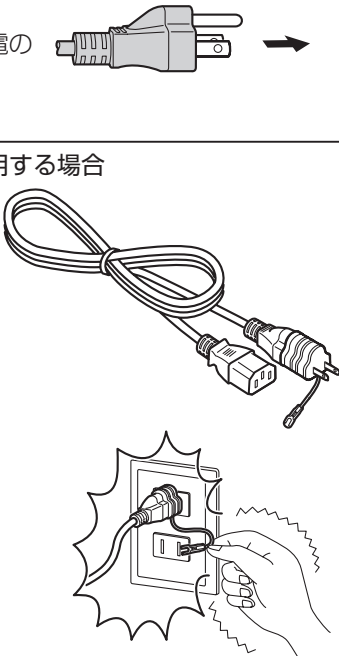
安全上の注意を表す記号

本書で使用している記号について説明します。本書では製品を安全にお使いいただくため、大切な記載事項には次の記号を使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

 警告	この記号を無視して取り扱いを誤った場合に、死亡または重症を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全にお使いいただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
 注意	この記号を無視して取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
	この記号を無視して取り扱いを誤った場合に、火災の発生が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
	この記号を無視して取り扱いを誤った場合に、感電の可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 禁止  接触禁止  分解禁止  めれ手禁止  水濡れ禁止	これらの記号は、行ってはいけない行為(禁止事項)を示しています。
 アース線を接続する  電源プラグを抜く	これらの記号は、行わなければならない行為を示しています。
	この記号は、必ず実行していただく指示の内容を示しています。

 警告	
  	ディスプレイを分解・改造しないでください。 内部には高電圧・高温・可動部があり、火災や感電、やけど、けがの原因となります。内部の点検・整備は販売店にご依頼ください。
  	異物を入れないでください。液体を置かないでください。 本製品内部に金属、燃えやすい物や液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。万一、本製品内部に液体をこぼしたり、異物を落とした場合には、販売店にご相談ください。
  	正しい電源電圧で使用してください。 指定の電源電圧以外で使用すると火災や感電の原因となります。 本製品付属(指定)のAC電源コードをご使用ください。また、このAC電源コードは、安全のため他の機器には使用できません。
  	DC入力端子に規格以外の入力電圧をかけないでください。 DC入力端子に規格以外の入力電圧をかけると火災や感電の原因となることがあります。

⚠ 警告

	次のような場所で使用しないでください。 火災や感電、故障の原因となります。 • 雨天や積雪中の窓際 • 湿気やほこりの多い場所 • 水滴のかかる場所。浴室、水場など • 油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く • 可燃性ガスのある環境 • 直射日光の当たる場所
	直射日光の当たる場所に設置・保管しないでください。 内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。
	電源コードを傷つけないでください。 電源コードに重い物をのせる、引っ張る、加工する、加熱する、束ねて結ぶなどをしないでください。電源コードが破損(芯線の露出、断線など)し、火災や感電の原因となります。
	アース付き3ピンプラグの場合 アースを接続してください。 アースが接続されないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因となることがあります。 本機の電源プラグはアース付き3ピンプラグです。 付属の電源プラグアダプター(二芯変換アダプター)を使用する場合 電源コードの取り扱いについて以下の点にご注意ください。感電またはけがの原因となります。 • 電源コードのアース端子を必ずアースに接続してください。 アース端子を接続しないと感電の原因となります。 • アース端子の接続は、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。またアース端子をはずすときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。 
	雷が鳴り出したら、電源プラグや電源コードには触れないでください。 感電の原因となります。
	ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。 ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

⚠ 警告

	電源および電源プラグの取り扱いについて以下の点にご注意ください。火災や感電の原因となります。 - 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。 - 電源プラグを抜くときはプラグ部分を持ってください。コードを引っ張るとコードが傷ついて火災や感電の原因となります。 - 電源プラグはほこりなどが付着しないように定期的に清掃してください。 - 電源プラグの周囲に物を置かないでください。 - タコ足配線をしないでください。 - コンセント付き延長コードを使う場合は、接続する機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。
	本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりした場合は、すぐに本製品の電源を切り、AC電源またはDC電源プラグをコンセントから抜いてください。 本製品は精密機器です。そのまま使用を続けるとショートして、火災や感電の原因となります。販売店にご相談ください。
	お手入れの際は、電源を切り、AC電源またはDC電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電の原因となることがあります。
	本製品の移動や取り付け・取りはずし、周辺機器との接続の際は、本製品に接続している機器および本製品の電源を切り、AC電源またはDC電源プラグをコンセントから抜いてください。 火災や感電、故障の原因となります。
	万一、異常現象(煙、異音、においなど)が発生した場合は、すぐに電源を切り、AC電源またはDC電源プラグをコンセントから抜いてください。 そのまま使用を続けると火災や感電の原因となります。販売店へご相談ください。
	いつでも電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。 万一、本製品に異常が起きたとき、すぐに電源プラグが抜けないと、火災や感電の原因となることがあります。
	通気孔をふさがないでください。 通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。 風通しをよくするために次の項目をお守りください。 - 密閉された狭い場所に押し込めないでください。 - 布などで包まないでください。 - あお向けや横倒し、逆さまにしないでください。
	設置および取り扱い上のご注意 長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグにほこりがたまり、火災の原因となることがあります。
	画面が破損して漏れた液晶(液体)には、触れないでください。 誤って液晶パネルを破損し、中の液晶(液体)が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけないようにしてください。万一、液体が目や口に入った場合は、すぐに水ですすいでください。また、皮膚や衣服についた場合は、すぐにアルコールなどでふき取り石鹸で洗い流してください。付着したまま放置すると、皮膚や衣服を傷めることがあります。
	梱包用の袋は子供の手の届かない場所に保管してください。 梱包用の袋をかぶったりすると、窒息の原因となります。

⚠ 注意

	本製品の上に物を置いたり、上に乗ったりしないでください。 倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。
	不安定な場所に設置しないでください。 ぐらついた台の上や傾いたところなどに設置すると、ディスプレイが落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を十分にお確かめください。
	転倒・落下防止の対策をしてください。 地震の場合などに倒れる恐れがあります。安全のため、スタンドを固定するなど、必ず転倒・落下防止処置をしてください(📖 16)。転倒・落下防止対策は、けがなどの危害を軽減するためのものであり、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。
	本機を設置するときは、指定手順に従って行ってください(📖 14)。 設置が正しく行われないと、本機が傾いたり落下したりすることにより、けがの原因となることがあります。
	一年に一度程度、取り付け状態を点検してください。 取り付け状態に不備があると、落下してけがの原因になります。
	ヘッドホン使用時には音量を上げすぎないでください。 ヘッドホンから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

取り扱い上のご注意

画面について

- 画面を強い光に向けたままにすると、画面を傷めてしまいます。窓際や室外などで使用するときにはご注意ください。
- 画面を強く押したり、引っかいたり、画面上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、パネルの故障の原因となります。
- 使用中に画面やキャビネットが温かくなることがありますが、故障ではありません。

バックライトについて

バックライトには寿命があり、経年劣化により輝度の低下や色の変化などが起こる恐れがあります。

焼き付きについて

同じ画像を長時間表示していると、画像が変わったときに前の画像が残像として見えることがあります。これは、液晶ディスプレイの特性であり、故障ではありません。なお、残像は通常の動画をしばらく表示すれば解消されます。

輝点・滅点について

液晶ディスプレイは、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。また、これは、液晶パネルの特性上、長期間の使用により増加する場合があります。これらの現象は、故障ではありません。

結露について

本機を冷えた状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、室温を急に上げたりすると、製品の表面や内部に露が発生することがあります(結露)。そのままの状態で使用すると、故障の原因となることがありますのでご注意ください。結露した場合は、水滴が消えるまで製品の電源を入れずに放置してください。

お手入れについて

- お手入れをする前に、必ずAC電源またはDC電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 画面には特殊な表面処理をしていますので、直接手で触れないようにしてください。また、シールなどの粘着物は絶対に貼らないでください。
- アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄液、化学ぞうきんなどは、画面を傷めますので絶対に使用しないでください。
- 画面の汚れは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの乾いた柔らかい布でそっと拭いてください。強く拭くと、画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。また、クリーニングクロスにゴミなどが付着したまま強く拭くと、画面に傷が付くことがありますのでご注意ください。
- 画面の汚れがひどいときは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布に、水で薄めた中性洗剤を少し含ませて軽く拭いてください。
- 画面の表面からほこりを取り除くときは、ブローアーをご使用ください。
- キャビネットの汚れは、柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどい場合は、布に水または水で薄めた中性洗剤を少量含ませてください。また、アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、キャビネット上の文字などが消えてしまうことがあるので、使用しないでください。

廃棄するときは

- 一般の廃棄物と一緒にしないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中にディスプレイを捨てないでください。
- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

本機の特長

動画ディスプレイDP-V2410は、キヤノン画作りの技術を踏襲した高画質に加え、撮影用途に適した性能、機能を搭載することで、デジタルシネマと放送双方の映像制作に適したリファレンスディスプレイです。

撮影用途に適した画質性能、機能を搭載

- 解像度4096x2160のパネルおよびバックライトシステムを搭載
- 明所での使用を考慮した高輝度を実現
- 2000：1以上の高コントラストを実現
- 温度変化や経年劣化による変動を抑えて高均一性を実現
- DCI-P3の広色域に対応
- 画質性能を向上させる機能を搭載
 - 明所で使用するとき輝度を上げる「ブースト(コントラスト)」に対応
 - ITU-R BT.2020の色域を最適に表示し、また「コンスタントルミナンス」にも対応
- HDR (High Dynamic Range)表示機能を搭載
- ACESproxyに対応
- 波形モニター、ベクトルスコープ、スクリーンキャプチャー、ズーム、フォルスカラーなど、撮影の利便性や映像確認を考慮した機能を搭載
- ITU-R BT.1886で規格化されているCRT同等のガンマに対応
- USB端子にはカラーグレーディング用コントローラー(Tangent Wave社製 Element-Tk)や外付けセンサー、USBメモリー、無線LAN子機(Wi-Fiアダプター)が接続可能
- LAN端子に別売のディスプレイコントローラー CL-01が接続可能
- 3G/HD-SDI端子を搭載し、「Square Division」と「2 Sample Interleave Division」の2つの伝送方式に対応
- マルチ表示機能(4画面または2画面)を搭載
- HDMI入力端子搭載

デジタルシネマカメラ連携

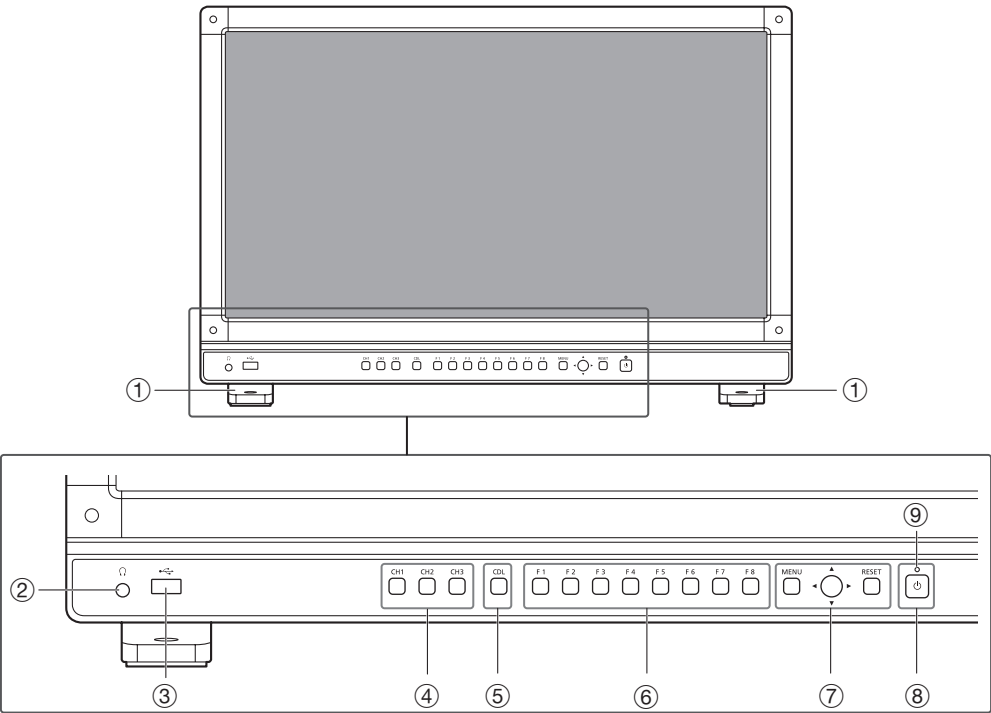
- 4K RAWに対応。ACES2065-1上で4K RAWワークフローを構築
- CINEMA EOS SYSTEM連携
- ARRI社製／パナソニック株式会社製カメラシステム連携

機動力

- 24型、質量12 kg以下の小型・軽量ボディ
- 金属外装を採用した高い堅牢性
- 設置、持ち運びに便利なハンドルや、2種類の位置から選択できるスタンドなどを装備し、柔軟な設置性と高い可搬性を実現
- DC電源入力に対応

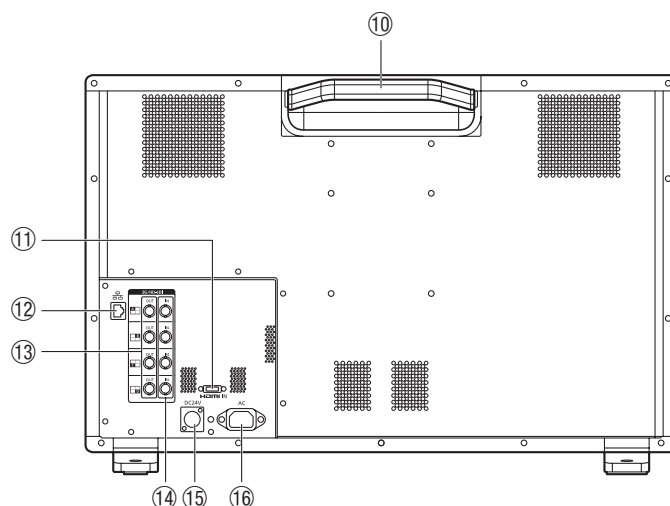
各部名称

■ 本体前面



①	スタンド	設置位置は2種類から選択できます。	15
②	ヘッドホン端子	ヘッドホンを接続します。	67
③	USB端子	キャリブレーション用外付けセンサー(26)、USBメモリー、HUB、カラーグレーディング用コントローラー(Tangent Wave社製 Element-Tk)、無線LAN子機(Wi-Fiアダプター、 35)を接続します。	—
④	CH1-3ボタン	チャンネルをダイレクトに切り換えます。	32
⑤	CDLボタン	通常モードとCDLモードを切り換えます。	—
⑥	F1-F8ボタン	登録した機能を実行します。Fボタンには、通常モードとCDLモードごとに、異なる機能を割り当てることができます。	31
⑦	MENUボタン	OSDメニューを開く／閉じます。メニュー内では1つ上の階層に戻ります。	21
	ジョグダイヤル	OSDメニュー内でのフォーカスの移動や設定内容を変更(上下左右、回転)、決定(押す)します。	21
	RESETボタン	スライドバーで調整する項目と文字入力の設定内容をリセットします。	21
⑧	⏻(電源)ボタン	電源を入／切します。	20
⑨	電源ランプ	本体の状態を表示します。電源ランプの明るさを「オフ」、「1(暗い)～5(最も明るい)」に設定できます(89)。「オフ」でも、ファームウェアアップデート中／異常検出時は点滅します。 消灯：AC電源またはDC電源が接続されていないとき 緑点灯：AC電源またはDC電源が接続されていて、本機の電源が入のとき 緑点滅：キャリブレーション中／ファームウェアアップデート中 橙点灯：スタンバイ(AC電源またはDC電源が接続されていて、本機の電源が切のとき)時 橙点滅：異常検出時	—

■ 本体背面



⑩	キャリングハンドル	設置・接続や持ち運ぶときに使用します。	14
⑪	HDMI入力端子	HDMI信号を入力します。	19
⑫	LAN(10/100 BASE)端子	別売のディスプレイコントローラー CL-01などを接続します。	—
⑬	3G/HD-SDI出力端子	⑭に対応するスルーアウト出力です。	—
⑭	3G/HD-SDI入力端子	SDI信号を入力します。	18
⑮	DC電源入力端子	DC電源を接続します。	20
⑯	AC電源入力端子	付属のAC電源コードを接続します。	20

🔍 ご注意

- USB端子にキャリブレーション用外付けセンサーを接続する場合、3 mを超える長さのケーブルは使わないでください。通信エラーが起き、正しくキャリブレーションできない可能性があります。
- USB端子に無線LAN子機(Wi-Fiアダプター)を接続する場合、HUBは使わないでください。本機が正しく動作しない可能性があります。
- 周辺機器を接続するときは、安全のために、過電圧を持つ可能性があるコネクタを本機の端子に接続しないでください。
- SD-SDI信号は、正しくスルーアウト出力されません。

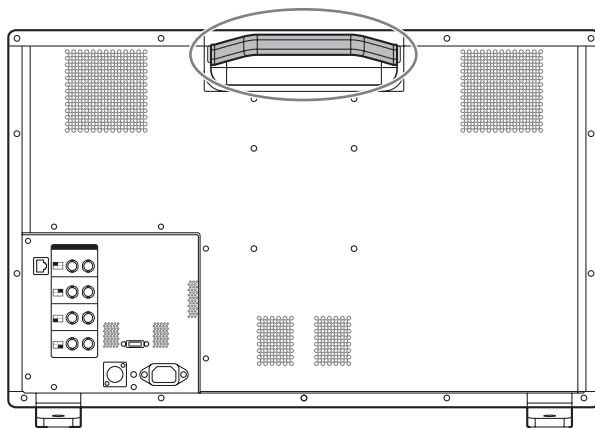
📝 メモ

- USBメモリーは、FAT16または FAT32でフォーマットされたものに対応しています。
- すべてのUSBメモリーの動作を保証するものではありません。
- USBメモリーが認識されるまで、10秒以上かかる場合があります。認識中に、USBメモリーに保存する機能を実行すると、「USBメモリー検出中です。」が表示されます。

設置／接続のしかた

本機の持ち運びかた

本機を持つときは、必ず背面のキャリングハンドルを持ってください。



⚠ ご注意

- 本機を持ち運ぶときには、画面に触れたり傷つけないようにご注意ください。

保護板の取り付けかた

運搬や屋外の使用時に画面を保護する保護板を取り付けることができます。

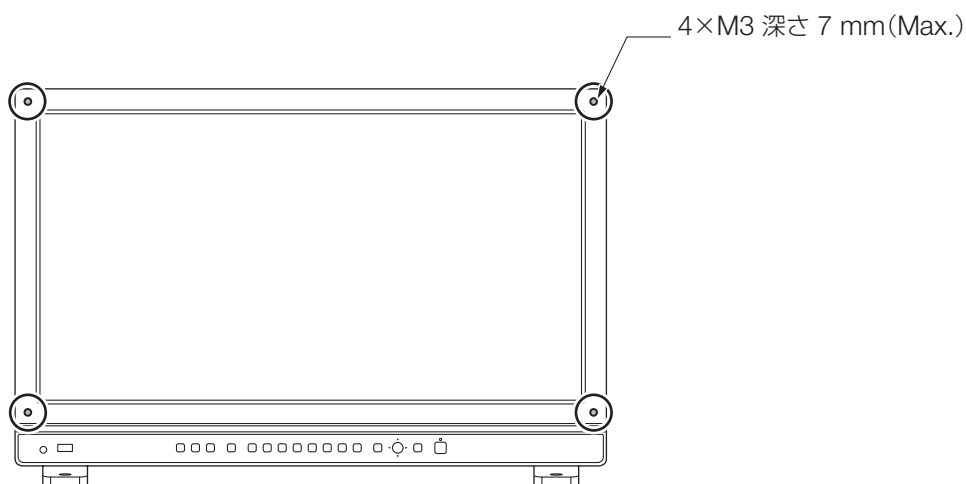
1. 前面4つのネジをはずす

1.5 mmの六角レンチをご使用ください。

はずしたネジは紛失しないように保管してください。このネジは他の用途に使用しないでください。

2. 4つのネジ穴に保護板を取り付ける

保護板が割れないように注意して、取り付けてください。



⚠ ご注意

- 作業中に画面に触れたり傷つけないようご注意ください。

スタンドの取りはずしかた、取り付けかた

スタンドは2種類の位置から選択できます。スタンドの位置を変えたり、ラックや壁に取り付けたりするときの、スタンドの取りはずしかたと取り付けかたを説明します。

📌 ご注意

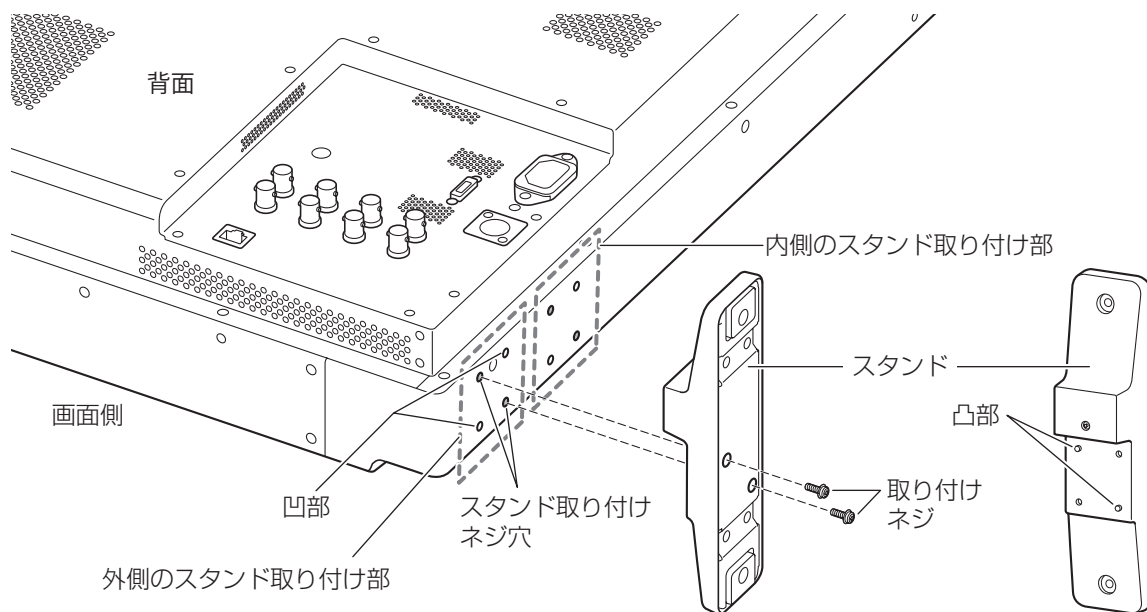
- 取りはずし、取り付けの作業は、机の端などを利用し、スタンドが机の上に乗らないように置いて作業してください。また、突起物のない、平らな机をご使用ください。
- スタンドをはずした状態で机や台に置くとときには、転倒しないような処置をしてください。
- 作業中に画面に触れたり傷つけたりしないようご注意ください。

■取りはずしかた

1. ディスプレイの外形より一回り大きい柔らかい布やクッション材の上に、画面を下にしてディスプレイを置く
2. 4つの取り付けネジをはずす
はずしたネジは紛失しないように保管してください。このネジは他の用途に使用しないでください。

■取り付けかた

1. ディスプレイの外形より一回り大きい柔らかい布やクッション材の上に、画面を下にしてディスプレイを置く
2. スタンドと本機のネジ穴の位置を合わせる
スタンドの凸部と本機の凹部を合わせます。
3. 左右のスタンドを、それぞれ2つの取り付けネジで固定する



📌 メモ

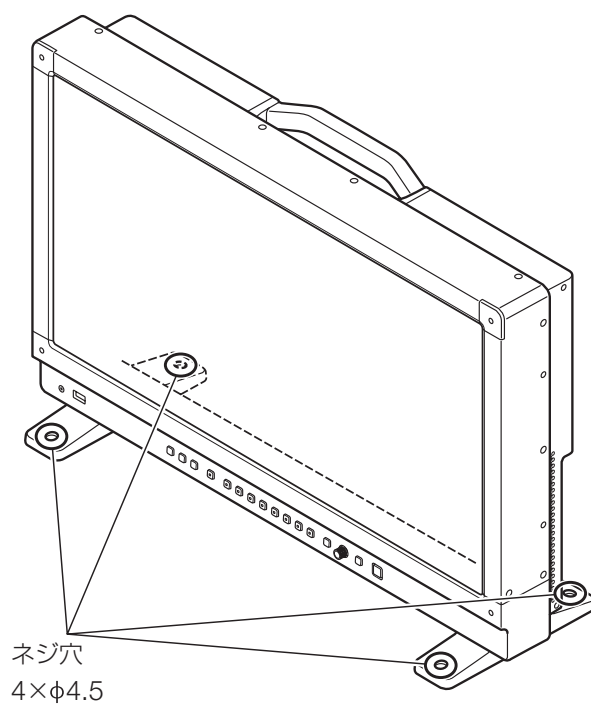
- スタンドの取り付け位置は、外側どうし、内側どうしの組み合わせをお勧めします。

転倒・落下防止の処置をする

本機のスタンドにあるネジ穴を利用して固定すると、本体の転倒・落下を減少できます。

1. ネジ穴のサイズに合うネジを使用し固定する

ネジ穴のサイズは次のとおりです。



ご注意

- 台に固定する場合には、本機の重量に耐える堅牢な物をご使用ください。
- 作業中に、本機が落下、転倒などしないように必ず2人以上で作業してください。
- 作業中に画面に触れたり傷つけたりしないようご注意ください。

本機をスタンドや壁に取り付ける

市販のスタンドや壁掛け金具などに、本機を取り付けることができます。事前にスタンドを取りはずしてください (15)。

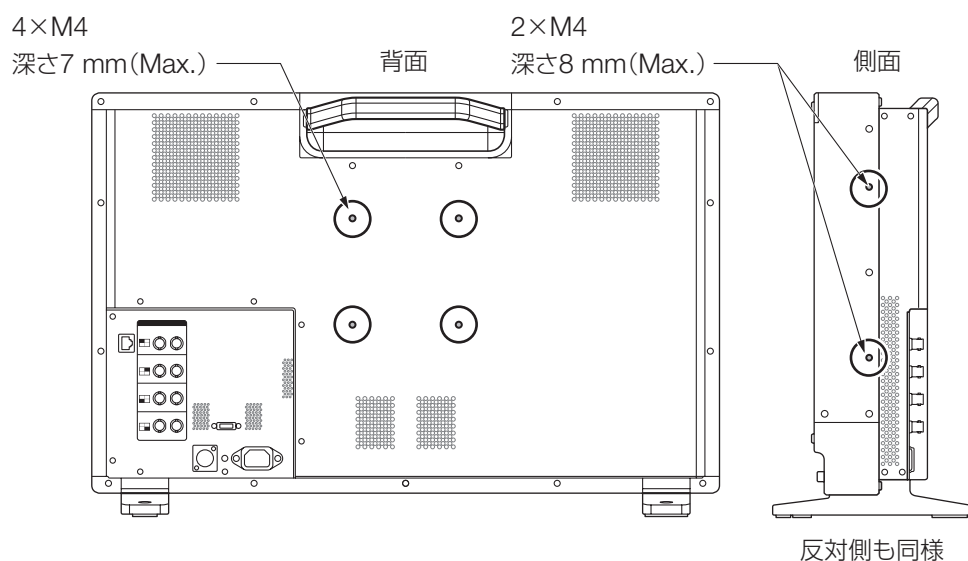
本機対応のネジタイプは、M4×7 mm (VESA規格準拠 100 × 100 mm) です。

⚠ ご注意

- 安全のため、必ず2人以上で作業してください。
- 本機を壁に取り付けるときは、壁の強度を確認のうえ、適切な補強を行ってください。また、スタンドや壁掛け金具の耐荷重もご確認ください。
- 本機をラックやディスプレイ棚に収納した場合、上下および周辺の機器によりディスプレイ周辺の通気が妨げられると、動作温度が上がり、故障や発熱の原因となる可能性があります。本機の動作条件温度0℃から40℃を保つように、上下に1 U (4.4 cm) 以上の隙間、また、背面から4 cm以上の隙間をあげ、周辺機器との隙間を十分にとり、通気孔の確保や通気ファンの設置などの配慮をしてください。
- 壁に取り付ける場合には、ケーブル類が折れないように、壁との間に十分なスペースを取ってください。
- 市販のスタンドや壁掛け金具を取り付ける場合には、キャリングハンドルと接触しないようご注意ください。
- 作業中に画面に触れたり傷つけたりしないようご注意ください。
- 取り付け、取りはずしのときは、落下にご注意ください。

1. 本体背面や側面の4つのネジ穴に、市販のスタンドや壁掛け金具を取り付ける (97)

ネジ穴のサイズは次のとおりです。



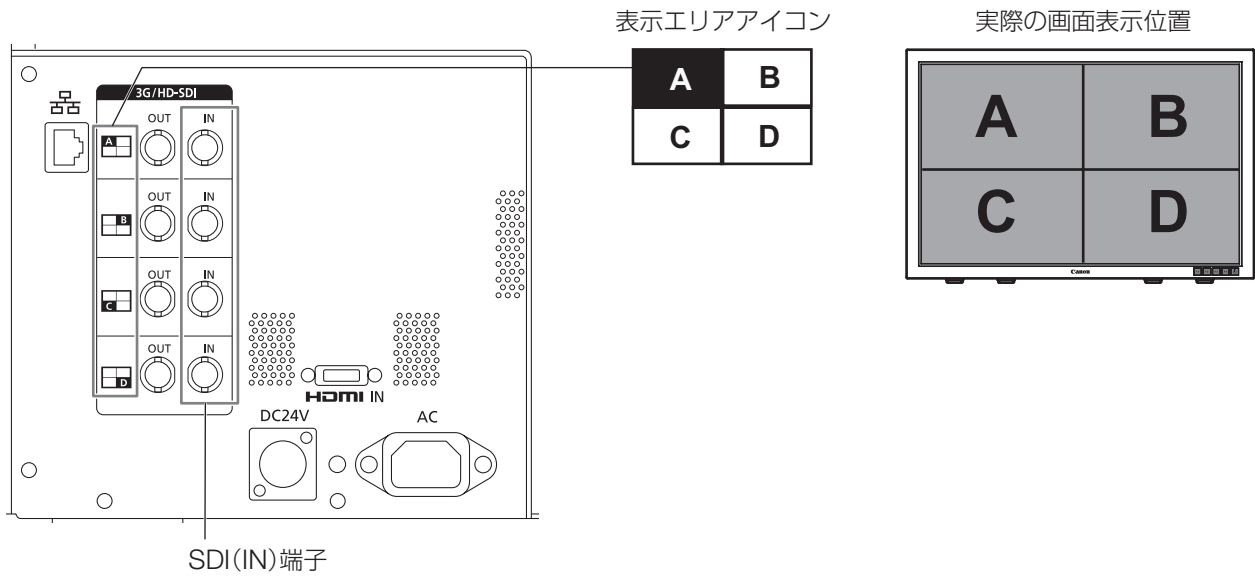
本機と入力機器を接続する

本機には3G/HD-SDIとHDMIの入力端子があり、これらの端子に入力機器を接続します。

- 🔍 ご注意
- 接続する前に、本機と入力機器の電源が入っていないことをご確認ください。

■SDI入力信号

3G/HD-SDI入力端子部にある表示エリアアイコンを参考に、正しく接続してください。



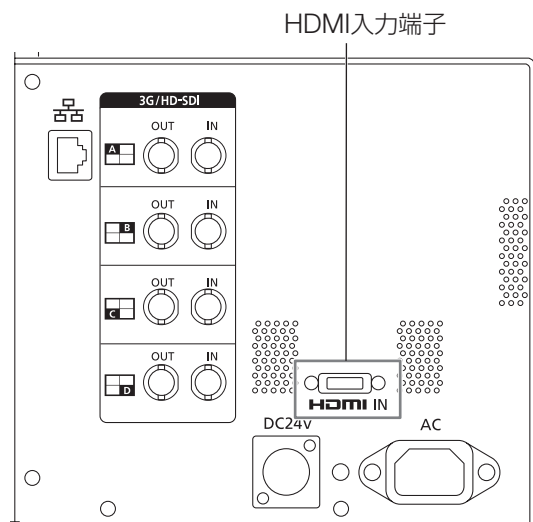
	入力信号		入力端子	
Quad Link (Square Division)	3G/HD-SDI	左上 マッピング信号	Input A	1系統
		右上 マッピング信号	Input B	
		左下 マッピング信号	Input C	
		右下 マッピング信号	Input D	
Quad Link [※] (2 Sample Interleave)	3G-SDI	Link 1	Input A	1系統
		Link 2	Input B	
		Link 3	Input C	
		Link 4	Input D	
Dual Link [※]	3G-SDI	Link 1	Input A	2系統
		Link 2	Input B	
		Link 1	Input C	
		Link 2	Input D	
Single Link	3G/HD/SD-SDI	—	Input A/Input B/ Input C/Input D	4系統

※ 「Image Division」が「オート」のときは自動で切り換わります。

📄 参考

- カナレ電気株式会社製 BNCケーブル(マルチ) 4VS03A-5Cで動作確認しています。
- 3G-SDI RAWは、30.00Pを超える周波数の場合、Dual接続になります。
- スルーアウト出力は、各入力端子に対応しています。Input Aから入力しているときは、Input AのSDI(OUT)端子にケーブルを接続します。

■ HDMI入力信号



📌 ご注意

- HDMIケーブルは、High Speedロゴが明記されたHDMI規格に適合するケーブルをご使用ください。HDMI規格に適合しないケーブルを使用すると、映像が途切れる、映らないなど正常に動作しない場合があります。

電源の入れかた

本機の電源の入れかたを説明します。

本機の電源を入れる

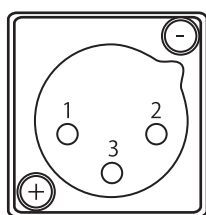
1. 背面のAC電源入力端子に付属のAC電源コード HT-20を差し込む

スタンバイ状態になり、電源ランプが橙色に点灯します。

■ DC電源を使用するとき

DC電源入力端子の仕様は次のとおりです。正常に接続されると、スタンバイ状態になり、電源ランプが橙色に点灯します。

※ DC電源入力端子の仕様をご確認のうえ、本機に適合するものをご使用ください。特に電圧と極性が適合しないものを使用すると、火災や感電の原因となります。



ピン番号	信号
1	– (GND)
2	+(24V - 28V、許容電流 10 A以上)
3	N.C.

2. 前面の電源ボタン を押す

電源ランプが緑色に点灯します。

ご注意

- 付属の電源プラグアダプター PU-01を使用する場合は、必ずアース端子をアースに接続してください。
- DCコードは、許容電流10 A以上、長さ2 m以下のものを使用してください。2 mを超えるDCコードを使用すると、映像が途切れる、映らないなど正常に動作しない場合があります。
- DC電源入力端子には、音声機器や音声用ケーブルを接続しないでください。故障の原因となります。

メモ

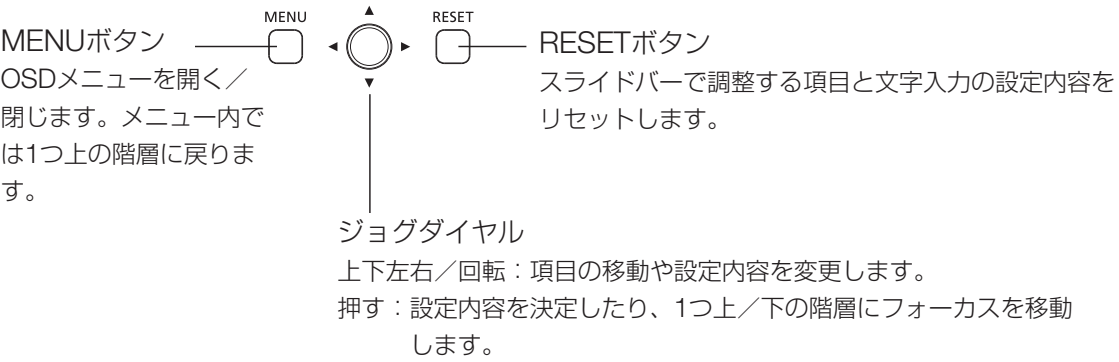
- 本機の輝度を安定させるためにウォームアップが必要です。電源を入れて10分以上経ってからご使用ください。
- DC電源を使用中にAC電源を接続すると、優先的にAC電源に切り替わります。その場合、一度電源が切になり、再起動します。
- 動作確認済みDC電源の詳細情報は、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

操作のしかた

本機のボタンやジョグダイヤルで、画質調整や入力信号の設定を行います。また、CHボタンやFボタンによく使う設定や機能を登録することができます。

ジョグダイヤルの操作のしかた

ジョグダイヤルの操作のしかたは次のとおりです。



OSDメニューの基本操作

OSDメニューの基本操作を説明します。

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く

トップ画面		
メインメニュー	サブメニュー	設定内容
画質設定		
ピクチャーモード		ITU-R BT.709
コントラスト		● ——— ● 1000
ブライトネス		* ——— * 0
クロマ		● ——— ● 1000
シャープネス		● ——— ● 0
バックライトコントロール		ローカルタイミング 弱
色温度		D65
カラーガマット		ITU-R BT.709
ガンマ/EOTF		2.2
カラーレンジ		オート (リミテッド)
CDL/User LUT		CDL 3
詳細設定 (ブースト,LUTインポート....)		
画質設定アンカー		
画質設定リセット		

2. ジョグダイヤルで項目を選択し、押して決定する

フォーカスがサブメニューに移動します。

3. ジョグダイヤルで項目を選択し、押して決定する

フォーカスが設定内容に移動します。

4. ジョグダイヤルで設定内容を選択する

ジョグダイヤルの動作に応じて、設定内容が変化します。

画質設定		
	ピクチャーモード	SMPTE-C
	コントラスト	EBU
	ブライトネス	ITU-R BT.709
	クロマ	ITU-R BT.2020
	シャープネス	Adobe RGB
	バックライトコントロール	DCI-P3
	色温度	User 1 (2020 PQ)

5. ジョグダイヤルを押して決定する

フォーカスがサブメニューに戻ります。

6. メニューを終了する

MENUボタンを押すと、フォーカスが1つ上の階層に移動します。メニューを終了させるときは、トップ画面のメインメニューまでフォーカスを移動させてMENUボタンを押します。

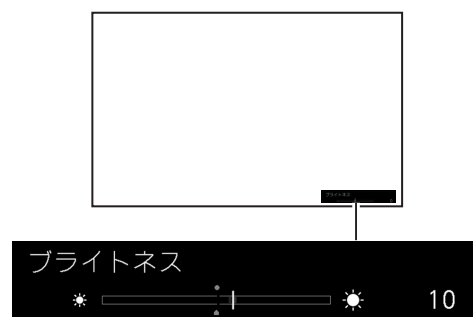
メモ

- 次の機能は、画質を調整後にRESETボタンを押すと、工場出荷時の設定またはアンカーポイント(24)に戻すことができます。
 - 「コントラスト」、「ブライトネス」、「クロマ」、「シャープネス」、「Power」、「Saturation」、「Offset」、「Slope」
- なお、キャリブレーションを実行している「User 1-7」モードは、工場出荷時ではなくキャリブレーション後の設定内容に戻ります。
- 画質を調整するときには、本機の輝度を安定させるためにウォームアップが必要です。電源を入れて、10分以上経ってから実施してください。
- OSDメニューとスライドバーは約1分間、Fボタンは約10秒間何も操作をしないと自動的に消えます。
- 設定できない項目は、グレー表示になります。

映像全体を見ながら画質を調整する

OSDメニューを表示しているときに、画面下部にスライダーだけを表示させ、映像全体を見ながら画質を調整できます。

1. 設定内容にフォーカスがあるときに、ジョグダイヤルを押す
スライダーが画面の下部に表示されます。
2. スライダーを目安にジョグダイヤルで調整する
3. 調整が終了したら、ジョグダイヤルを押す
元のOSDメニュー画面に戻ります。



■「色温度」の「ゲインR/G/B、バイアスR/G/B」の操作

「ゲインR/G/B」と「バイアスR/G/B」の調整用スライダーが表示されているとき、RGBをまとめて、またはそれぞれ個別に調整できます。

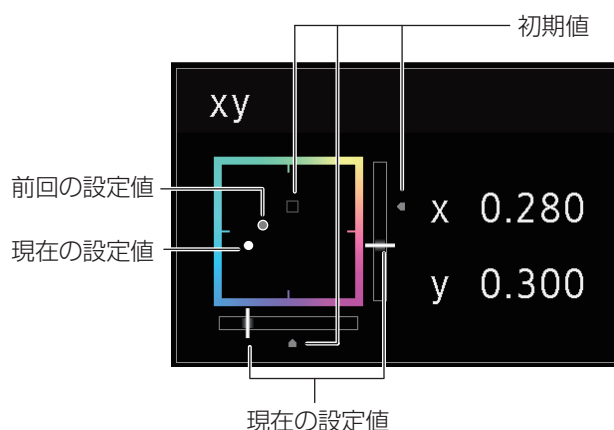
1. スライダー画面右上のガイドをジョグダイヤル(▲▼)で切り換える
「RGB」、「R」、「G」、「B」と表示が切り換わります。
2. 調整が終了したら、ジョグダイヤルを押す
元のOSDメニュー画面に戻ります。



■「色温度」の「x, y」の操作

カラーマップ上で、「x, y」を調整できます。

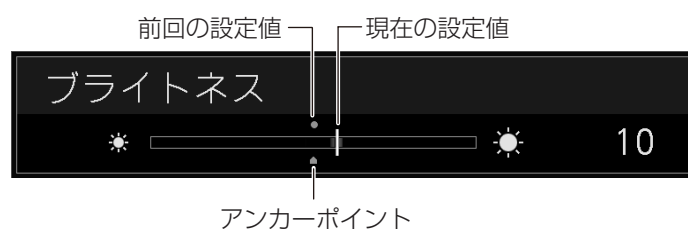
1. Xはジョグダイヤル(◀▶)、Yはジョグダイヤル(▲▼)で調整する
設定した値がカラーマップ上に(○)で表示されます。
2. 調整が終了したら、ジョグダイヤルを押す
元のOSDメニュー画面に戻ります。



調整値を一時保存する(アンカーポイントの設定)

「コントラスト」、「ブライトネス」、「クロマ」、「シャープネス」、「HDRレンジ」の調整値を一時的に保存して、その値に戻すことができます。CDL調整時のアンカーポイントの設定は 62 をご覧ください。

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く
2. ジョグダイヤルで「画質設定」を選択し、押して決定する
フォーカスがサブメニューに移動します。
3. ジョグダイヤルで「画質設定アンカー」を選択し、押して決定する
確認画面が表示されたら「OK」を選択します。調整値が保存され、アンカーポイントが設定されます。
4. 再度画質を調整後、本機のRESETボタンを押す
RESETボタンを押すと、それぞれのアンカーポイントに戻ります。



メモ

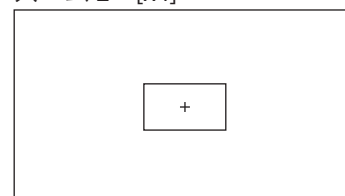
- 「画質設定」の「画質設定リセット」または「システム設定」の「全設定リセット」を実行すると、アンカーポイントはリセットされ、工場出荷時の値に戻ります。
- 「ピクチャーモード」の「User 1-7」でキャリブレーションをした場合、その値がアンカーポイントとして上書きされます。

ズーム表示を調整する(65)

ズームの表示位置を変更したり、ズーム倍率(2倍、4倍、8倍)を選択できます。

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く
2. ジョグダイヤルで「ディスプレイ設定」→「ズーム」を選択する
3. ジョグダイヤルで「ズームプリセット」を選択する
ズーム表示のプリセットを選択します。
4. ジョグダイヤルで「ポジション」を選択する
ズーム調整画面が表示されます。
 - 表示位置を移動する：ジョグダイヤル(▲▼◀▶ または回転)を動かす
 - 中央に戻す：RESETボタンを押す
5. 調整が終了したら、ジョグダイヤルを押す
元のOSDメニュー画面に戻ります。

ズーム 2 [x4]



メモ

- 画像がズーム表示中、OSDメニューを閉じているときは、ジョグダイヤルを押すことで倍率を設定できます。
- 画像がズーム表示中、OSDメニューを閉じているときは、ジョグダイヤル(▲▼◀▶)を動かすことで表示位置を移動できます。

入力信号に応じて自動的に画質を切り換える

本機では、映像の解像度やメタデータに応じて、画質を自動で切り換えることができます。

■「ピクチャーモード」を自動で切り換える (📖 60)

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く
2. ジョグダイヤルで「チャンネル設定」→「セレクトチャンネル」を選択する
チャンネルを選択します。
3. ジョグダイヤルで「チャンネル設定」→「ピクチャーモード」→「タイプ」を選択する

映像の解像度(4K/2K)ごとに切り換える場合

- ①「4K/2K」を選択します。
- ②「ピクチャーモード」を設定します。

映像の解像度(4K/2K)またはメタデータに応じて切り換える場合(SDI)

- ①「オート」を選択します。
- ②「ピクチャーモード」を設定します。

4. ジョグダイヤルを押して決定する
設定内容が決定されます。

■ 映像のメタデータに応じて画質の設定を切り換える(HDMI) (📖 55)

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く
2. ジョグダイヤルで「画質設定」→「ピクチャーモード」を選択する
「User 1」～「User 7」を選択します。
3. ジョグダイヤルで「チャンネル設定」→「ピクチャーモード」→「タイプ」を選択する
「L/R」以外を選択します。
4. ジョグダイヤルで「画質設定」→「詳細設定」→「HDMIリンク」→「自動設定」を選択する
 - 「オン」を選択します。
 - 設定できる内容は「HDMIリンク」(📖 55)をご覧ください。
5. ジョグダイヤルを押して決定する
設定内容が決定されます。

📝 メモ

- 映像の解像度(4K/2K)またはSDIメタデータに応じた画質の自動切換が設定されているとき、メニュー画面の右上に、選択されている対象(4K、2Kなど)を示す情報が表示されます。

Resolution: 4K

画面の右側／左側の画質を調整する(画質比較モード)

本機では、画面を左右に2分割して、画面ごとに画質を調整できます。

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く

2. ジョグダイヤルで「チャンネル設定」→「ピクチャーモード」→「タイプ」を選択する 「L/R」を選択したら、ジョグダイヤルを押して決定します。

3. 画質を調整する画面を選ぶ

- OSDメニューを開いているとき：
 - 「画質設定」のメインメニューを選択時に、ジョグダイヤルの ◀ を押します。
 - 「画質設定」のメインメニューまたはサブメニューを選択時に、CH1ボタンを押します。
- OSDメニューを閉じているとき：ジョグダイヤル(◀▶)で切り換えます。
- 対象画面を切り換えると、画面上部に、設定されている「ピクチャーモード」が表示されます。

4. 選んだ画面の画質を調整する

メモ

- 画質比較モード時に、「画質設定」メニュー画面の右上に、画質調整の対象画面として選択されている画面を示すアイコン(L/R)が表示されます。
- 右画面が選択されているとき、使用できない機能は次のとおりです。
 - 「画質設定」のサブメニュー項目：「コントラスト」、「バックライトコントロール」、「ブースト(コントラスト)」、「HDR/SDR比較表示」、「キャリブレーション」
- 2画面表示時にも、画面ごとに画質を調整して比較表示ができます。
 - 同一映像を2画面表示したとき(「1入力 Dual View」 61)
 - 異なる映像を2画面表示したとき(「Multi View (Dual)」 58)
 - HDR(High Dynamic Range)表示とSDR(Standard Dynamic Range)表示を左右に並べて確認できます。(「HDR/SDR比較表示」 54)

Target 

PCレスでキャリブレーションする(54)

「ピクチャーモード」の「User 1-7」選択時に、外付けセンサーを使用して、コンピューターを使用せずにキャリブレーションできます。

対応の外付けセンサーは、コニカミノルタ株式会社製ディスプレイカラーアナライザ CA-310、CA-210です。CA-310、CA-210の説明書も合わせてご覧ください。

本機は、キャノン製DP-V Color Adjustmentソフトウェアを使って、ディスプレイの検査/キャリブレーションを行うことができます。DP-V Color Adjustmentの詳細については、キャノンのホームページなどでご確認ください。

1. ディスプレイカラーアナライザを本機のUSB端子に接続する

2. OSDメニューを開いて、「画質設定」→「詳細設定」→「キャリブレーション」を選択する 各目標値を設定します。

3. ジョグダイヤルを押して「スタート」を選択する

画面に表示される案内に従い、操作してください。

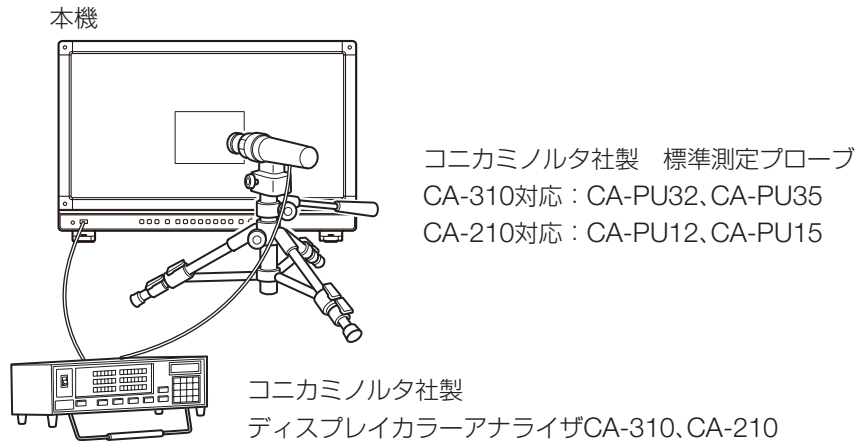
4. センサーを初期化する

標準測定プローブのモードダイヤルを「0-CAL」にセットします。

本機のジョグダイヤルを押し「OK」を選択して、初期化を実行します。

5. 標準測定プローブを本機の中央に向けて設置する

標準測定プローブのモードダイヤルを「MEAS」にセットし、表示にしたがって図のとおり標準測定プローブを設置してください。本機のジョグダイヤルを押し「OK」を選択してキャリブレーションを実行します。



6. キャリブレーションを終了する

「キャリブレーションを終了しました。」が表示されたら、ジョグダイヤルを押し「OK」を選択します。

- 「エラーが発生したため、キャリブレーションを終了しました。」が表示されたとき
エラーによりキャリブレーションが強制的に終了しました。本機はキャリブレーション実行前の状態に戻ります(115)。
- キャリブレーションを中止したいとき
キャリブレーション実行中にジョグダイヤルを押し「中止」を選択します。本機はキャリブレーション実行前の状態に戻ります。

メモ

- 液晶パネルの特性およびCA-310、CA-210の個体差により、キャリブレーションの結果が異なる場合があります。
- キャリブレーション前にディスプレイカラーアナライザのマトリクス校正を行ってください。マトリクス校正を行わずにキャリブレーションを実行すると、エラーになる場合があります。操作方法は、CA-310、CA-210の説明書をご覧ください。
- 本機の輝度を安定させるためにウォームアップが必要です。電源を入れて10分以上経ってからキャリブレーションを実施してください。
- センサー部に外光が入らないように、室内を暗くしてキャリブレーションを行ってください。外光が入ると低輝度部の特性が正しく補正されません。

エクスポート／インポートする

LUTやCDLの調整値、各メインメニューの設定内容をエクスポート／インポートできます。USBメモリーを本機のUSB端子に接続してください。

■ LUTをインポートする (53)

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く

2. ジョグダイヤルで「画質設定」→「詳細設定」→「LUTインポート」を選択する

3. ジョグダイヤルでファイルを選択する

「ファイル名」の箇所には、ルートフォルダー内の拡張子「.clut」を検索して表示します。

4. ジョグダイヤルでLUTのタイプを選択する

- 「User LUT」、「Gamma LUT」または「Gamut LUT」から、LUTの種類を選択します。
- 「ディスプレイの画像処理とユーザー LUTの概念図」をご参照ください。また、キヤノンのホームページにある「ユーザー LUT作成ガイド」を合わせてご覧ください。

5. ジョグダイヤルで「LUT選択」を選択する

User LUT/Gamma LUT/Gamut LUT 1-8を選択します。

6. ジョグダイヤルで基準となる色域を選択する

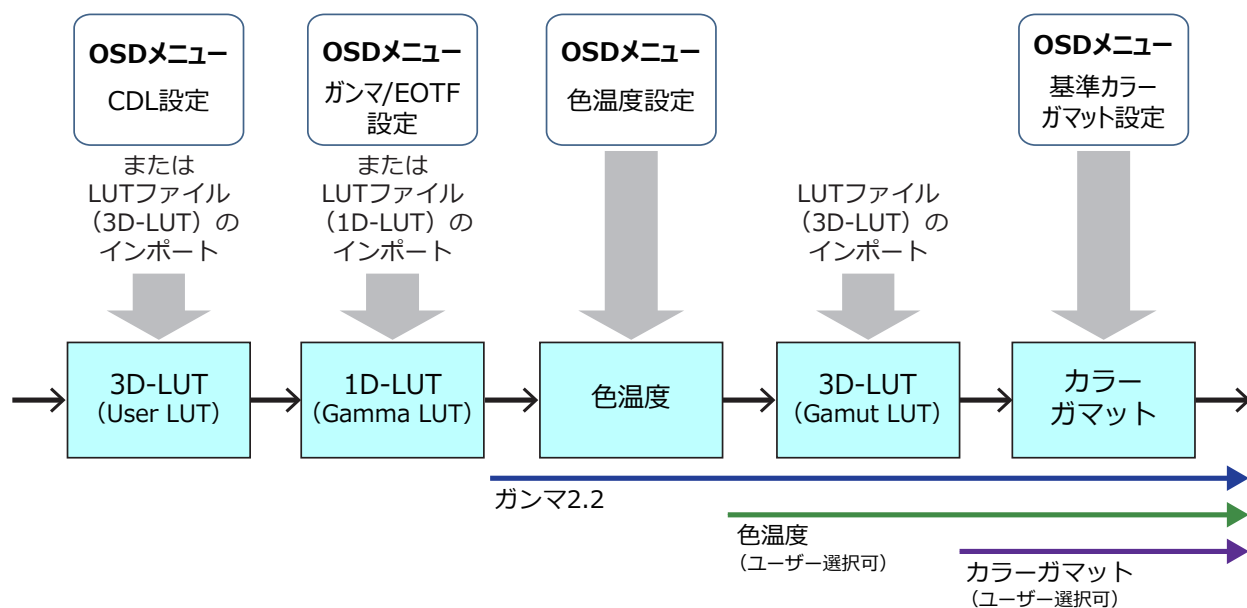
「LUTタイプ」で「Gamut LUT」を選択した場合に、LUT作成時に使用した色域を選択します。

7. ジョグダイヤルで「実行」を選択する

確認画面が表示されたら「OK」を選択します。インポートを開始します。

メモ

- LUTのファイルは、キヤノンディスプレイ独自のものです。ファイルフォーマットや作成のしかたなどについては、キヤノンのホームページでご確認ください。
- LUTのインポートファイルは、最大1000個まで認識します。
- インポートしたLUTは消去できます。LUT名を変えることもできます (53)。



ディスプレイの画像処理とユーザー LUTの概念図

■ メインメニューの設定内容をエクスポート／インポートする(📖91)

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く
2. ジョグダイヤルで「システム設定」→「エクスポート／インポート」を選択する
3. ジョグダイヤルで「エクスポート」または「インポート」を選択する

エクスポートの場合

- 「ターゲット」を「USB」または「User 1-3」から選択します。
「USB」はUSBメモリーに、「User 1-3」は本体内のメモリーに、エクスポートします。
- 「ファイル名」を選択します。
工場出荷時の初期値は「dinfo_dpv2410.dat」です。USBメモリーにエクスポートするファイル名は半角英数記号16文字以内で変更できます。
- 「実行」を選択します。
確認画面が表示されたら「OK」を選択します。エクスポートを開始します。

インポートの場合

- 「ターゲット」を「USB」または「User 1-3」から選択します。
インポートするファイルの保存先を指定します。
- 「ファイル名」を選択します。
- 「設定種別」から「すべて」またはメインメニュー名を選択します。
- 「実行」を選択します。
確認画面が表示されたら「OK」を選択します。インポートを開始します。

メモ

- 「User 1-3」にエクスポートすると、「システム設定」の「パワーオン設定」で、起動時の設定状態を「User 1-3」から選択できます(📖91)。

■ CDLの調整値をエクスポート／インポートする(📖 52)

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く
2. ジョグダイヤルで「画質設定」→「CDL/User LUT」→「タイプ」を選択する
「CDL」を選択します。
3. ジョグダイヤルで「詳細設定」→「CDLエクスポート」または「CDLインポート」を選択する

エクスポートの場合

- 「CDLプリセット」を選択します。
 - ファイル形式「.ccc」または「.cdl」を選択します。
 - 「実行」を選択します。
- 確認画面が表示されたら「OK」を選択します。エクスポートを開始します。

インポートの場合

- 「ファイル名」を選択します。
 - 「CDLプリセット」を選択します。
 - 「実行」を選択します。
- 確認画面が表示されたら「OK」を選択します。インポートを開始します。

📝 メモ

- エクスポート時のファイル名は、「YYYYMMDDhhmmss_プリセット名.ccc (cdl)」で自動的に保存されます。
- CDLのインポートファイルは、最大1000個まで認識します。

日時を設定する(📖 87)

日時の設定のしかたを説明します。本機は、約20日間電源コードが接続されないと、日時がリセットされます。

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く
2. 「システム設定」→「日時」を選択する
日時を入力する画面が表示されます。
3. ジョグダイヤルで日時を設定する
ジョグダイヤルでフォーカスを移動させたり、数値を選択します。年／月／日／時／分すべてを入力するまで、繰り返します。
4. すべての入力が終了したら、ジョグダイヤルを押す
フォーカスが「OK」に移動します。
5. 内容を確認し、正しければジョグダイヤルを押す

📌 参考

- 「キャンセル」を選択、または「OK」を選択する前にMENUボタンを押すと、設定値をリセットし1つ前の画面に戻ります。

文字を入力する

文字の入力のしかたを説明します。

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く
2. 文字の入力が必要な場合、文字入力画面が表示される
入力したい場所にジョグダイヤル(◀▶)でフォーカスを移動させます。
3. ジョグダイヤル(▲▼ または回転)で文字を選択する
入力できる文字は次のとおりです。▲▼ を押し続けると順番に表示されます。16文字まで入力できます。
英数(半角): A～Z、a～z、0～9
記号(半角): , . : ; ' ` - + / = % & ! ? # _ | \$ ^ ~ @ { } [] < > () スペース
入力できない文字は、自動でスキップします。
4. 入力したい内容が終了するまで、手順2、3を繰り返す
5. すべての入力が終了したら、ジョグダイヤルを押す
フォーカスが「OK」に移動します。
6. 内容を確認し、正しければジョグダイヤルを押す



① 参考

- 「キャンセル」を選択、または「OK」を選択する前にMENUボタンを押すと、設定値をリセットし1つ前の画面に戻ります。
- 本機のRESETボタンを押すと、フォーカスされている文字を消去したり、入力内容をリセットできます。

ファンクション(F)ボタンを使う

本機のFボタンに機能を登録し、ワンタッチで実行できます。

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く
2. 「システム設定」→「ファンクション／チャンネルボタン」→「ディスプレイファンクション」または「ディスプレイファンクション(CDL)」を選択し、ジョグダイヤルを押して決定する
別ウィンドウが開き、F1～F8のボタン名が表示されます。
3. ジョグダイヤルでボタン名を選択し、押して決定する
フォーカスが次の階層に移動します。
4. ジョグダイヤルで登録したい機能を選択する
設定できる機能は「ディスプレイファンクション」または「ディスプレイファンクション(CDL)」(87、92)をご覧ください。
5. ジョグダイヤルを押して決定する
設定内容が決定されます。

① 参考

- Fボタンを長押しすると、機能の選択画面が表示され、登録したい機能を設定できます。
- 「システム設定」→「OSD設定」→「ファンクションボタンガイド」を「オン」にすると、OSD非表示中にジョグダイヤルを押すことで、本機のFボタンに登録されている機能の一覧を確認できます。

チャンネル(CH)ボタンを使う

本機のCHボタンにチャンネル(入力信号に関する各種設定)を登録し、ワンタッチでチャンネルを切り換えることができます。

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く

2. 「システム設定」→「ファンクション／チャンネルボタン」→「ディスプレイチャンネル」を選択し、ジョグダイヤルを押して決定する

別ウィンドウが開き、CH1 ～ CH3のボタン名が表示されます。

3. ジョグダイヤルでボタン名を選択し、押して決定する

フォーカスが次の階層に移動します。

4. ジョグダイヤルで登録したいチャンネルを選択する

設定できる内容は「チャンネル設定」(58)をご覧ください。

5. ジョグダイヤルを押して決定する

設定内容が決定されます。

工場出荷時、本機の各CHボタンには、次の内容が登録されています。

CH	CH1	CH2	CH3
入力設定	3G/HD-SDI	HDMI	3G-SDI RAW
入力信号選択	オート	オート	オート
Image Division	オート	オート	オート
フォーマット	オート	オート	オート
音声端子	オート	オート	オート
Marker/TC/WFM/VEC端子	Input A	Input A	Input A
インターナルシンク	オフ	オフ	オフ
チャンネル名	(空欄)	(空欄)	(空欄)
ピクチャーモード→タイプ	ノーマル	ノーマル	ノーマル
ピクチャーモード ピクチャーモード L ピクチャーモード 4K	ITU-R BT.709	ITU-R BT.709	CINEMA EOS SYSTEM
ピクチャーモード R ピクチャーモード 2K	ITU-R BT.709		
Payload Colorimetry UHD	ITU-R BT.2020		
Payload Colorimetry 709	ITU-R BT.709		
Payload Colorimetry VANC	—		
Payload Colorimetry Unknown	—		
Camera CINEMA EOS SYSTEM	CINEMA EOS SYSTEM		
Camera ARRI	User 6		
Camera VARICAM	User 7		
1入力 Dual View	オフ	オフ	オフ
セパレーター	オフ	オフ	オフ

メモ

- CHボタンを長押しすると、チャンネルリストが表示され、チャンネルを選択できます。

信号情報や本機の状態を確認する

本機にはバナーを表示する機能があります。これには、信号情報や本機の状態が表示されます。

1. OSDメニューを閉じているときに、ジョグダイヤルを押す

バナーにチャンネル名や信号情報、本機の状態が表示されます。6秒後に自動的に消えます。

メモ

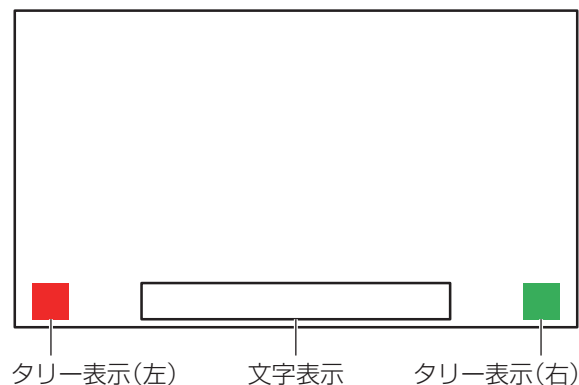
- バナーの表示方法を設定できます。（「バナー表示」 89）
- 詳細な信号情報を確認したい場合には、「シグナルインフォメーション」（ 94）をご覧ください。
- 入力信号が同期するまでは「同期検出中」というバナーが表示されます。

外部機器を使って本機を操作する[LAN端子]

本機は、Television Systems Ltd社の「TSL UMD Protocol Ver. 5.0」に対応しています。LAN端子に接続した外部機器から操作して、画面上に文字とタリーを表示できます。タリーは、左右に2カ所あります。文字は、16文字まで入力できます。入力できる文字は、次のとおりです。

英数(半角): A～Z, a～z, 0～9

記号(半角): , . : ; ' ` - + / = % & ! ? # _ | \$ ^ ~ @ { } [] < > () スペース



1. 外部制御機器をLAN端子に接続する
2. TSLプロトコルの設定で、「SCREEN」と「INDEX」を「0x0000」にする
3. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く
4. 「システム設定」→「ネットワーク/IMD設定」→「インモニターディスプレイ(IMD)」を選択し、ジョグダイヤルを押して決定する
5. ジョグダイヤルで「コントロール」→「TSL Ver. 5.00」を選択する
 - 外部制御機器からの操作が可能になり、文字とタリーを表示できる状態になります。
6. ジョグダイヤルで「ポジション」→「上」または「下」を選択する
 - 文字とタリーの表示位置を設定します。

メモ

- 「Multi View (Dual)」または「Multi View (Quad)」表示時、「INDEX」の設定を「0x0001」～「0x0004」にしてください。
- 制御するポート番号は、「45000」固定です。
- 「インモニターディスプレイ(IMD)」では、本機でユーザーが指定した文字を画面に表示することもできます。(88)

外部機器を使って本機を操作する[USB端子：Wi-Fi接続]

本機は、USB端子にWi-Fiアダプターを接続し、お使いのWi-Fiネットワーク環境で携帯端末などと接続できます。インフラストラクチャー方式(アクセスポイントを介してWi-Fiに接続する通信方式)で接続します。

- IPアドレスやサブネットマスクなどのネットワーク設定は、自動で取得します。
- 対応暗号化方式：WEP64(ASCII)、WEP128(ASCII)、WPA-TKIP、WPA-AES(CCMP)、WPA2-TKIP、WPA2-AES(CCMP)

ご注意

- ネットワーク機能を使用するためにネットワークに対して誤った設定を行った結果生じた損害、および本機能を使用した結果生じた損害については、弊社ではその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- セキュリティで保護されていないWi-Fiやネットワーク環境に接続することは避けてください。お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する危険性があります。Wi-Fiを使用しないときは、「Wi-Fi」→「コントロール」の設定を「オフ」にしてください。
- Wi-Fiへの接続方法については、お使いのWi-Fiネットワーク環境によって仕様や制限事項が異なります。
- 本機は、お使いのWi-Fiアダプターの機能を保証するものではありません。Wi-Fiアダプターに関する不具合は、お使いの機器のメーカーにお問い合わせください。また、Wi-Fiアダプターの使用には、多くの国や地域で認可が必要であり、認可を取得していないものの使用は認められていません。使用が認められているかがご不明な場合は、お使いの機器のメーカーにご確認ください。

メモ

- 動作確認済み機器(Wi-Fiアダプター)については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。
- Wi-Fiアダプターの使いかたや使用上のご注意、接続先のアクセスポイントの設定方法などについては、お使いの機器の使用説明書をご参照いただくか、お使いの機器のメーカーにお問い合わせください。
- 本機に表示できる選択可能なアクセスポイントは、最大24台です。

1. Wi-FiアダプターをUSB端子に接続する
2. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く
3. 「システム設定」→「ネットワーク/IMD設定」→「Wi-Fi」を選択し、ジョグダイヤルを押して決定する
4. ジョグダイヤルで「コントロール」→「オン」を選択する
5. ジョグダイヤルで「アクセスポイント」を選択する
6. (使用するアクセスポイントへの接続時にパスワードの入力が必要な場合)パスワードを入力する
パスワードは24文字まで入力できます。入力できる文字は、次のとおりです。
英数(半角)：A～Z、a～z、0～9
記号(半角)：_

Webブラウザを使って本機をリモート操作する

LAN端子に接続したコンピューター端末や、USB端子に接続したWi-Fiアダプターを介して接続した携帯端末など（ 35）で、Webブラウザを使って、本機をリモートで操作します。ネットワーク接続した機器から、画質の設定を変更したり、チャンネルを切り換えたりすることができます。

本機能は、下記のWebブラウザを使用して動作を確認しています。

- Apple社のSafari
- Google社のGoogle Chrome

* すべての対応OS とWebブラウザのバージョンで動作を保証するものではありません。

1. 外部制御機器とネットワーク接続をする
2. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く
3. 「システム設定」→「ネットワーク/IMD設定」→「Web」を選択し、ジョグダイヤルを押して決定する
4. ジョグダイヤルで「コントロール」→「オン」を選択する
5. ジョグダイヤルで「ユーザー ID」と「パスワード」を選択する
 - ユーザー IDとパスワードは16文字まで入力できます。入力できる文字は、次のとおりです。
英数(半角): A ~ Z, a ~ z, 0 ~ 9
記号(半角): _
6. ネットワーク接続をした機器でWebブラウザを起動する
7. アドレスバーに本機のIPアドレスを入力する
 - Webブラウザ上に、リモート操作画面が表示されます。
 - ベーシック認証画面が表示されたら、ユーザー IDとパスワードを入力します。
8. 操作が終了したら、Webブラウザを閉じる

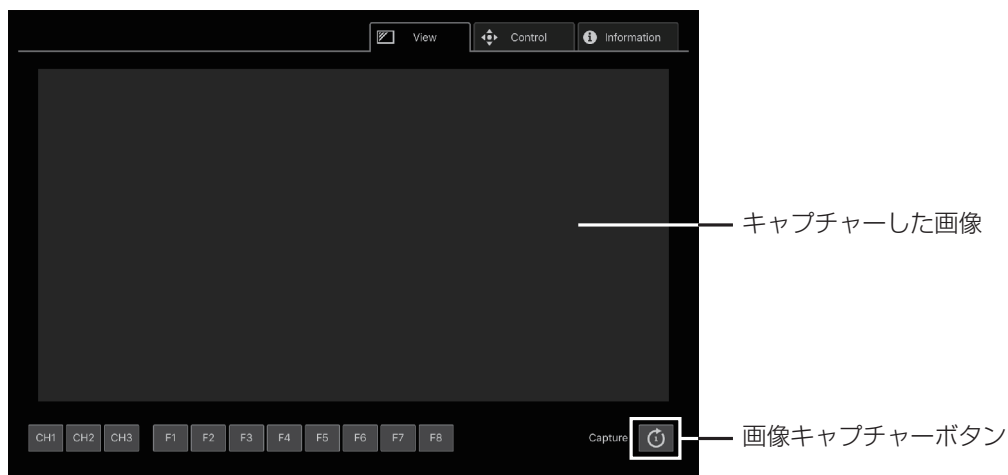
メモ

- 1つの端末からのみアクセスが可能です。
- LANとWi-Fiを使用して同時にアクセスすると、正しく動作しないことがあります。
- Webブラウザの複数のタブでページを開くと、正しく動作しないことがあります。
- 「View」画面で「Capture」を実行すると、本機の映像が一時的に静止することがあります。
- Webブラウザを使ってリモート操作中に本体を操作すると、ネットワーク接続が中断されることがあります。
- ネットワーク環境や通信状態によっては、映像表示や各種設定などに遅延が発生することがあります。
- IPアドレスは、「システムインフォメーション」画面で確認できます。

■ 操作画面

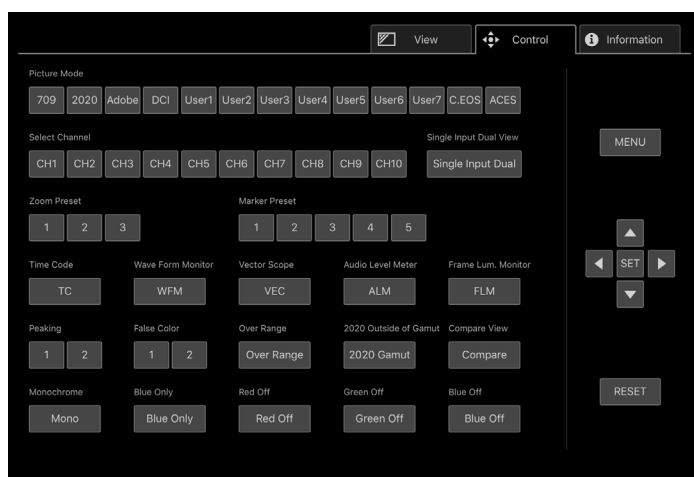
「View」画面

画像キャプチャーボタンを押すと、キャプチャーした画像が表示されます。また、CHボタンとFボタンの操作ができます。



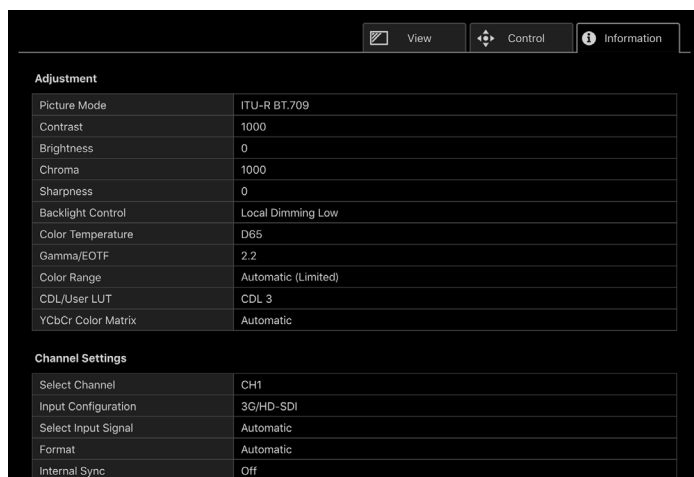
「Control」画面

ピクチャーモードやチャンネル、各種マーカーの表示などを設定できます。



「Information」画面

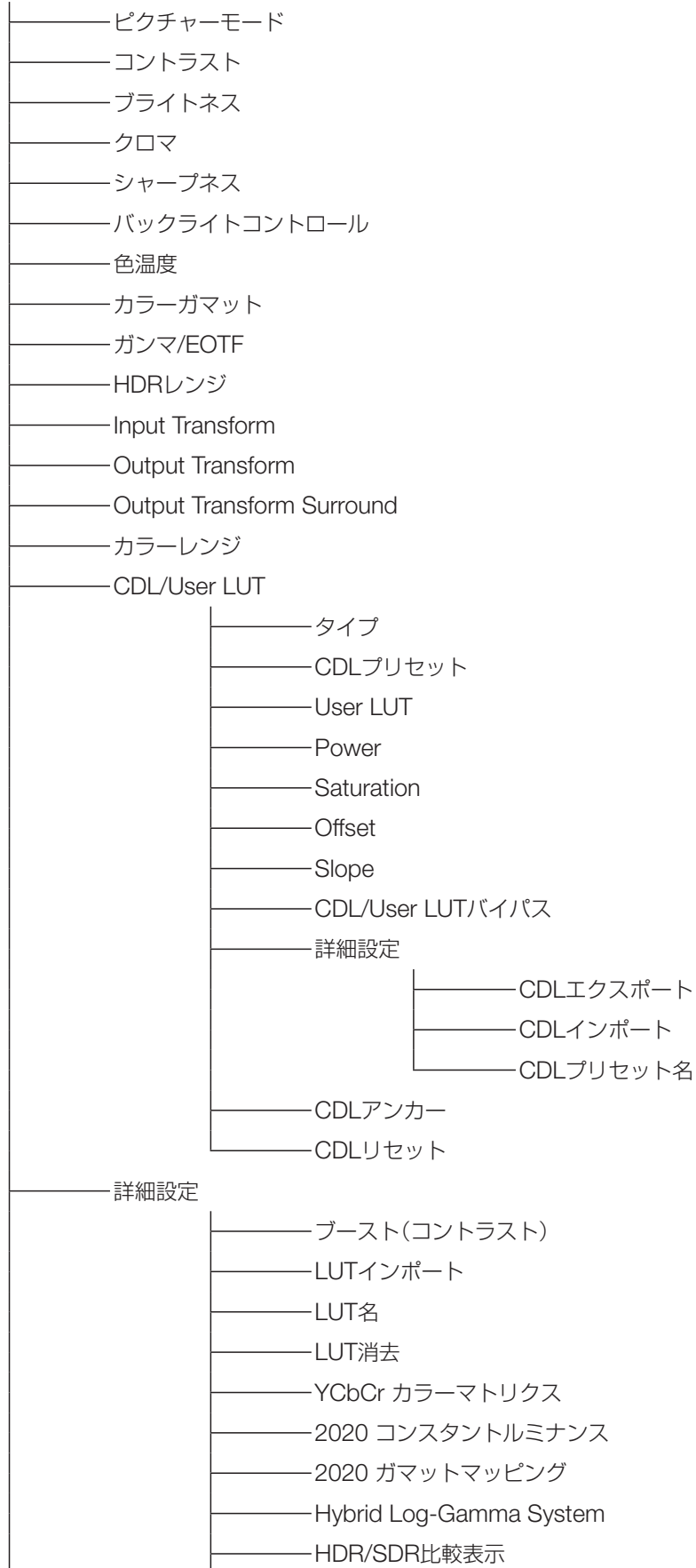
「画質設定」と「チャンネル設定」の各設定内容、「シグナルインフォメーション」、「システムインフォメーション」の情報を表示します。

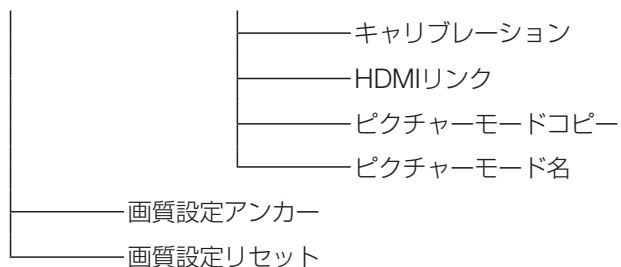


OSDメニュー

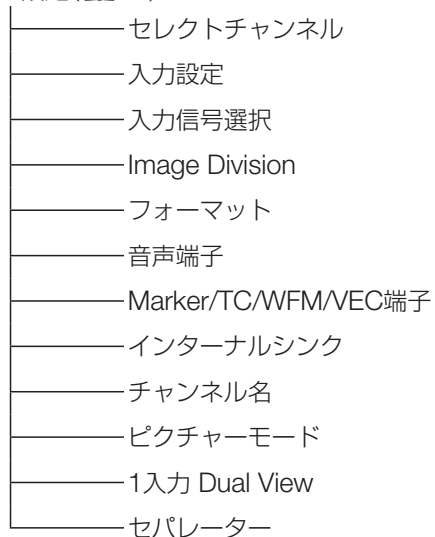
OSDメニューインデックス

画質設定 (45)

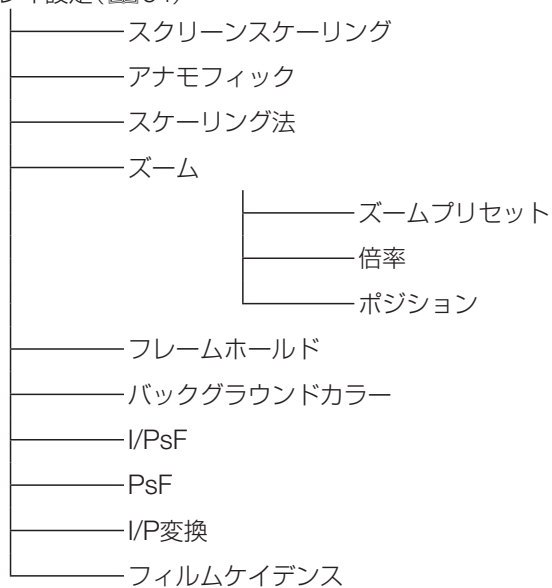




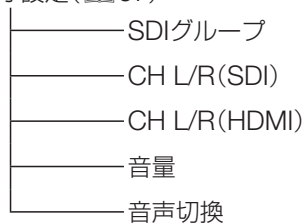
チャンネル設定 (📖 58)



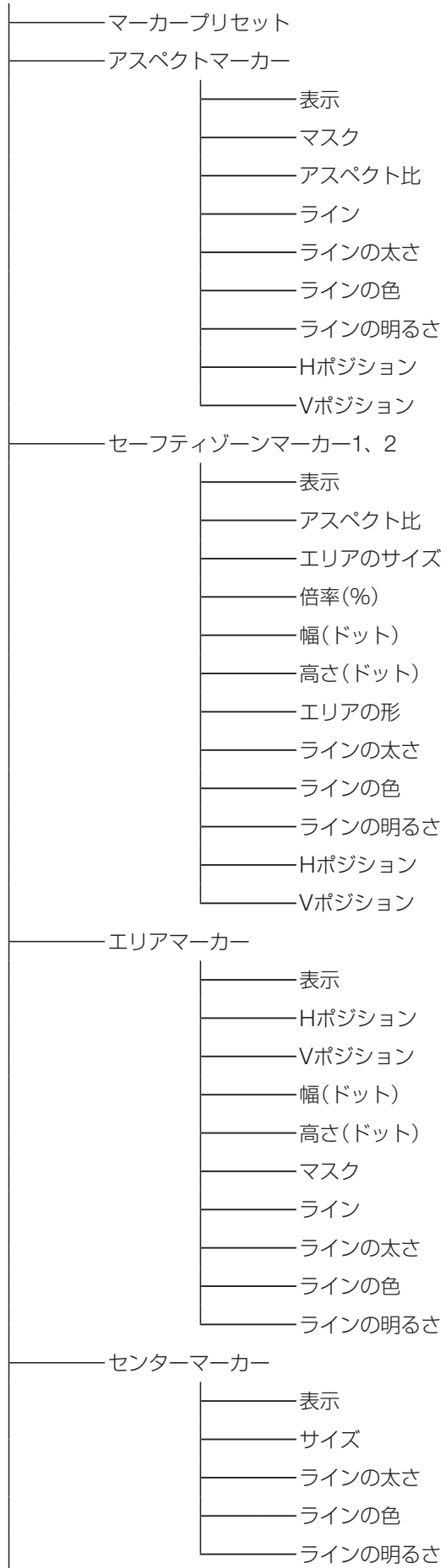
ディスプレイ設定 (📖 64)

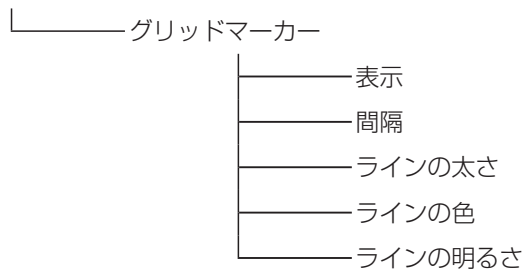


オーディオ設定 (📖 67)

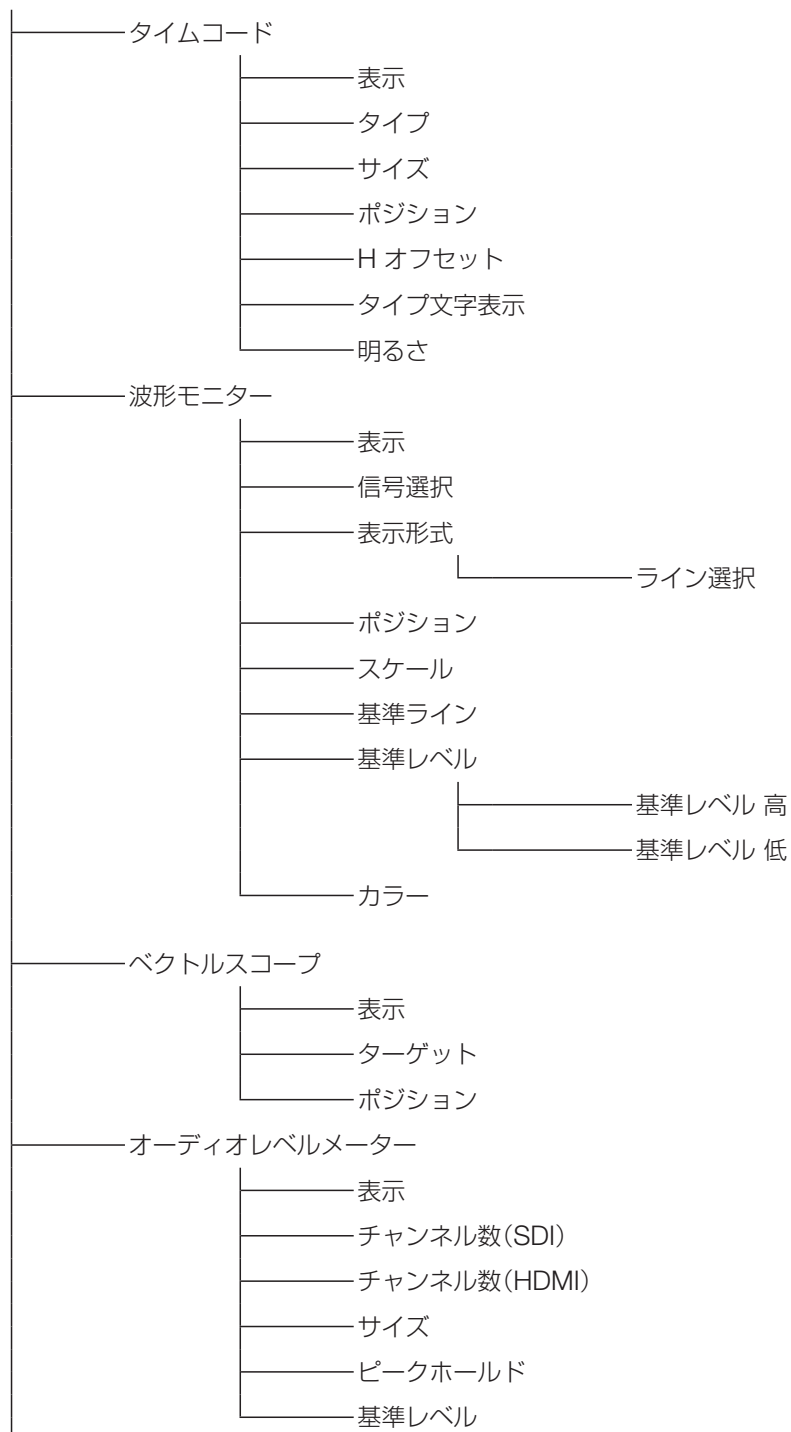


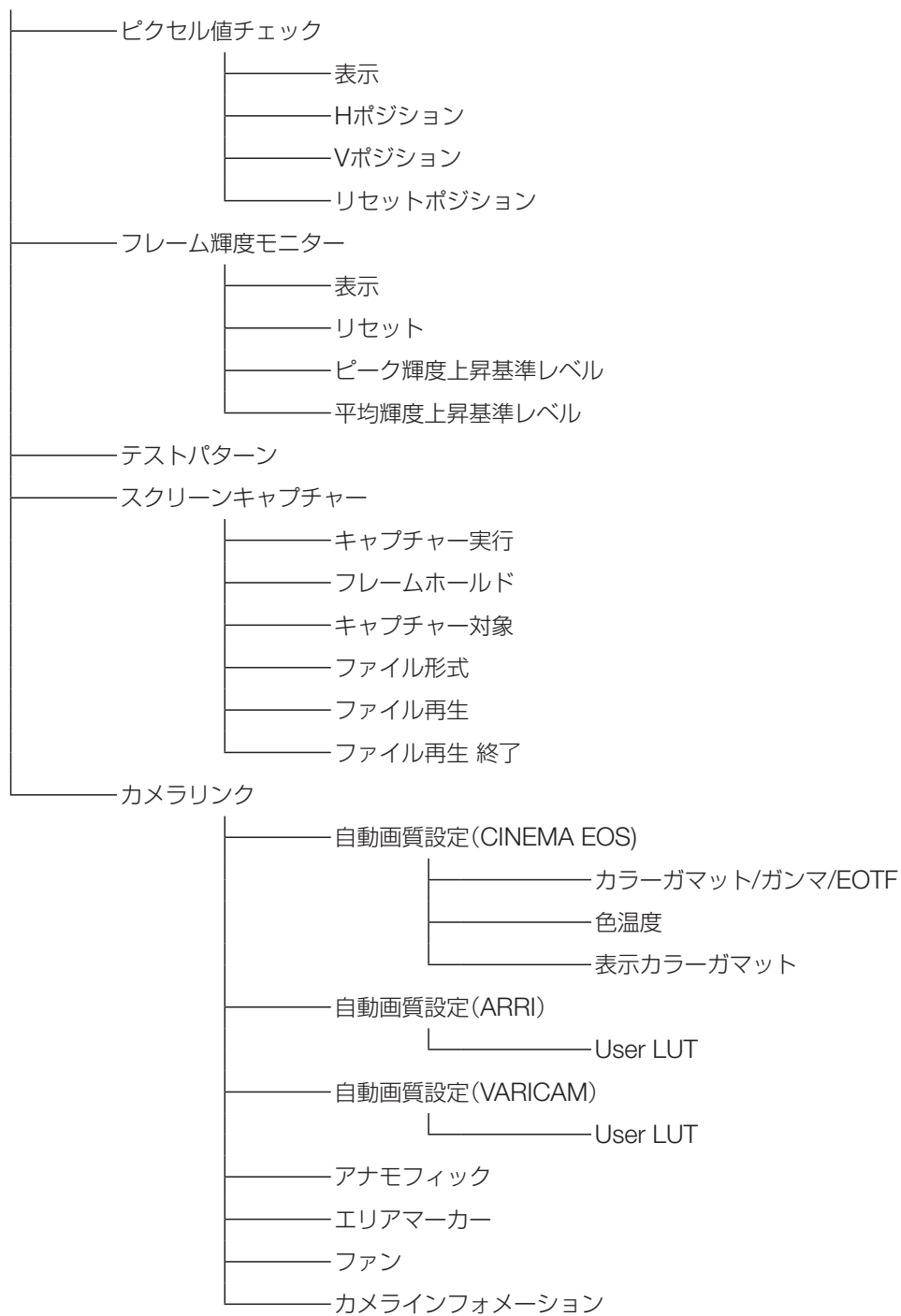
マーカー設定(68)



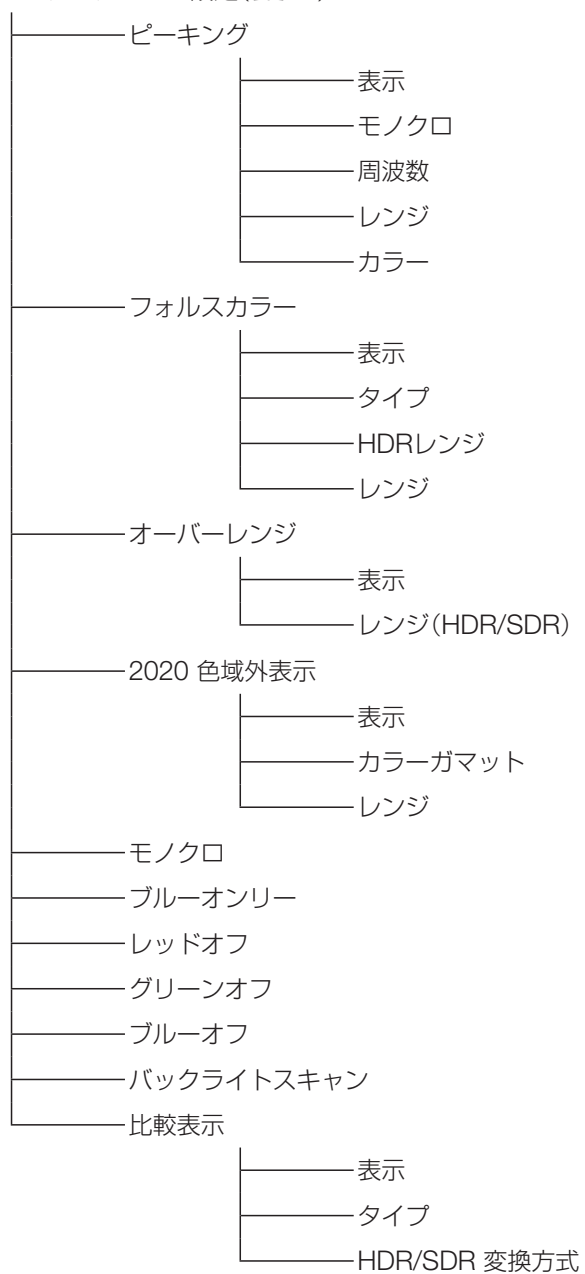


ファンクション設定(73)

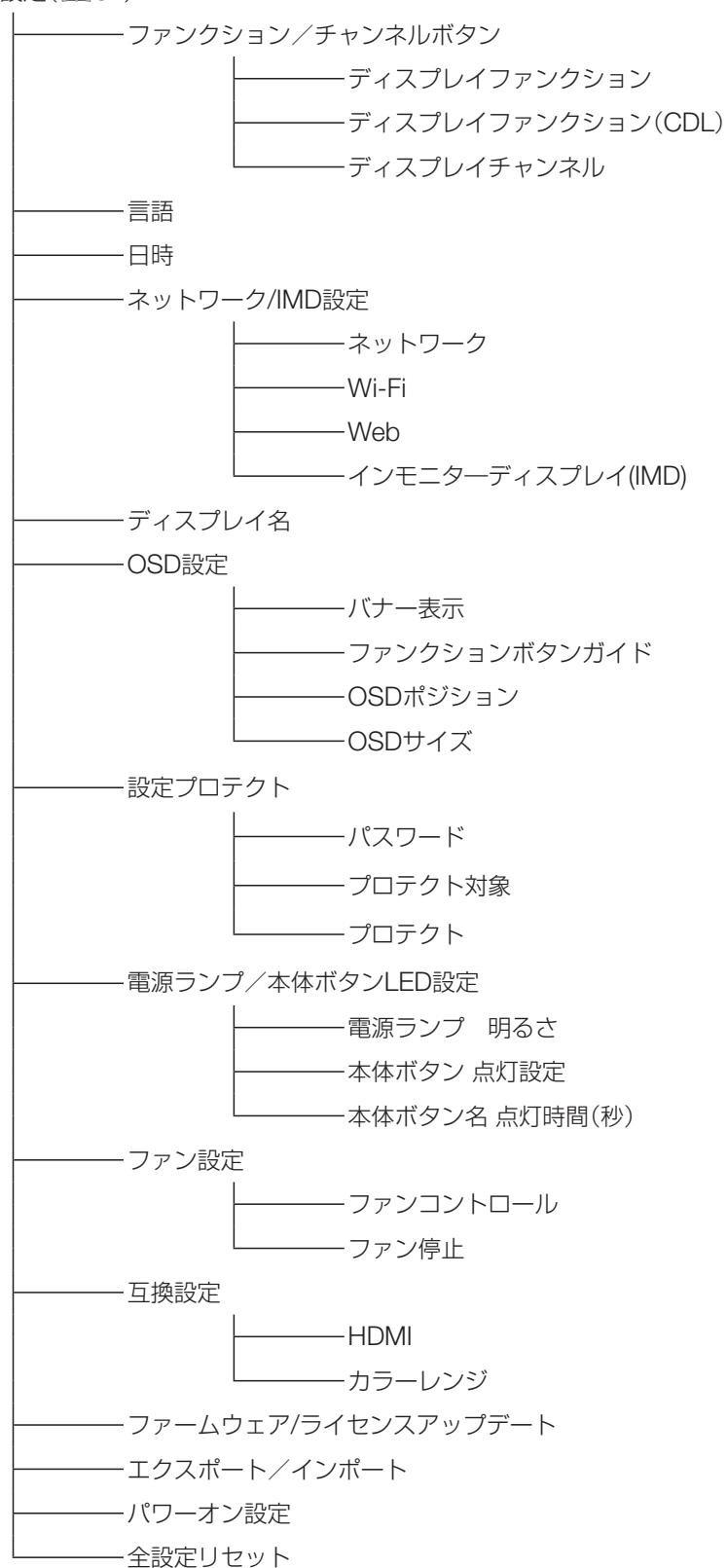




ピクチャーファンクション設定 (83)



システム設定(87)



シグナルインフォメーション(94)

システムインフォメーション(94)

画質設定

画質を調整したり、PCレスでキャリブレーションをするときに使うメニューです。工場出荷時の設定内容は、「ピクチャーモード」によって異なります(56)。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
ピクチャーモード	プリセットモードを選択します。 SMPTE-C、EBU、ITU-R BT.709、ITU-R BT.2020、Adobe RGB、DCI-P3:各規格の輝度、色温度、ガンマ/EOTF、3原色色度点の色域に設定されたモードです。 User 1-7(User 1(2020 PQ)、User 2(2020 HLG)、User 3(DCI PQ)、User 4～User 7): 必要に応じてカスタマイズするモードです。「画質設定」にある各項目をそれぞれ設定します。モード名は半角英数記号16文字以内で変更できます。(55) CINEMA EOS SYSTEM: CINEMA EOS SYSTEMのカメラ/ビデオカメラで撮影した映像を表示するときに最適です。カメラリンク機能で、画質設定を自動的に切り換えます(「自動画質設定(CINEMA EOS)」 79)。 ACESproxy (Ver. 1.0.1): ACESproxyの映像を、ガンマ/EOTF、色域を最適にして表示するモードです。  メモ 「ACESproxy (Ver. 1.0.1)」は、「チャンネル設定」→「ピクチャーモード」→「タイプ」が「L/R」、 「4K/2K」または「オート」の場合、設定できません。
コントラスト	画像の白レベルを調整します。(1刻み) 0 ～ 1500 ※「詳細設定」で「ブースト(コントラスト)」を「オン」に設定した場合の、設定範囲は次のとおりです。「ブースト(コントラスト)」が「オン」のときは、「コントラスト [ブースト]」と表示されます。 1500 ～ 4000  メモ 「チャンネル設定」→「ピクチャーモード」→「タイプ」が「L/R」の場合、右画面の「ピクチャーモード」では「コントラスト」を設定できません。左画面の設定値に固定されます。
ブライトネス	画像の黒レベルを調整します。(1刻み) -500 ～ 500
クロマ	画像の彩度(色の濃さ)を調整します。(1刻み) 0 ～ 2000  メモ 「CDL/User LUT」の「User LUT」を選択時は、調整できません。
シャープネス	画像の鮮明さを調整します。(1刻み) 0 ～ 100

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
バックライト コントロール	バックライトの制御方法を切り換えます。 ローカルディミング(オート、強、弱)：バックライトの発光量をエリアごとに制御する技術です。表示するコンテンツに合わせて、画像の明るい部分はバックライトを明るくし、暗い部分はバックライトを暗くします。 「オート」の場合、コントラストの値に応じて自動的に発光量を制御します。コントラストの値を高くすると、「強」/「弱」の場合と比べて、画像の暗い部分はバックライトがより暗くなります。 グローバルディミング：画面全体でバックライトの発光量を制御する技術です。暗い画像であれば、全体を暗くします。 オフ：いずれの処理もしません。  メモ 「グローバルディミング」が設定されているとき、階調性を保持するため画像によっては一時的にコントラストが変わる場合があります。気になる場合には「オフ」にしてご確認ください。 「ブースト(コントラスト)」が「オン」のときは、「バックライトコントロール」は「オフ」になります。 「チャンネル設定」→「ピクチャーモード」→「タイプ」が「L/R」の場合、右画面の「ピクチャーモード」では「バックライトコントロール」を設定できません。左画面の設定値に固定されます。
色温度	色温度を設定します。 D93、D65、D61、D60、D56、D50、DCI-P3：プリセットの色温度を選択します。 D65 Custom：本機と表示特性の異なるディスプレイとの色調整用プリセットです。D65を基準にして、ゲインとバイアスを調整します。 ゲインR/G/B、バイアスR/G/B：プリセットの色温度を選択したとき、1刻みで調整できます。 ゲインR/G/B：0 ～ 1023 バイアスR/G/B：-500 ～ 500 カスタム(xy)：CIE x, y で0.001刻みの調整ができます。 x：0.260 ～ 0.360 y：0.260 ～ 0.360 オフ：色温度を設定しません。  メモ 「カスタム (xy)」と、「ゲインR/G/B」または「バイアスR/G/B」は同時に選択できません。 「ゲインR/G/B」または「バイアスR/G/B」を調整している場合、プリセットの色温度モードに「*」が表示されます。 - 表示される色度座標(x, y)の値は調整時の目安となるもので、絶対値を保証するものではありません。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
カラーガマット	「ピクチャーモード」の「User 1-7」または「CINEMA EOS SYSTEM」選択時に、色域を選択できます。 SMPTE-C、EBU、ITU-R BT.709、ITU-R BT.2020、Adobe RGB、DCI-P3：各基準に準拠した色域です。 Native：本機で表現可能な色域です。 Cinema Gamut to 709、Cinema Gamut to 2020、Cinema Gamut to DCI、DCI-P3+ to 709、DCI-P3+ to DCI：CINEMA EOS SYSTEMカメラで撮影したCinema Gamut、DCI-P3+の映像をモニタリングするために、色域を変換するモードです。 Preset Gamut 1 to 709、Preset Gamut 1 to 2020、Preset Gamut 1 to DCI、Preset Gamut 2 to 709、Preset Gamut 2 to 2020、Preset Gamut 2 to DCI：色域を変換するプリセットモードです。 Gamut LUT 1 ～ Gamut LUT 8：外部のLUTを選択します。  メモ • CINEMA EOS SYSTEMの映像を確認するときは、「画質設定」の「CINEMA EOS SYSTEMとDP-V2410の設定値対応表(79)」をご参照ください。
ガンマ/EOTF	ガンマ/EOTFを設定します。 1.0、2.2、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、Canon Log、Canon Log 2、Canon Log 3、Preset Log 1、Preset Log 2：プリセットのガンマを選択します。 SMPTE ST 2084 (PQ)、Hybrid Log-Gamma、Hybrid Log-Gamma RGB、Canon Log (HDR)、Canon Log 2 (HDR)、Canon Log 3 (HDR)：HDR表示用のガンマ/EOTFを選択します。 Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8：外部のLUTを選択します。 オフ：ガンマを設定しません。  メモ • 「Hybrid Log-Gamma」について 本機では、下記の2方式に対応しています。 - 「Hybrid Log-Gamma」：Y信号に対して、システムガンマ処理を行う方式(ITU-R BT.2100準拠) - 「Hybrid Log-Gamma RGB」：RGB信号に対して、システムガンマ処理を行う方式 • 次の場合、設定できません。 - 「ピクチャーモード」が「ACESproxy (Ver. 1.0.1)」を選択時 - 「User LUT」が「User LUT 1」～「User LUT 8」以外を選択時 • CINEMA EOS SYSTEMカメラとARRI社製／パナソニック社製シネマカメラの映像を確認するときは、「カメラリンク」→「自動画質設定」をご参照ください(79)。

「カラーガマット」と選択できる「ガンマ/EOTF」の関係は次のとおりです。「カラーガマット」を変更した場合、現在設定中の「ガンマ/EOTF」の設定内容が選択できないときは、下線の値(初期値)に変更されます。

ピクチャーモード	カラーガマット	選択できるガンマ/EOTF
SMPTE-C	選択不可	オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Canon Log、Canon Log (HDR)、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
EBU		オフ、1.0、2.2、 <u>2.35</u> 、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Canon Log、Canon Log (HDR)、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
ITU-R BT.709、 ITU-R BT.2020		オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Hybrid Log-Gamma、Hybrid Log-Gamma RGB、Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、Canon Log 2 (HDR)、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)、Preset Log 1、Preset Log 2、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
Adobe RGB		オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
DCI-P3		オフ、1.0、2.2、2.35、2.4、 <u>2.6</u> 、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、Canon Log 2 (HDR)、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)、Preset Log 1、Preset Log 2、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
CINEMA EOS SYSTEM、 User 1-7	SMPTE-C	オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Canon Log、Canon Log (HDR)、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
	EBU	オフ、1.0、2.2、 <u>2.35</u> 、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Canon Log、Canon Log (HDR)、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
	ITU-R BT.709、 ITU-R BT.2020	オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Hybrid Log-Gamma、Hybrid Log-Gamma RGB、Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、Canon Log 2 (HDR)、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)、Preset Log 1、Preset Log 2、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
	Adobe RGB	オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
	DCI-P3	オフ、1.0、2.2、2.35、2.4、 <u>2.6</u> 、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、Canon Log 2 (HDR)、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)、Preset Log 1、Preset Log 2、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
	Native	オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
	Cinema Gamut to 709、 Cinema Gamut to 2020	2.2、Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、 <u>Canon Log 2 (HDR)</u> 、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)
	Cinema Gamut to DCI	Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、 <u>Canon Log 2 (HDR)</u> 、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)
	DCI-P3+ to 709、 DCI-P3+ to DCI	Canon Log、 <u>Canon Log (HDR)</u>
	Preset Gamut 1 to 709 Preset Gamut 1 to 2020 Preset Gamut 2 to 709 Preset Gamut 2 to 2020	オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Hybrid Log-Gamma、Hybrid Log-Gamma RGB、Preset Log 1、Preset Log 2、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
	Preset Gamut 1 to DCI Preset Gamut 2 to DCI	オフ、1.0、2.2、2.35、2.4、 <u>2.6</u> 、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Preset Log 1、Preset Log 2、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
	Gamut LUT 1 ～ Gamut LUT 8	オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
HDRレンジ	HDR表示用ガンマ/EOTFを選択時の表示方法を設定します。 SMPTE ST 2084 (PQ) :「SMPTE ST 2084 (PQ)」が持つ0.005 ～10,000 cd/m²(nits)のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。 (100 ～4000 : 100刻み。4000 ～10000 : 1000刻み) 100 ～10000(1000) Hybrid Log-Gamma、 Hybrid Log-Gamma RGB :「Hybrid Log-Gamma」が持つダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100刻み) 上限値は、「Hybrid Log-Gamma System」の設定内容に応じて変わります。(54) Hybrid Log-Gamma : 100 ～1000 Hybrid Log-Gamma RGB : 100 ～1000/2000 Canon Log (HDR) :「Canon Log」が持つ0 ～800%のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100刻み) 100 ～800 Canon Log 2 (HDR) :「Canon Log 2」が持つ0 ～1600%のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100刻み) 100 ～1600 Canon Log 3 (HDR) :「Canon Log 3」が持つ0 ～1600%のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100刻み) 100 ～1600 Preset Log 1、Preset Log 2 :「Preset Log」のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100刻み) Preset Log 1 : 100 ～1400(1000) Preset Log 2 : 100 ～3900(1000) Gamma LUT1 ～ Gamma LUT8 : LUTデータの10-bit(0 ～1023)のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(1刻み) 512 ～1023 ※設定のしかた Canon Log (HDR)を例にとって説明します。 最大値(800%)に設定すると、Canon Logの800%のダイナミックレンジを、本機のダイナミックレンジに割り付けて表示します。見た目の明るさは低下しますが、映像信号に含まれるダイナミックレンジを確認できます。400%に設定すると、400%を超える部分はクリップ(階調を飽和させる)し、400%以下を本機のダイナミックレンジに割り付けて表示します。 本機の表示輝度は、コントラスト設定値に対応した明るさになります。 Canon Log 800%の信号 (コントラスト : 4000) <u>Canon Log (HDR) : 800に設定</u> <u>Canon Log (HDR) : 400に設定</u>

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
Input Transform	「ピクチャーモード」が「ACESproxy (Ver. 1.0.1)」選択時、「3G-SDI RAW」の信号に(58)、ACES Input Transformを適用するかを設定します。 オート：自動で適用します。 オフ：適用しません。
Output Transform	「ピクチャーモード」が「ACESproxy (Ver. 1.0.1)」選択時に、「ガンマ/EOTF」、「カラーガマット」に代わって表示されます。 ITU-R BT.709、ITU-R BT.2020、DCI-P3：ACESproxyをそれぞれのモードに変換します。
Output Transform Surround	「ピクチャーモード」が「ACESproxy (Ver. 1.0.1)」選択時に、「ガンマ/EOTF」、「カラーガマット」に代わって表示されます。 Dim Surround：ACESproxyで規定されているDim Surround処理を有効にします。 Dark Surround：ACESproxyで規定されているDark Surround処理を有効にします。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)		
カラーレンジ	量子化レンジを設定します。 オート ：信号情報から自動的にレンジを設定します。		
	「カラーレンジ」→「ノーマル」のとき(📖90) フル、SDIフル(4-1019)、リミテッド		
	「カラーレンジ」→「互換優先」のとき(📖90) フル(0-1023)、SDIフル(4-1019)、リミテッド1(64-940)、リミテッド2(64-1023)		
	📝 メモ 「ピクチャーモード」の「ACESproxy (Ver. 1.0.1)」を選択時は、設定できません。 「オート」時の動作は、次のとおりです。 - カメラのメタデータにカラーレンジの設定が含まれている場合は、その設定内容に応じて設定されます。 - HDMI選択時は、HDMI信号情報により「フル」または「リミテッド」(「フル(0-1023)」または「リミテッド1(64-940)」)に自動設定。 - SDI選択時は、「ピクチャーモード」、「カラーガマット」、「ガンマ/EOTF」の設定内容に応じて設定されます。		
		設定されるカラーレンジ	
		「システム設定」→「互換設定」→「カラーレンジ」	
		「ノーマル」のとき	「互換優先」のとき
	ピクチャーモード	DCI-P3	フル
	カラーガマット	DCI-P3	
		Cinema Gamut to DCI	
		DCI-P3+ to DCI	
	ガンマ/EOTF	Canon Log (HDR)	
		Canon Log 2 (HDR)	
		Canon Log 3 (HDR)	
		Preset Log 1	
		Preset Log 2	
		Canon Log	
		Canon Log 2	
		Canon Log 3	
	上記以外		リミテッド1(64-940)
	「フォーマット」→「ICtCp」の場合の動作は、次のとおりです。 「カラーレンジ」の「フル」以外を選択時、「波形モニター」は「カラーレンジ」で設定されている信号のみを表示します。 「チャンネル設定」→「ピクチャーモード」→「タイプ」が「L/R」のとき：左画面の「カラーレンジ」の設定内容に固定されるのは、次のとおりです。 1端子入力を全画面表示時 「2 Sample Interleave」または「Dual Link 3G-SDI」信号を表示時		

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
CDL/User LUT	CDLまたはUser LUTの各種設定をします。 タイプ(CDL、User LUT、オフ)：タイプを選択します。 ■「CDL」を選択時 CDLプリセット：CDLのプリセットを選択します。 CDL 1～CDL 15 Power：画像のガンマを調整します。(0.01刻み) 0.50～4.00(1.00) Saturation：画像の彩度を調整します。(0.001刻み) 0.000～2.000(1.000) Offset：画像の黒レベルを調整します。(0.001刻み) -1.000～1.000(0.000) Slope：画像の白レベルを調整します。(0.001刻み) 0.000～2.000(1.000) CDL/User LUTバイパス：「オン」にすると、CDLでの調整結果を一時的に無効にし、調整前の画質に戻すことができます。 オン、オフ 詳細設定 CDLエクスポート：CDLでの調整値をエクスポートします。 CDLプリセット(CDL 1～CDL 15、すべて)、ファイル形式(CCC、CDL)、実行 CDLインポート：CDLでの調整値をインポートします。 ファイル名、CDLプリセット(CDL 1～CDL 15)、実行 CDLプリセット名：半角英数字記号16文字以内で、プリセットモードの名称を設定できます。 CDLアンカー：「Power」、「Saturation」、「Offset」、「Slope」の各調整値を一時的に保存して、その値に戻すことができます。(アンカーポイントの設定) CDLリセット：CDLでの調整値をリセットします。 ■「User LUT」を選択時 User LUT：外部のLUT、ARRI社製／パナソニック社製シネマカメラ用LUTプリセット、またはHDR/SDR変換用LUTプリセットを設定します。 User LUT 1～User LUT 8 「ピクチャーモード」→「User 1-7」のとき ARRI (Rec2100-PQ-1K-100)、ARRI (Rec2100-HLG-1K-200)、VARICAM (V-Log to V-709)、2020 PQ to 2020 SDR、2020 PQ to 709 SDR、2020 HLG to 709 HLG CDL/User LUTバイパス：「オン」にすると、User LUTを適用する前の画質に戻すことができます。 オン、オフ  メモ 「User LUT」を選択している場合、「CDL」の全項目、「クロマ」および「ブルーオンリー」は操作できません。 「ARRI (Rec2100-PQ-1K-100)」を選択時、「HDRレンジ」→「SMPTE ST 2084 (PQ)」の設定は「1000」になります。 「ARRI (Rec2100-HLG-1K-200)」を選択時、「HDRレンジ」→「Hybrid Log-Gamma」の設定は「1000」になります。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)		
	● 「User LUT」の設定内容により、「カラーガマット」と「ガンマ/EOTF」は下記の設定内容に固定されます。		
	User LUT	カラーガマット	ガンマ/EOTF
	ARRI (Rec2100-PQ-1K-100)	ITU-R BT.2020	SMPTE ST 2084 (PQ)
	ARRI (Rec2100-HLG-1K-200)	ITU-R BT.2020	Hybrid Log-Gamma
	VARICAM (V-Log to V-709)	ITU-R BT.709	2.2
	2020 PQ to 2020 SDR	ITU-R BT.2020	2.4
	2020 PQ to 709 SDR	ITU-R BT.709	
	2020 HLG to 709 HLG	ITU-R BT.709	—
詳細設定			
ピクチャーモードの詳細な設定をします。			
ブースト (コントラスト)	輝度を上げることができます。 「ブースト(コントラスト)」の設定により、「コントラスト」の上限値が変わります。 オン : 「コントラスト」の設定値は「1500 ～4000」です。 オフ : 「コントラスト」の設定値は「0 ～1500」です。  メモ ● 右画面のピクチャーモードでは設定できません。左画面の設定値に固定されます。 ● 「オフ」を選択すると、「HDR/SDR比較表示」も「オフ」になります。		
LUTインポート	LUTのインポートができます。インポートできるファイルの名称は、英数字記号(半角)で48文字までです(拡張子を含む)。 ファイル名 : ファイル名を選択します。 LUTタイプ(User LUT、Gamma LUT、Gamut LUT) : LUTの種類を選択します。 LUT選択 : User LUT/Gamma LUT/Gamut LUT 1～8を選択します。 基準カラーガマット(SMPTE-C、EBU、ITU-R BT.709、Adobe RGB、DCI-P3、Native) : 「LUTタイプ」で「Gamut LUT」を選択した場合に、LUT作成時に使用した色域を選択します。 実行 : インポートを実行します。		
LUT名	半角英数字記号24文字以内で、LUTの名称を設定できます。 LUTタイプ(User LUT、Gamma LUT、Gamut LUT) : LUTの種類を選択します。 LUT選択 : User LUT/Gamma LUT/Gamut LUT 1～8を選択します。 名称入力 : LUTの名称を入力します。		
LUT消去	インポートしたLUTを消去します。 LUTタイプ(User LUT、Gamma LUT、Gamut LUT) : LUTの種類を選択します。 LUT選択 : User LUT/Gamma LUT/Gamut LUT 1～8を選択します。 消去 : 消去を実行します。		
YCbCr カラーマトリクス	入力信号がYCbCrフォーマットのときのマトリクス変換方法を設定します。 オート : 「ピクチャーモード」または「カラーガマット」の設定が「ITU-R BT.2020」のときはITU-R BT.2020規格、それ以外はITU-R BT.709規格に準拠したマトリクス係数を設定します。 ITU-R BT.709 : ITU-R BT.709規格に準拠したマトリクス係数を設定します。 ITU-R BT.2020 : ITU-R BT.2020規格に準拠したマトリクス係数を設定します。		

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
2020 コンスタントルミナンス	「ピクチャーモード」または「カラーガマット」の「ITU-R BT.2020」選択時のカラーマトリクスの変換方法を設定します。 コンスタント：YUV信号をリニアに変換した後、RGB信号に変換します。 ノンコンスタント：YUV信号をガンマ0.45のままRGB信号に変換します。  メモ - SD-SDIは「ノンコンスタント」固定です。 「チャンネル設定」→「ピクチャーモード」→「タイプ」が「L/R」のとき：「2020 コンスタントルミナンス」が「ノンコンスタント」に固定されるのは、次のとおりです。ただし、左右画面の「カラーガマット」が「ITU-R BT.2020」のときは、左画面の設定内容に固定されます。 - 1端子入力を全画面表示時 - 「2 Sample Interleave」または「Dual Link 3G-SDI」信号を表示時
2020 ガマットマッピング	「ピクチャーモード」または「カラーガマット」の「ITU-R BT.2020」選択時に設定します。 ガマットマッピング：ネイティブ色域外の色をキヤノン独自の方式でマッピングします。 クリッピング：ネイティブ色域外の色を一般的な方式でクリップします。
Hybrid Log-Gamma System	「ガンマ/EOTF」の「Hybrid Log-Gamma」または「Hybrid Log-Gamma RGB」を選択時、システムガンマ値またはピーク輝度を設定します。 ■ 「Hybrid Log-Gamma」を選択時 システムガンマ値を調整します。 1.000 ～ 1.500 (1.200、0.005刻み) ■ 「Hybrid Log-Gamma RGB」を選択時 ピーク輝度を設定します。各設定値の最大値が、「HDRレンジ」の上限値になります。 γ 1.2 - 1000 cd/m²、γ 1.2 - 2000 cd/m²
HDR/SDR 比較表示	HDR(High Dynamic Range)とSDR(Standard Dynamic Range)の表示を比較できます。 オン：右画面の「コントラスト」をSDR用の輝度に調整します。 オフ：比較表示をしません。  メモ - 左右画面の「ピクチャーモード」が同じ場合は、設定できません。 「オン」を選択すると、「ブースト(コントラスト)」も「オン」になります。
キャリブレーション	「ピクチャーモード」の「User 1-7」選択時、設定した目標値をもとにキャリブレーションを実行します。 ルミナンス：目標輝度を設定します。 48 ～ 150 (100) cd/m² 色温度：目標色温度を設定します。 D93、D65、D61、D60、D56、D50、DCI-P3：プリセットの色温度を選択します。 カスタム(xy)：CIE x, y で0.001刻みの調整ができます。 x : 0.260 ～ 0.360 (0.313) / y : 0.260 ～ 0.360 (0.329) カラーガマット：色域を設定します。 SMPTE-C、EBU、ITU-R BT.709、ITU-R BT.2020、Adobe RGB、DCI-P3 ガンマ：目標ガンマを設定します。 2.2、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886 スタート：キャリブレーションを実行します。  メモ 「ルミナンス」を高輝度に設定した場合、「色温度」の設定内容によっては、輝度の調整範囲を越えて、目標値より低い輝度でキャリブレーションされる場合があります。その場合は、「ルミナンス」を再設定してください。 - 右画面の「ピクチャーモード」では、キャリブレーションは実行できません。

項目		設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)														
HDMIリンク		「ピクチャーモード」の「User 1-7」選択時、HDMIのメタデータを使い、映像の画質設定に連動した画質で表示します。														
		自動設定														
		オン、オフ														
		カラーガマット/ガンマ/EOTF：本機の「カラーガマット」、「ガンマ/EOTF」の設定を、HDMIのメタデータに合わせます。														
		オン、オフ														
		コントラスト/HDRレンジ：本機の「コントラスト」、「HDRレンジ」、「ブースト(コントラスト)」の設定を、HDMIのメタデータに合わせます。														
		オン、オフ														
		メモ • HDMIメタデータと本機の設定値対応表 <table><tr><th colspan="2">HDMIメタデータ</th><th>本機の設定値</th></tr><tr><td rowspan="2">カラーガマット</td><td>BT.709</td><td>ITU-R BT.709</td></tr><tr><td>BT.2020</td><td>ITU-R BT.2020</td></tr><tr><td rowspan="3">ガンマ/EOTF</td><td>Traditional SDR</td><td>2.2</td></tr><tr><td>PQ</td><td>PQ</td></tr><tr><td>Hybrid Log-Gamma</td><td>Hybrid Log-Gamma</td></tr></table> • 「チャンネル設定」→「ピクチャーモード」→「タイプ」が「L/R」のとき、「HDMIリンク」は設定できません。		HDMIメタデータ		本機の設定値	カラーガマット	BT.709	ITU-R BT.709	BT.2020	ITU-R BT.2020	ガンマ/EOTF	Traditional SDR	2.2	PQ	PQ
HDMIメタデータ		本機の設定値														
カラーガマット	BT.709	ITU-R BT.709														
	BT.2020	ITU-R BT.2020														
ガンマ/EOTF	Traditional SDR	2.2														
	PQ	PQ														
	Hybrid Log-Gamma	Hybrid Log-Gamma														
ピクチャーモードコピー		「ピクチャーモード」の「User 1-7」選択時、ピクチャーモードを選択してその内容をコピーします。選択できるモードは次のとおりです。 コピー元ピクチャーモード：SMPTE-C、EBU、ITU-R BT.709、ITU-R BT.2020、Adobe RGB、DCI-P3、User 1-7(現設定値以外) 実行 ：コピーを実行します。														
		メモ • 「User 1-7」以外のピクチャーモードの場合は、工場で行ったキャリブレーション結果がコピーされます。														
ピクチャーモード名		「User 1-7」の名前を、半角英数字記号16文字以内で変更できます。														
画質設定アンカー		「コントラスト」、「ブライトネス」、「クロマ」、「シャープネス」、「HDRレンジ」の調整値を一時的に保存して、その値に戻すことができます(アンカーポイントの設定)。 OK ：アンカーポイントを設定します。 キャンセル ：アンカーポイント設定を実行せずに、1つ前の画面に戻ります。														
画質設定リセット		「ピクチャーモード」の設定内容を工場出荷時に戻します。キャリブレーションを実行している「User 1-7」モードは、工場出荷時ではなくキャリブレーション後の設定内容に戻ります。選択すると「画質設定の設定値を初期状態に戻しますか?」というメッセージが表示されます。 OK ：リセットを実行します。 キャンセル ：リセットを実行せずに、1つ前の画面に戻ります。														

各「ピクチャーモード」の工場出荷時の設定内容は次のとおりです。

設定項目		SMPTE-C	EBU	ITU-R BT.709	ITU-R BT.2020	Adobe RGB	DCI-P3
コントラスト		1000	1000	1000	1000	1000	480
ブライトネス		0	0	0	0	0	0
クロマ		1000	1000	1000	1000	1000	1000
シャープネス		0	0	0	0	0	0
バックライトコントロール		ローカルディミング 強					
色温度	プリセット	D65	D65	D65	D65	D65	DCI-P3
	x	0.313	0.313	0.313	0.313	0.313	0.314
	y	0.329	0.329	0.329	0.329	0.329	0.351
	ゲインR/G/B	1023/1023/1023(「D65 Custom」のとき：1000/1023/1023)					
	バイアスR/G/B	0	0	0	0	0	0
ガンマ/EOTF		2.2	2.35	2.2	2.2	2.2	2.6
カラーガマット		SMPTE-C	EBU	ITU-R BT.709	ITU-R BT.2020	Adobe RGB	DCI-P3
カラーレンジ		オート	オート	オート	オート	オート	オート
Input Transform		－	－	－	－	－	－
Output Transform		－	－	－	－	－	－
Output Transform Surround		－	－	－	－	－	－
CDLプリセット		CDL 1	CDL 2	CDL 3	CDL 4	CDL 5	CDL 6
User LUT		User LUT 1	User LUT 1	User LUT 1	User LUT 1	User LUT 1	User LUT 1
ブースト(コントラスト)		オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
YCbCr カラーマトリクス		オート	オート	オート	オート	オート	オート
2020 コンスタントルミナンス		ノンコンスタント	ノンコンスタント	ノンコンスタント	ノンコンスタント	ノンコンスタント	ノンコンスタント
2020 ガマットマッピング		クリッピング	クリッピング	クリッピング	クリッピング	クリッピング	クリッピング
Hybrid Log-Gamma System		「ガンマ/EOTF」→「Hybrid Log-Gamma」のとき：1.200 「ガンマ/EOTF」→「Hybrid Log-Gamma RGB」のとき： γ 1.2-1000 cd/m ²					
HDR/SDR比較表示		オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
HDMIリンク		オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
ピクチャーモード名		－	－	－	－	－	－

設定項目		User 1	User 2	User 3	User 4-7	CINEMA EOS SYSTEM	ACESproxy (Ver. 1.0.1)
コントラスト		4000	4000	4000	1000	4000	480
ブライトネス		0	0	0	0	0	0
クロマ		1000	1000	1000	1000	1000	1000
シャープネス		0	0	0	0	0	0
バックライトコントロール		ローカルディミング 強					
色温度	プリセット	D65	D65	DCI-P3	D65	D65	D60
	x	0.313	0.313	0.314	0.313	0.313	0.322
	y	0.329	0.329	0.351	0.329	0.329	0.338
	ゲインR/G/B	1023/1023/1023(「D65 Custom」のとき：1000/1023/1023)					
	バイアスR/G/B	0	0	0	0	0	0
ガンマ/EOTF		SMPTE ST 2084 (PQ)	Hybrid Log-Gamma	SMPTE ST 2084 (PQ)	2.2	Canon Log 2 (HDR)	—
カラーガマット		ITU-R BT.2020	ITU-R BT.2020	DCI-P3	ITU-R BT.709	ITU-R BT.2020	—
カラーレンジ		オート	オート	オート	オート	オート	オート
Input Transform		—	—	—	—	—	オート
Output Transform		—	—	—	—	—	DCI-P3
Output Transform Surround		—	—	—	—	—	Dark Surround
CDLプリセット		CDL 7	CDL 8	CDL 9	CDL 10-13	CDL 14	CDL 15
User LUT		User LUT 1	User LUT 1	User LUT 1	User LUT 1	User LUT 1	User LUT 1
ブースト(コントラスト)		オン	オン	オン	オフ	オン	オフ
YCbCr カラーマトリクス		オート	オート	オート	オート	オート	オート
2020 コンスタントルミナンス		ノンコンスタント	ノンコンスタント	ノンコンスタント	ノンコンスタント	ノンコンスタント	ノンコンスタント
2020 ガマットマッピング		クリッピング	クリッピング	クリッピング	クリッピング	クリッピング	クリッピング
Hybrid Log-Gamma System		「ガンマ/EOTF」→「Hybrid Log-Gamma」のとき：1.200 「ガンマ/EOTF」→「Hybrid Log-Gamma RGB」のとき： γ 1.2-1000 cd/m ²					
HDR/SDR比較表示		オン	オン	オン	オフ	オフ	オフ
HDMIリンク		オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
ピクチャーモード名		User 1 (2020 PQ)	User 2 (2020 HLG)	User 3 (DCI PQ)	—	—	—

チャンネル設定

入力信号に関する設定を行うときに使うメニューです。「セレクトチャンネル」からチャンネルを選択して、設定します。
※「対応信号フォーマット」(198)

項目	設定内容
セレクトチャンネル	チャンネル番号を表示して、チャンネルを切り換えます。また、各チャンネルには、「チャンネル設定」の各内容を設定できます(132)。 CH1 ~ CH30 メモ チャンネルを切り換えるとき、5秒程度時間がかかる場合があります。
入力設定	入力を選択します。工場出荷時の設定内容はチャンネルによって異なります(162)。 3G/HD-SDI、3G-SDI RAW、SD-SDI、HDMI、－(未設定)
入力信号選択	信号の表示方法を設定します(118)。 オート：入力信号に合わせて、自動で判別します。 Quad Input：4つの入力信号(Input A ~ Input D)を表示します。 Dual Input A,B：2つの入力信号(Input A端子とInput B端子)を表示します。 Dual Input C,D：2つの入力信号(Input C端子とInput D端子)を表示します。 Single Input A、Single Input B、Single Input C、Single Input D：1つの入力信号(Input A ~ Input Dのいずれかの端子)を表示します。 メモ - 入力信号により、設定可能な設定内容は異なります。 - SD-SDIの場合：「Single Input A ~ Single Input D」のみ選択可能です。 - HDMIの場合：「オート」固定です。
Image Division	入力信号が「3G/HD-SDI」で、「入力信号選択」が「Quad Input」または「Dual Input」の場合に、表示方法を設定します。4K映像の信号は、「Square Division」と「2 Sample Interleave」の2つの分割方式に対応しています。 ■「Quad Input」の場合 オート：Payloadをもとに、自動判別して表示します。 Square Division：4分割して伝送された信号を、1映像として表示します。 2 Sample Interleave：2K/HD信号に分割して伝送された信号を、1映像として表示します。 Multi View (Quad)：4入力それぞれの映像を、4画面に表示します。 ■「Dual Input A,B」または「Dual Input C,D」の場合 オート：Payloadをもとに、自動判別して表示します。 Square Division：4分割して伝送された信号を、1映像として表示します。 2 Sample Interleave：2K/HD信号に分割して伝送された信号を、1映像として表示します。 Dual Link 3G-SDI：Dual Linkの3G-SDI信号を、1映像として表示します。 Multi View (Dual)：2入力それぞれの映像(Input A,BまたはInput C,D)を、2画面に表示します。 入力信号選択：Quad Input、Image Division：Square Division

項目	設定内容
フォーマット	カラーフォーマットと信号の階調を設定します。 ■ SDI信号の場合 オート、4:2:2 YCbCr 10-bit、4:2:2 YCbCr 12-bit、4:4:4 YCbCr 10-bit、4:4:4 YCbCr 12-bit、4:2:2 ICtCp 10-bit、4:2:2 ICtCp 12-bit、4:4:4 ICtCp 10-bit、4:4:4 ICtCp 12-bit、4:4:4 RGB 10-bit、4:4:4 RGB 12-bit、4:4:4 XYZ 10-bit、4:4:4 XYZ 12-bit ■ HDMI信号の場合 オート、4:4:4 XYZ 12/10-bit 📌 メモ - 設定内容にかかわらず、HD-SDI信号は「4:2:2 YCbCr 10-bit」になります。 「SD-SDI」は「4:2:2 YCbCr 10-bit」固定です。 「3G-SDI RAW」は「オート」固定です。 - ICtCp方式の信号を正しく表示するための各設定は、次のとおりです。 「ピクチャーモード」:「ITU-R BT.709」または「ITU-R BT.2020」 「カラーガマット」:「ITU-R BT.709」または「ITU-R BT.2020」 「ガンマ/EOTF」:「SMPTE ST 2084 (PQ)」、 「Hybrid Log-Gamma」または「Hybrid Log-Gamma RGB」 - SDI信号のICtCp方式を取り扱いたい場合には、信号に合わせて「4:2:2 ICtCp 10-bit」、「4:2:2 ICtCp 12-bit」、「4:4:4 ICtCp 10-bit」または「4:4:4 ICtCp 12-bit」を選択してください。 「オート」を選択した場合、A→B→C→Dの優先順位で選択されたPayloadで処理されます。 - SDI信号の4:4:4 XYZ 10-bitを取り扱いたい場合には、「4:4:4 XYZ 10-bit」を選択してください。4:4:4 RGB 10-bitフォーマットで出力されたRGBデータの中に、XYZデータが入っている信号として扱います。
音声端子	音声端子を設定します。「入力信号選択」の設定内容によって、選択できる端子が異なります。 「Quad Input」のとき：オート、Input A、Input B、Input C、Input D 「Dual Input A,B」のとき：オート、Input A、Input B 「Dual Input C,D」のとき：オート、Input C、Input D オート：入力信号に合わせて、自動で判別します。 📌 メモ 「入力信号選択」が「オート」または「Single Input」の場合、「オート」固定です。
Marker/TC/WFM/VEC 端子	「Multi View (Quad)」または「Multi View (Dual)」表示時、各種マーカー（グリッドマーカーを除く）、タイムコード、波形モニター、ベクトルスコープ、カメラインフォメーション表示の対象となる端子を設定します。（波形モニターとカメラインフォメーションは、「Multi View (Quad)」表示時のみ） 「オート」または「Quad Input」のとき：Input A、Input B、Input C、Input D 「Dual Input A,B」のとき：Input A、Input B 「Dual Input C,D」のとき：Input C、Input D 📌 メモ 「MultiView (Quad)」または「MultiView (Dual)」以外の場合は、無効です。
インターナルシンク	「Square Division」を選択時、4入力を同期させるかを設定します。 オン：強制的に同期をとります。 オフ：同期をとりません。
チャンネル名	選択したチャンネルに、名前を設定します。入力できる文字は英数字記号（半角）で、16文字までです。

項目	設定内容
ピクチャーモード	チャンネルごとに「ピクチャーモード」を設定します。
タイプ	ノーマル：1つの「ピクチャーモード」を設定します。 ピクチャーモード L/R：左右画面ごとに、「ピクチャーモード」を設定します。 ピクチャーモード L、ピクチャーモード R 4K/2K：4Kまたは2K信号の表示画面ごとに、「ピクチャーモード」を設定します。 ピクチャーモード 4K、ピクチャーモード 2K オート：SDI信号に応じて、「ピクチャーモード」を設定します。カメラのメタデータ→Payload→解像度(4K/2K)の優先順位で、設定した「ピクチャーモード」に切り換わります。 ピクチャーモード 4K、ピクチャーモード 2K、Payload Colorimetry UHD、Payload Colorimetry 709、Payload Colorimetry VANC、Payload Colorimetry Unknown、Camera CINEMA EOS SYSTEM、Camera ARRI、Camera VARICAM  メモ - 入力信号により、設定可能な設定内容は異なります。 「SD-SDI」の場合：「タイプ」は「ノーマル」固定です。「オート」は設定できません。 「3G-SDI RAW」、「HDMI」の場合：「タイプ」の「4K/2K」と「オート」は設定できません。 「タイプ」→「L/R」のとき、左右画面で同一の「ピクチャーモード」を設定すると、選択していない画面の「ピクチャーモード」が他のモードに変更されます(左右画面の「ピクチャーモード」が入れ替わる、など)。
ピクチャーモード	各画面の「ピクチャーモード」を設定します。
ピクチャーモード L	SMPTE-C、EBU、ITU-R BT.709、ITU-R BT.2020、Adobe RGB、DCI-P3、User 1(2020 PQ)、User 2(2020 HLG)、User 3(DCI PQ)、User 4 ~ User 7、CINEMA EOS SYSTEM ACESproxy (Ver. 1.0.1)：「タイプ」が「ノーマル」のときに設定できます。 ー(未設定)：入力信号に応じて自動的に画質を切り換えません。「タイプ」→「オート」で、「ピクチャーモード 4K」と「ピクチャーモード 2K」以外を選択時に設定できます。 - SDI Payload IDのColorimetry Bit対応は、次の規格に準拠した信号に対応しています。 - SMPTE ST 425-3:2015 (3G-SDI Dual Link) - SMPTE ST 425-5:2015 (3G-SDI Quad Link)
ピクチャーモード R	
ピクチャーモード 4K	
ピクチャーモード 2K	
Payload Colorimetry UHD	
Payload Colorimetry 709	
Payload Colorimetry VANC	
Payload Colorimetry Unknown	
Camera CINEMA EOS SYSTEM	
Camera ARRI	
Camera VARICAM	

項目	設定内容
1入力Dual View	「Image Division」→「Multi View (Quad)」または「Multi View (Dual)」以外するとき、入力映像を縮小して、2画面で表示することができます。 オート:「ピクチャーモード」→「タイプ」が「L/R」のとき、または「ピクチャーファンクション設定」のサブメニュー項目が「オン」のときに、自動的に同じ画像を並べて、2画面比較表示をします。4K映像は縮小して表示されます。 該当する「ピクチャーファンクション設定」のサブメニュー項目： 「ピーキング」、「フォルスカラー」、「オーバーレンジ」、「2020 色域外表示」、「モノクロ」、「レッドオフ」、「グリーンオフ」、「ブルーオフ」、「比較表示」 オフ  メモ • 非対応の信号が入力されている場合は、無効です。
セパレーター	次の場合に、画面の境界線を表示します。 - 「ピクチャーモード」→「タイプ」が「L/R」のとき - 「Multi View (Quad)」または「Multi View (Dual)」のとき - 「1入力Dual View」が「オート」で動作している場合 - 「ピクチャーファンクション設定」→「比較表示」→「表示」が「オン」のとき ホワイト、ブラック、オフ

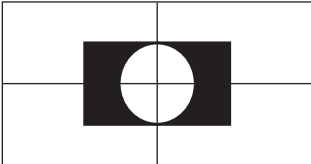
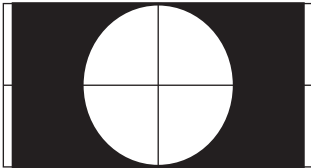
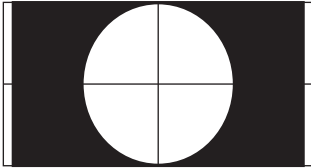
各チャンネルの工場出荷時の設定内容は表のとおりです。

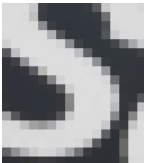
CH	CH1	CH2	CH3	CH4	CH5
入力設定	3G/HD-SDI	HDMI	3G-SDI RAW	3G/HD-SDI	3G/HD-SDI
入力信号選択	オート	オート	オート	オート	オート
Image Division	オート	オート	オート	オート	オート
フォーマット	オート	オート	オート	オート	オート
音声端子	オート	オート	オート	オート	オート
Marker/TC/WFM/VEC端子	Input A	Input A	Input A	Input A	Input A
インターナルシンク	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
チャンネル名	(空欄)	(空欄)	(空欄)	(空欄)	(空欄)
ピクチャーモード→タイプ	ノーマル	ノーマル	ノーマル	4K/2K	L/R
ピクチャーモード ピクチャーモード L ピクチャーモード 4K	ITU-R BT.709	ITU-R BT.709	CINEMA EOS SYSTEM	User 1 (2020 PQ)	User 1 (2020 PQ)
ピクチャーモード R ピクチャーモード 2K	ITU-R BT.709				
Payload Colorimetry UHD	ITU-R BT.2020				
Payload Colorimetry 709	ITU-R BT.709				
Payload Colorimetry VANC	—				
Payload Colorimetry Unknown	—				
Camera CINEMA EOS SYSTEM	CINEMA EOS SYSTEM				
Camera ARRI	User 6				
Camera VARICAM	User 7				
1入力 Dual View	オフ	オフ	オフ	オート	オフ
セパレーター	オフ	オフ	オフ	オフ	ホワイト

CH	CH6	CH7	CH8	CH9	CH10 ~ CH30
入力設定	3G/HD-SDI	3G/HD-SDI	3G/HD-SDI	3G/HD-SDI	－(未設定)
入力信号選択	オート	オート	オート	オート	オート
Image Division	オート	オート	オート	オート	オート
フォーマット	オート	オート	オート	オート	オート
音声端子	オート	オート	オート	オート	オート
Marker/TC/WFM/VEC端子	Input A	Input A	Input A	Input A	Input A
インターナルシンク	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
チャンネル名	(空欄)	(空欄)	(空欄)	(空欄)	(空欄)
ピクチャーモード→タイプ	L/R	4K/2K	L/R	L/R	ノーマル
ピクチャーモード ピクチャーモード L ピクチャーモード 4K	User 1 (2020 PQ)	User 2 (2020 HLG)	User 2 (2020 HLG)	User 2 (2020 HLG)	ITU-R BT.709
ピクチャーモード R ピクチャーモード 2K	ITU-R BT.709				
Payload Colorimetry UHD	ITU-R BT.2020				
Payload Colorimetry 709	ITU-R BT.709				
Payload Colorimetry VANC	－				
Payload Colorimetry Unknown	－				
Camera CINEMA EOS SYSTEM	CINEMA EOS SYSTEM				
Camera ARRI	User 6				
Camera VARICAM	User 7				
1入力 Dual View	オート	オート	オフ	オート	オフ
セパレーター	オフ	オフ	ホワイト	オフ	オフ

ディスプレイ設定

表示のしかたを設定するときに使うメニューです。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
スクリーン スケーリング	画像をスケーリングして画面にどのように表示するかを設定します。 Native Input Resolution：スケーリングをせずに入力信号をそのまま表示します。  1920x1080(オリジナル) 200%：縦横2倍に拡大します。  1920x1080→3840x2160 オート：画面全体に拡大して表示します。  1920x1080→3840x2160  メモ • 次の場合、「オート」を選択しても、拡大率は最大200%です。 - 「ピーキング」、「フォルスカラー」または「オーバーレンジ」が「オン」の場合
アナモフィック	アナモフィックレンズを使って撮影した映像を確認するときに設定します。設定した倍率に応じて表示します。 x2.0、x1.5、x1.33、オフ  メモ • 次の場合、設定は無効になります。 - 「ピーキング」、「フォルスカラー」または「オーバーレンジ」が「オン」の場合

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
スケーリング法	「スクリーンスケーリング」の「200%」または「オート」を選択した場合の、補間法を設定します。 シェーブトレース：ジャギーが目立たない滑らかな斜め線が再現できる、キャノンオリジナルの処理です。  バイキュービック：隣接する画素の情報を利用して補間画素を作る一般的な補間処理です。  ニアレストネイバー：最も近くの画素の情報を用いて新しい画素を作る(コピー)処理です。元の画素をそのまま拡大して確認する場合には適しますが、ジャギーが目立ちます。 
ズーム	映像の一部分を拡大します。ズーム機能は、解像度が「4096×2160」、「3840×2160」、「2048×1080」、「1920×1080」の場合に使用できます。 ズームプリセット：ズームの表示方法を設定します。3つのプリセットがあります。 ズーム1、ズーム2、ズーム3、オフ 倍率：ズームの表示倍率を設定します。 x2、x4、x8 ポジション：ズーム調整画面が表示されます。ジョグダイヤルを使って、表示位置を調整します。  メモ - 次の場合、ズーム機能は使用できません。 「スクリーンキャプチャー」の「ファイル再生」を実行中 - テストパターンを表示中 - キャリブレーションが開始されたとき 「Multi View (Quad)」または「Multi View (Dual)」表示時 「チャンネル設定」→「ピクチャーモード」→「タイプ」が「L/R」で、いずれか片方の画面の「2020 コンスタントルミナンス」が「コンスタント」のとき - ズーム機能を使用中、下記は表示されません。 バックグラウンドカラー、各種マーカー、波形モニター、ベクトルスコープ、ピクセル値チェック、フレーム輝度モニター - ズーム機能の設定を変更すると、「フレームホールド」は「オフ」になります。 - 解像度が「2048×1080」または「1920×1080」の場合、「倍率」を「x2」に設定しても表示位置は変更できません。 「チャンネル設定」→「ピクチャーモード」→「タイプ」が「L/R」の場合、左画面の「ピクチャーモード」の設定値になります。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
フレームホールド	映像を一時停止します。 オン、<u>オフ</u>  メモ • 「ピーキング」が「オン」の場合、設定できません。 • 映像を一時停止中に画質設定を変更した場合、正しく設定が反映されないことがあります。
バックグラウンドカラー	黒帯と映像との境界を確認するために、黒帯の色を設定します。 ホワイト、<u>グレー</u>、<u>オフ</u>  メモ • 「Multi View (Quad)」または「Multi View (Dual)」表示時は、設定できません。
I/PsF	インターレース信号またはPsF信号を、どのように表示するか設定します。 <u>オート</u>：Payloadを元に自動判別し表示します。Payloadがない場合には、インターレースとして表示します。 インターレース：インターレースとして表示します。 PsF：PsFとして表示します。
PsF	PsF信号をどのように表示するか設定します。 <u>プログレッシブ</u>：対になる2フィールドを検知し、画質を優先して補間します。 インターレース：隣接する2フィールドを用いて速度を優先して補間します。
I/P変換	インターレース信号のI/P変換法を設定します。 <u>画質優先</u>：画質を優先するモードです。「速度優先」より処理時間は長くなります。 速度優先：速度を優先するモードです。
フィルムケイデンス	フィルムケイデンスモードを設定します。 2-2：2-2プルダウン処理されたインターレース信号入力のとキプログレッシブ変換映像を表示します。 2-3：2-3プルダウン処理されたインターレース信号入力のとキプログレッシブ変換映像を表示します。 2-3-3-2：2-3-3-2プルダウン処理されたインターレース信号入力のとキプログレッシブ変換映像を表示します。 <u>オフ</u>：フィルムケイデンスモード設定によるプログレッシブ変換を行いません。  メモ • 「I/P変換」が「画質優先」の場合にのみ設定できます。 • 「Multi View (Quad)」または「Multi View (Dual)」表示時は、設定できません。「オフ」固定になります。

オーディオ設定

ヘッドホン端子からの音声出力を設定するときに使うメニューです。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
SDIグループ	SDI音声入力時、入力する音声グループを切り換えます。 CH1-CH8、CH9-CH16
CH L/R(SDI)	ヘッドホンの2チャンネル(L/R)にどの音声を出力するかをそれぞれ設定します。「SDIグループ」に応じて選択肢が変わります。 「SDIグループ」の「CH1-CH8」選択時： CH1-CH8 「SDIグループ」の「CH9-CH16」選択時： CH9-CH16
CH L/R(HDMI)	ヘッドホンの2チャンネル(L/R)に、どの音声を出力するかをそれぞれ設定します。 CH1-CH8
音量	音量を設定します。 0 ~ 100(30)
音声切換	ステレオ出力を設定します。 L R、L、R、MIX(L+R)

マーカー設定

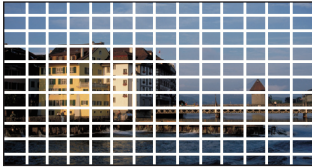
各種マーカーを設定するときに使うメニューです。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
マーカープリセット	マーカーをカスタマイズして、マーカー1～5に設定します。 マーカー1～5、オフ
アスペクトマーカー	アスペクトマーカーとは、指定されたアスペクト比で範囲を表示するものです。   メモ 次の場合、アスペクトマーカーは表示されません。 ・ 無信号、非対応信号、または「入力設定」が設定されていないチャンネルを選択したとき ・ 画像がズーム表示されているとき ・ 「スクリーンキャプチャー」の「ファイル再生」実行中のとき ・ 「テストパターン」が表示されているとき
表示	アスペクトマーカーの表示、非表示を切り換えます。 オン、オフ
マスク	マスクの色を切り換えます。マスクとは、マーカーの範囲外のブランキングエリアです。 ブラック：  ハーフ(50%グレー)：  オフ： マスクを表示しません。
アスペクト比	アスペクトマーカーのアスペクト比を設定します。 16:9、15:9、14:9、13:9、4:3、2.39:1、2.35:1、1.896:1、1.85:1、1.66:1、バリエابل 「バリエابل」を選択すると、数値で入力できます(0.01:1刻み)。グレー表示されていたスライダーがアクティブになり、スライダーを動かすことで設定できます。 1.00:1～3.00:1(1.78:1)
ライン	「マスク」で「ブラック」または「ハーフ」選択時に、アクティブになります。マスク上の線の表示、非表示を切り換えます。 オン、オフ
ラインの太さ	アスペクトマーカーの線の太さを設定します。 太い、標準、細い

項目		設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
	ラインの色	アスペクトマーカの線の色を設定します。 ホワイト、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、シアン、マゼンタ、グレー
	ラインの明るさ	アスペクトマーカの線の明るさを設定します。 明、暗、ハーフ
	Hポジション	設定されたアスペクトのまま、水平位置を移動できます。 -65 ~ 65(0)
	Vポジション	設定されたアスペクトのまま、垂直位置を移動できます。 -35 ~ 35(0)
セーフティゾーン マーカ1、2		セーフティゾーンマーカは2種類を設定できます。設定項目は1、2共通です。セーフティゾーンマーカとは、映像の安全範囲(実際に映る範囲)を設定して、映像を確認するものです。   メモ 次の場合、セーフティゾーンマーカは表示されません。 ・無信号、非対応信号、または「入力設定」が設定されていないチャンネルを選択したとき ・画像がズーム表示されているとき ・「スクリーンキャプチャー」の「ファイル再生」実行中のとき ・「テストパターン」が表示されているとき
表示		セーフティゾーンマーカの表示、非表示を切り換えます。 オン、オフ
アスペクト比		セーフティゾーンマーカのアスペクト比を設定します。 16:9、15:9、14:9、13:9、4:3、2.39:1、2.35:1、1.896:1、1.85:1、1.66:1、バリエابل 「バリエابل」を選択すると、数値で入力できます(0.01:1刻み)。グレー表示されていたスライダーがアクティブになり、スライダーを動かすことで設定できます。 1.00:1 ~ 3.00:1(1.78:1)  メモ ・「エリアのサイズ」で「バリエابل(ドット)」が設定されている場合、「アスペクト比」は選択できません。
エリアの サイズ		セーフティゾーンマーカのサイズを設定します。 80%、88%、90%、93%、バリエابل(%）、バリエابل(ドット) 「バリエابل(%)」を選択すると、グレー表示されていた「倍率(%)」がアクティブになります。「バリエابل(ドット)」を選択すると、グレー表示されていた「幅(ドット)」と「高さ(ドット)」がアクティブになります。スライダーを動かすことで設定できます。
倍率(%)		「エリアのサイズ」で「バリエابل(%)」を選択したときにアクティブになります。スライダーを動かすことにより、1%単位で現在表示されているマーカに対する比率を設定できます。 50 ~ 100(80)
幅(ドット)		「エリアのサイズ」で「バリエابل(ドット)」を選択したときにアクティブになります。スライダーを動かすことにより、2ドット単位で設定できます。 360 ~ 4096(3276)
高さ(ドット)		「エリアのサイズ」で「バリエابل(ドット)」を選択したときにアクティブになります。スライダーを動かすことにより、2ドット単位で設定できます。 240 ~ 2160(1728)

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
エリアの形	セーフティゾーンマーカのエリアの形を設定します。 ボックス：  ブラケット：  エンクロージャー： 
ラインの太さ	セーフティゾーンマーカの線の太さを設定します。 太い、標準、細い
ラインの色	セーフティゾーンマーカの線の色を設定します。 ホワイト、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、シアン、マゼンタ、グレー
ラインの明るさ	セーフティゾーンマーカの線の明るさを設定します。 明、暗、ハーフ
Hポジション	設定されたアスペクトとサイズのまま、水平位置を移動できます。 -65 ~ 65(0)
Vポジション	設定されたアスペクトとサイズのまま、垂直位置を移動できます。 -35 ~ 35(0)

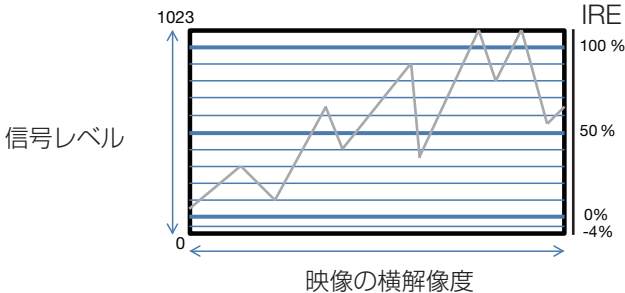
項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
エリアマーカー	エリアマーカーは、矩形を設定して所定の部分を確認するときに使用するマーカーです。   メモ 次の場合、「エリアマーカー」は表示されません。 ・ 無信号、非対応信号、または「入力設定」が設定されていないチャンネルを選択したとき ・ 画像がズーム表示されているとき ・ 「スクリーンキャプチャー」の「ファイル再生」実行中のとき ・ 「テストパターン」が表示されているとき
表示	エリアマーカーの表示／非表示を切り換えます。 オン、オフ
Hポジション	矩形の描画開始位置(X座標)を設定します(2刻み)。 0 ～ 4086(240)
Vポジション	矩形の描画開始位置(Y座標)を設定します(2刻み)。 0 ～ 2150(120)
幅(ドット)	矩形の幅を設定します(2刻み)。 10 ～ 4096(240)
高さ(ドット)	矩形の高さを設定します(2刻み)。 10 ～ 2160(120)
マスク	マスク(マーカー内)の色を切り換えます。 ブラック、ハーフ、オフ
ライン	矩形輪郭の線の表示、非表示を切り換えます。 オン、オフ
ラインの太さ	エリアマーカーの線の太さを設定します。 太い、標準、細い
ラインの色	エリアマーカーの線の色を設定します。 ホワイト、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、シアン、マゼンタ、グレー
ラインの明るさ	エリアマーカーの線の明るさを設定します。 明、暗、ハーフ

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
センターマーカー	センターマーカーとは、映像の中心を表示するものです。   メモ 次の場合、「センターマーカー」は表示されません。 • 画像がズーム表示されているとき
表示	センターマーカーの表示、非表示を切り換えます。 オン、オフ
サイズ	センターマーカーの大きさを設定します。 大、中、小
ラインの太さ	センターマーカーの線の太さを設定します。 太い、標準、細い
ラインの色	センターマーカーの線の色を設定します。 ホワイト、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、シアン、マゼンタ、グレー
ラインの明るさ	センターマーカーの線の明るさを設定します。 明、暗、ハーフ
グリッドマーカー	グリッドマーカーとは、水平、垂直を確認するときに使用するマーカーです。   メモ 次の場合、「グリッドマーカー」は表示されません。 • 画像がズーム表示されているとき
表示	グリッドマーカーの表示、非表示を切り換えます。 オン、オフ
間隔	縦横の線の間隔を設定します。 160 ドット、240 ドット、320 ドット
ラインの太さ	グリッドマーカーの線の太さを設定します。 太い、標準、細い
ラインの色	グリッドマーカーの線の色を設定します。 ホワイト、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、シアン、マゼンタ、グレー
ラインの明るさ	グリッドマーカーの線の明るさを設定します。 明、暗、ハーフ

ファンクション設定

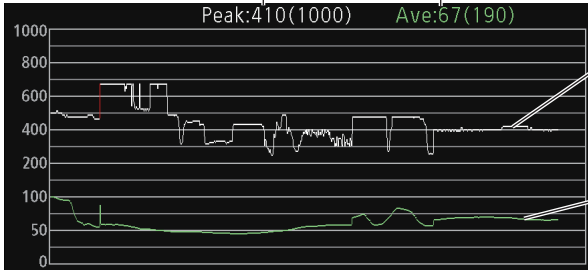
映像の信号情報の表示機能や、CINEMA EOS SYSTEMのカメラや他社製シネマカメラと連携する機能などを設定するときに使うメニューです。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
タイムコード	信号に重畳されたタイムコードを表示します。   メモ - 次の場合、タイムコードは表示できません。 「フレームホールド」が「オン」のとき 「スクリーンキャプチャー」の「ファイル再生」を実行中 「オーディオレベルメーター」と表示位置が重なったとき 「テストパターン」を表示中 「Multi View (Dual)」表示時、「H オフセット」の設定は無効です。
表示	タイムコードの表示、非表示を切り換えます。 オン、オフ
タイプ	タイプを選択します。 VITC、LTC  メモ HDMI信号の場合、設定は無効です。「VITC」固定になります。
サイズ	サイズを選択します。 大、小
ポジション	表示位置を選択します。 左上、右上、左下、右下  メモ 「Multi View (Dual)」表示時、設定は無効になります。
H オフセット	タイムコードの表示位置を調整します。 0～1460(0)
タイプ文字表示	VITC/LTC文字の表示を設定します。 オン、オフ
明るさ	文字の明るさを設定します。 ノーマル、ハーフ

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
波形モニター	波形モニターの各種設定をします。波形モニターは、横軸に映像の横解像度、縦軸に信号レベルを配置し表示します。波形モニターの右側に、使用中の「カラーレンジ」と「HDRレンジ」の情報(縦線)を表示します。  メモ - 次の場合、波形モニターは表示できません。 - 画像がズーム表示されているとき 「フレームホールド(インターレース信号またはPsF信号時)」が「オン」のとき 「ピーキング1」または「ピーキング2」が選択されているとき 「スクリーンキャプチャー」の「ファイル再生」を実行中 「テストパターン」を表示中 「Multi View (Quad)」または「Multi View (Dual)」表示時は、「Marker/TC/WFM/VEC端子」で設定した信号のみ表示されます。 「波形モニター」を「オン」にすると、「ベクトルスコープ」は「オフ」になります。 「スケール」→「オート」を選択時：「チャンネル設定」→「ピクチャーモード」→「タイプ」が「L/R」のときは、左画面の「ガンマ/EOTF」と「カラーレンジ」のスケールが表示されます。「Multi View (Quad)」または「Multi View (Dual)」の場合、「チャンネル設定」の「Marker/TC/WFM/VEC端子」で設定した端子の「ガンマ」と「カラーレンジ」のスケールが表示されます。
表示	波形モニターの表示／非表示を切り換えます。 オン、オフ
信号選択	表示波形を設定します。 Y、Cb、Cr、R、G、B
表示形式	表示形式を設定します。「ライン」を選択すると、1ライン分の表示をします。 すべて、ライン 「ライン」を選択したとき、どのラインを表示するかを選択します。 ライン選択：1～2160
ポジション	表示位置を選択します。 左下、右下 メモ 「Multi View (Dual)」表示時、設定は無効になります。
スケール	波形モニターのスケールを設定します。 オート：「ガンマ/EOTF」と「カラーレンジ」の設定内容に応じて設定します。 IRE、ST 2084 (PQ) Full、ST 2084 (PQ) Limited、Hybrid Log-Gamma、Canon Log、Canon Log 2、Canon Log 3、Preset Log 1、Preset Log 2、ARRI (Rec2100-PQ-1K-100)、ARRI (Rec2100-HLG-1K-200)：スケールを選択します。
基準ライン	指定した位置にガイドが表示されます。「1023」で非表示になります。 4～1023

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
基準レベル	基準レベルの範囲を設定します。基準レベルの範囲外を着色します。 • HDRレンジに対応した「ガンマ/EOTF」の場合、HDRレンジを超えた部分を着色します。 • 「カラーレンジ」→「リミテッド」の場合、リミテッドの範囲外を着色します。 オート : 「ガンマ/EOTF」と「カラーレンジ」の設定内容に応じて設定します。 マニュアル : 「マニュアル」を選択したときに、基準レベルを設定します。 基準レベル 高 : 基準表示レベル(高)を設定します。「1023」で非表示になります。 468 ~1023 基準レベル 低 : 基準表示レベル(低)を設定します。「0」で非表示になります。 0 ~468
カラー	表示する信号と、基準レベルを超えた信号の表示色を設定します。 Y、Cb、Cr、R、G、B : 信号を選択します。 選択した信号の色を選択します。 ホワイト、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、シアン、マゼンタ 各信号の初期値は次のとおりです。 Y(ホワイト)、Cb(ホワイト)、Cr(ホワイト)、R(レッド)、G(グリーン)、B(ブルー) 基準レベル 高、基準レベル 低 : 基準レベルを選択します。 ホワイト、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、シアン、マゼンタ 各基準レベルの初期値は次のとおりです。 基準レベル 高(マゼンタ)、基準レベル 低(シアン)
ベクトルスコープ	ベクトルスコープの各種設定をします。ベクトルスコープは、横軸に色差信号Cb、縦軸にCrを配置し、色信号の強さや色相を表示します。 メモ • 次の場合、ベクトルスコープは表示できません。 - 画像がズーム表示されているとき - 「フレームホールド(インターレース信号またはPsF信号時)」または「フォルスカラー」が「オン」のとき - 「ピーキング1」または「ピーキング2」が選択されているとき - 「スクリーンキャプチャー」の「ファイル再生」を実行中 - 「テストパターン」を表示中 • 「Multi View (Quad)」または「Multi View (Dual)」表示時は、「Marker/TC/WFM/VEC端子」で設定した信号のみ表示されます。 • 「ベクトルスコープ」を「オン」にすると、「波形モニター」は「オフ」になります。
表示	ベクトルスコープの表示／非表示を切り換えます。 オン、オフ

項目		設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
	ターゲット	ターゲットを設定します。 75%、100%
	ポジション	表示位置を選択します。 左下、右下  メモ 「Multi View (Dual)」表示時、設定は無効になります。
オーディオレベル メーター		オーディオレベルメーターの各種設定をします。選択したチャンネル数の音声レベルを表示します。  メモ 「フレームホールド」が「オン」、「スクリーンキャプチャー」の「ファイル再生」を実行中、または「テストパターン」を表示中は、「オーディオレベルメーター」は表示できません。
	表示	オーディオレベルメーターの表示／非表示を切り換えます。 オン、オフ
	チャンネル数 (SDI)	SDI信号入力時の表示チャンネル数を設定します。「オーディオ設定」の「SDIグループ」に応じて選択肢が変わります。 「SDIグループ」が「CH1－CH8」選択時： 2CH(CH1－CH2)、4CH(CH1－CH4)、6CH(CH1－CH6)、8CH(CH1－CH8) 「SDIグループ」が「CH9－CH16」選択時： 2CH(CH9－CH10)、4CH(CH9－CH12)、6CH(CH9－CH14)、8CH(CH9－CH16)
	チャンネル数 (HDMI)	HDMI信号入力時の表示チャンネル数を設定します。 2CH(CH1－CH2)、4CH(CH1－CH4)、6CH(CH1－CH6)、8CH(CH1－CH8)
	サイズ	表示の大きさを設定します。 大、中、小
	ピークホールド	「オン」の場合、音声信号がピーク時の1秒間分を保持します。 オン、オフ
	基準レベル	基準レベルを設定します。 -40 ～0(-20)
ピクセル値チェック		「ガンマ/EOTF」が「SMPTE ST 2084(PQ)」または「Hybrid Log-Gamma」のとき、指定したピクセル(カーソル)位置の輝度とRGB値を測定して表示します。「ピクセル値チェック」は、解像度が「4096×2160」、「3840×2160」、「2048×1080」、「1920×1080」の場合に使用できます。  メモ - 次の場合、「ピクセル値チェック」は表示されません。 - 画像がズーム表示されているとき 「スクリーンキャプチャー」の「ファイル再生」を実行中 「テストパターン」を表示中 「Multi View (Quad)」または「Multi View (Dual)」表示時 「チャンネル設定」→「ピクチャーモード」→「タイプ」が「L/R」のとき - 無信号または非対応信号を入力時 「ピクセル値チェック」の表示中にOSDメニューを操作すると、更新に時間がかかることがあります。
	表示	「ピクセル値チェック」の表示／非表示を切り換えます。 オン、オフ

項目		設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
	H ポジション	ピクセル位置(水平)を設定します。 1 ~4096(960)
	V ポジション	ピクセル位置(垂直)を設定します。 1 ~2160(540)
	リセットポジション	RESETボタンを押下したときの動作を設定します。 ノーマル ：初期値にリセットします。 ピーク輝度周辺 ：表示画像内のピーク輝度エリアの近辺に移動します。
フレーム輝度モニター		「ガンマ/EOTF」が「SMPTE ST 2084 (PQ)」または「Hybrid Log-Gamma」の場合に、画面全体(フレーム)の「最大／平均輝度」を表示します。それ以外の場合は、「最大／平均階調値」を表示します。「フレーム輝度モニター」は、解像度が「4096×2160」、「3840×2160」、「2048×1080」、「1920×1080」の場合に使用できます。 平均輝度の現在値(累積最大値) ピーク輝度の現在値(累積最大値)   メモ - 次の場合、「フレーム輝度モニター」は表示されません。 - 画像がズーム表示されているとき 「スクリーンキャプチャー」の「ファイル再生」を実行中 「テストパターン」を表示中 「Multi View (Quad)」または「Multi View (Dual)」表示時 「チャンネル設定」→「ピクチャーモード」→「タイプ」が「L/R」のとき - 無信号または非対応信号を入力時 - OSDメニューを操作すると、「フレーム輝度モニター」の更新時間が遅くなったり、グラフ表示がリセットされることがあります。
表示		フレーム輝度モニターの表示／非表示を切り換えます。 オン、オフ
リセット		表示内容をリセットします。
ピーク輝度上昇基準レベル		ピーク輝度の上昇レベルの基準値を設定します。(10 cd/m ² 刻み) 0 ~1000(400)
平均輝度上昇基準レベル		平均輝度の上昇レベルの基準値を設定します。(10 cd/m ² 刻み) 0 ~1000(200)

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
テストパターン	本機に内蔵されているテストパターンを設定します。 ホワイト (1023)、ホワイト (940)、グレー、ブラック (64)、ブラック (0)、Ramp、カラーバー、カラーバー(PQ Full)、カラーバー(PQ Limited)、カラーバー(HLG)、PLUGE、PLUGE(PQ/HLG)、オフ  メモ - 電源を入れ直した場合、テストパターンは表示されません。 - 次の場合、テストパターンは消去されます。 - キャリブレーションが開始されたとき - CHボタン、チャンネルアップ/ダウンが登録されたFボタン、「チャンネル設定」の「セレクトチャンネル」でチャンネルを切り換えたとき 「チャンネル設定」の「入力設定」または「入力信号選択」を切り換えたとき 「全設定リセット」を実行したとき
スクリーンキャプチャー	画面をキャプチャーします。
キャプチャー実行	キャプチャーを実行します。USBメモリーのルートフォルダーに「YYYYMMDD_hhmmss.bmp」または「YYYYMMDD_hhmmss.jpg」というファイル名で保存します。
フレームホールド	映像を一時停止します。 オン、オフ
キャプチャー対象	キャプチャーする対象を選択します。 すべて：マーカーや波形モニターなどの映像補助機能やOSDメニューも含めてキャプチャーします。 映像のみ：映像信号のみキャプチャーします。
ファイル形式	キャプチャーする画像のファイル形式を設定します。 JPEG、Bitmap
ファイル再生	キャプチャーした画像を再生します。 ファイル選択：ファイルを選択します。 実行：再生を実行します。  メモ キャプチャーした画像を、本機以外で再生すると、正確な色で再生されない場合があります。
ファイル再生終了	再生を終了します。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)																																																											
カメラリンク	CINEMA EOS SYSTEMのカメラ、ARRI社製／パナソニック社製シネマカメラと連携する機能を設定します。																																																											
自動画質設定 (CINEMA EOS)	「ピクチャーモード」の「CINEMA EOS SYSTEM」選択時に、カメラの画質設定に連動するかどうかを設定します。(「入力設定」が「3G/HD-SDI」または「3G-SDI RAW」のとき) オン、オフ 「カラーガマット/ガンマ/EOTF」、「色温度」、「カラーレンジ」のすべてを「オン」にした場合には、次の設定値になります。 CINEMA EOS SYSTEMとDP-V2410の設定値対応表 <table><tr><th>CINEMA EOS SYSTEM</th><th colspan="2">DP-V2410</th></tr><tr><td>Color Space</td><td>カラーガマット</td><td>色温度</td></tr><tr><td>BT.709</td><td>ITU-R BT.709</td><td>D65</td></tr><tr><td>BT.2020</td><td>ITU-R BT.2020</td><td>D65</td></tr><tr><td>DCI-P3</td><td>DCI-P3</td><td>DCI-P3</td></tr><tr><td rowspan="2">DCI-P3+</td><td>DCI-P3+ to 709</td><td>D65</td></tr><tr><td>DCI-P3+ to DCI-P3</td><td>DCI-P3</td></tr><tr><td rowspan="3">Cinema Gamut</td><td>Cinema Gamut to 709</td><td>D65</td></tr><tr><td>Cinema Gamut to 2020</td><td>D65</td></tr><tr><td>Cinema Gamut to DCI-P3</td><td>DCI-P3</td></tr><tr><td rowspan="3">RAW Gamut</td><td>Cinema Gamut to 709</td><td>D65</td></tr><tr><td>Cinema Gamut to 2020</td><td>D65</td></tr><tr><td>Cinema Gamut to DCI-P3</td><td>DCI-P3</td></tr></table> <table><tr><th>CINEMA EOS SYSTEM</th><th colspan="2">DP-V2410</th></tr><tr><td>ガンマ/EOTF</td><td>ガンマ/EOTF</td><td>HDRレンジ</td></tr><tr><td>Canon Log</td><td>Canon Log (HDR)</td><td rowspan="4">—</td></tr><tr><td>Canon Log 2</td><td>Canon Log 2 (HDR)</td></tr><tr><td>RAW Gamma</td><td></td></tr><tr><td>Canon Log 3</td><td>Canon Log 3 (HDR)</td></tr><tr><td>ST 2084、PQ</td><td>SMPTE ST 2084(PQ)</td><td>1000</td></tr><tr><td>Normal(BT.709)</td><td rowspan="3">2.2</td><td rowspan="4">—</td></tr><tr><td>Wide DR</td></tr><tr><td>EOS Std.</td></tr><tr><td>DCI-P3</td><td>2.6</td></tr></table> カラーガマット/ガンマ/EOTF：カメラの設定に応じてディスプレイの画質を対応させます。 オン、オフ 色温度：カメラの設定に応じてディスプレイの画質を対応させます。 オン、オフ 表示カラーガマット：カメラの「Color Space」が「Cinema Gamut」または「DCI-P3+」の場合、ディスプレイで表示する色域を設定します。 ITU-R BT.709、ITU-R BT.2020、DCI-P3	CINEMA EOS SYSTEM	DP-V2410		Color Space	カラーガマット	色温度	BT.709	ITU-R BT.709	D65	BT.2020	ITU-R BT.2020	D65	DCI-P3	DCI-P3	DCI-P3	DCI-P3+	DCI-P3+ to 709	D65	DCI-P3+ to DCI-P3	DCI-P3	Cinema Gamut	Cinema Gamut to 709	D65	Cinema Gamut to 2020	D65	Cinema Gamut to DCI-P3	DCI-P3	RAW Gamut	Cinema Gamut to 709	D65	Cinema Gamut to 2020	D65	Cinema Gamut to DCI-P3	DCI-P3	CINEMA EOS SYSTEM	DP-V2410		ガンマ/EOTF	ガンマ/EOTF	HDRレンジ	Canon Log	Canon Log (HDR)	—	Canon Log 2	Canon Log 2 (HDR)	RAW Gamma		Canon Log 3	Canon Log 3 (HDR)	ST 2084、PQ	SMPTE ST 2084(PQ)	1000	Normal(BT.709)	2.2	—	Wide DR	EOS Std.	DCI-P3	2.6
CINEMA EOS SYSTEM	DP-V2410																																																											
Color Space	カラーガマット	色温度																																																										
BT.709	ITU-R BT.709	D65																																																										
BT.2020	ITU-R BT.2020	D65																																																										
DCI-P3	DCI-P3	DCI-P3																																																										
DCI-P3+	DCI-P3+ to 709	D65																																																										
	DCI-P3+ to DCI-P3	DCI-P3																																																										
Cinema Gamut	Cinema Gamut to 709	D65																																																										
	Cinema Gamut to 2020	D65																																																										
	Cinema Gamut to DCI-P3	DCI-P3																																																										
RAW Gamut	Cinema Gamut to 709	D65																																																										
	Cinema Gamut to 2020	D65																																																										
	Cinema Gamut to DCI-P3	DCI-P3																																																										
CINEMA EOS SYSTEM	DP-V2410																																																											
ガンマ/EOTF	ガンマ/EOTF	HDRレンジ																																																										
Canon Log	Canon Log (HDR)	—																																																										
Canon Log 2	Canon Log 2 (HDR)																																																											
RAW Gamma																																																												
Canon Log 3	Canon Log 3 (HDR)																																																											
ST 2084、PQ	SMPTE ST 2084(PQ)	1000																																																										
Normal(BT.709)	2.2	—																																																										
Wide DR																																																												
EOS Std.																																																												
DCI-P3	2.6																																																											

項目		設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)					
自動画質設定 (ARRI)	自動画質設定 (ARRI)	「ピクチャーモード」の「User 6 ～ User 7」選択時、カメラの画質設定に連動するかどうかを設定します。(「入力設定」が「3G/HD-SDI」のとき) オン、オフ 「CDL/User LUT」→「User LUT」で、「ARRI」を選択時、次の設定値になります。 ARRI社製シネマカメラとDP-V2410の設定値対応表					
		ARRI社製 シネマカメラ	DP-V2410				
		Color Space	表示カラー ガマット	CDL/User LUT	カラー ガマット	ガンマ/ EOTF	HDR レンジ
		REC 709	—	—	ITU-R BT.709	2.2	—
		REC 2020	—	—	ITU-R BT.2020	2.2	—
		Wide Gamut Log C	Rec2100-PQ- 1K-100	ARRI (Rec2100- PQ-1K-100)	ITU-R BT.2020	SMPTE ST 2084 (PQ)	1000
			Rec2100- HLG-1K-200	ARRI (Rec2100- HLG-1K-200)	ITU-R BT.2020	Hybrid Log- Gamma	—
			User LUT 1 ～8	User LUT 1 ～8	—	—	—
		User LUT : 「自動画質設定 (ARRI)」の「オン」を選択時、ディスプレイで表示する色域とガンマ/ EOTFを設定します。 Rec2100-PQ-1K-100、Rec2100-HLG-1K-200、User LUT 1 ～8					

項目		設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)					
自動画質設定 (VARICAM)		「ピクチャーモード」の「User 6 ～ User 7」選択時、カメラの画質設定に連動するかどうかを設定します。(「入力設定」が「3G/HD-SDI」のとき) オン、オフ 「CDL/User LUT」→「User LUT」で、「VARICAM」を選択時、次の設定値になります。 パナソニック社製シネマカメラと本機の設定値対応表					
		パナソニック社製 シネマカメラ					
		DP-V2410					
		Color Space	表示カラー ガマット	CDL/User LUT	カラー ガマット	ガンマ/ EOTF	HDR レンジ
		V-709	—	—	ITU-R BT.709	2.2	—
		V-Log	V-Log to V-709	VARICAM (V-Log to V-709)	ITU-R BT.709	2.2	—
			User LUT 1 ～8	User LUT 1 ～8	—	—	—
		User LUT : 「自動画質設定 (VARICAM)」の「オン」選択時、ディスプレイで表示する色域とガンマ/EOTFを設定します。 <u>V-Log to V-709</u>、User LUT 1 ～8					
		アナモフィック		キヤノン製カメラを本機に接続時、カメラのメタデータにアナモフィックレンズの表示設定が含まれている場合は、設定内容に応じて表示します。 オン、オフ			
エリア マーカー		ARRI社製シネマカメラを本機に接続時、メタデータに応じて、「エリアマーカー」の「Hポジション」、「Vポジション」、「幅」、「高さ」が変わります。 ARRI Frame line 1A、ARRI Frame line 1B、<u>オフ</u>					
		 メモ ・「マーカープリセット」が「オフ」の場合は、設定できません。					

項目		設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
	ファン	カメラが撮影を開始すると、連動してファンを停止するかを設定します(本機に対応するCINEMA EOS SYSTEMカメラ、キヤノン製業務用ビデオカメラ、ARRI社製シネマカメラ)。「システム設定」の「ファンコントロール」を「オン」に設定してください。 オン、オフ  メモ - 停止時間は、室温(25℃)でAC電源使用時は約1分、DC電源使用時は約10分です。用途に応じて使い分けてください。 - ファン停止中に本体内の温度が高くなった場合には、「温度が高くなったため、まもなくファンの回転を再開します」のメッセージが表示され、約10秒後に回転を始めます。本体の温度が高くなっているため、通常より速く回転します。 - 本体内の温度上昇により、ファンの回転が再開する時間は、カメラより早い場合があります。 - 高温下など周囲の環境によっては、ファンが停止しない場合があります。
	カメラ インフォメー ション	カメラ情報の表示を設定します。 オート：カメラ情報が変化したときに、4秒間自動表示します。 オン：常時カメラ情報を表示します。 オフ：カメラ情報を表示しません。

ピクチャーファンクション設定

映像補助機能などを設定するときに使うメニューです。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
ピーキング	ピーキングをカスタマイズして、ピーキング1、2に設定します。輪郭を着色して表示し、フォーカスの確認などに使用します。  メモ 「スクリーンキャプチャー」の「ファイル再生」を実行中は、「ピーキング」は表示できません。 「比較表示」→「表示」が「オン」のときは、設定できません。
表示	ピーキングの表示モードと非表示を切り換えます。 ピーキング1、ピーキング2、オフ 「ピーキング1」または「ピーキング2」の詳細な設定をします。 モノクロ：映像をモノクロ表示にします。 ピーキング1(オン、オフ)、ピーキング2(オン、オフ) 周波数：輪郭強調信号の中心周波数を設定します。 ピーキング1(低、中、高)、ピーキング2(低、中、高) レンジ：着色する帯域の幅を設定します。 -3 ~ 3(0) カラー：着色の色を設定します。 ホワイト、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、シアン、マゼンタ  メモ 「表示」は、電源を入れ直した場合、「オフ」になります。
フォルスカラー	映像の輝度レベルごとに異なる色で表示し、露出状態や輝度の分布が確認しやすくなります。  メモ 「スクリーンキャプチャー」の「ファイル再生」を実行中は、「フォルスカラー」は表示できません。 「比較表示」→「表示」が「オン」のときは、設定できません。
表示	フォルスカラーの表示モードと非表示を切り換えます。 フォルスカラー1、フォルスカラー2、オフ 「フォルスカラー1」または「フォルスカラー2」の各設定をします。 タイプ：着色する色の表示方法を設定します。 オート：「ガンマ/EOTF」の設定内容に応じて設定します。 IRE、SMPTE ST 2084 (PQ)、Hybrid Log-Gamma HDRレンジ：「HDRレンジ」の設定値を超えた部分のみを別の色で表示できます。 フォルスカラー1(オン、オフ)、フォルスカラー2(オン、オフ)  メモ 「表示」は、電源を入れ直した場合、「オフ」になります。 「タイプ」の「IRE」を選択時、「HDRレンジ」の設定は無効になります。

項目		設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
	レンジ	着色する色の範囲を設定します。 タイプ :「ガンマ/EOTF」→「Hybrid Log-Gamma」の場合は「Hybrid Log-Gamma」、それ以外の場合は「SMPTE ST 2084(PQ)」を設定します。 SMPTE ST 2084(PQ) : 設定値は次のとおりです。(100～1000 : 10刻み、1000～4000 : 100刻み、4000～10000 : 1000刻み) モノクロ／青 : 100～200 青／水色 : 150～400 水色／緑 : 400～1000 緑／黄 : 600～4000 黄／橙 : 800～8000 橙／赤 : 1000～10000 Hybrid Log-Gamma : 設定値は次のとおりです。(10刻み) モノクロ／青 : 100～200 青／水色 : 150～300 水色／緑 : 200～500 緑／黄 : 300～700 黄／橙 : 400～900 橙／赤 : 500～1000
オーバーレンジ		映像をモノクロで表示し、設定した範囲を超える部分を着色して表示します。  メモ 「比較表示」→「表示」が「オン」のときは、設定できません。
	表示	「オーバーレンジ」の表示／非表示を切り換えます。 オン、オフ  メモ 「表示」は、電源を入れ直した場合、「オフ」になります。
	レンジ(HDR)	オート :「ガンマ/EOTF」→「SMPTE ST 2084」または「Hybrid Log-Gamma」のとき、「HDRレンジ」の設定値を超えた部分のみを着色します。 マニュアル :「SMPTE ST 2084(PQ)」または「Hybrid Log-Gamma」で設定した範囲の超えた部分のみを着色します。 「マニュアル」を選択したときに、基準レベルを設定します。 SMPTE ST 2084(PQ) : 着色する色の範囲を設定します。(100～1000 : 10刻み、1000～4000 : 100刻み、4000～10000 : 1000刻み) 100～10000(1000) Hybrid Log-Gamma : 着色する色の範囲を設定します。(10刻み) 100～1000(1000)
	レンジ(SDR)	着色する色の範囲を設定します。(1刻み) 512～1023(940)

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
2020 色域外表示	「ピクチャーモード」または「カラーガマット」の「ITU-R BT.2020」を選択時、映像をモノクロで表示し、選択したカラーガマットを超える色域の部分を赤色で表示します。  メモ 「比較表示」→「表示」が「オン」のときは、設定できません。
表示	「2020 色域外表示」の表示／非表示を切り換えます。 オン、<u>オフ</u>  メモ 「表示」は、電源を入れ直した場合、「オフ」になります。
カラーガマット	色域外とする「カラーガマット」を設定します。 ITU-R BT.709、Native
レンジ	暗部を着色するときの範囲を設定します。(1刻み) 0～512 0：暗部すべてに着色します。 512：設定値以下の暗部には着色しません。
モノクロ	モノクロで表示します。 オン、<u>オフ</u>  メモ 「比較表示」→「表示」が「オン」のときは、設定できません。 - 電源を入れ直した場合、「オフ」になります。
ブルーオンリー	赤と緑信号をカットし、青信号のみをモノクロで表示します。 オン、<u>オフ</u>  メモ 「CDL/User LUT」の「User LUT」を選択時、「ブルーオンリー」は設定できません。 「比較表示」→「表示」が「オン」のときは、設定できません。 - 電源を入れ直した場合、「オフ」になります。
レッドオフ	赤信号をカットして表示します。 オン、<u>オフ</u>  メモ 「比較表示」→「表示」が「オン」のときは、設定できません。 - 電源を入れ直した場合、「オフ」になります。
グリーンオフ	緑信号をカットして表示します。 オン、<u>オフ</u>  メモ 「比較表示」→「表示」が「オン」のときは、設定できません。 - 電源を入れ直した場合、「オフ」になります。
ブルーオフ	青信号をカットして表示します。 オン、<u>オフ</u>  メモ 「比較表示」→「表示」が「オン」のときは、設定できません。 - 電源を入れ直した場合、「オフ」になります。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
バックライトスキャン	画像表示中にバックライトを部分的に消灯し、画像のホールド期間を短くします。 強、弱、オフ
比較表示	画質の設定が異なる画像を左右2画面で表示して比較することができます。(左右画面の「ピクチャーモード」が同じとき)  メモ • 次の場合、「比較表示」は設定できません。 - 「チャンネル設定」→「ピクチャーモード」→「タイプ」が「L/R」のとき - 「ピーキング」、「フォルスカラー」、「オーバーレンジ」または「2020 色域外表示」→「表示」が「オン」のとき - 「モノクロ」、「ブルーオンリー」、「レッドオフ」、「グリーンオフ」または「ブルーオフ」が「オン」のとき
表示	比較モードでの表示／非表示を設定します。 オン、オフ  メモ • 「タイプ」→「HDR/SDR」を選択時、「表示」を「オン」にすると、「ブースト(コントラスト)」は「オン」になります。
タイプ	比較する画像のタイプを設定します。 HDR/SDR ：HDRとSDRの画像を表示します。 CDL/User LUT ：左画面のみ、「CDL」または「User LUT」を適用した画像を表示します。
HDR/SDR 変換方式	「タイプ」の「HDR/SDR」を選択時、SDRに設定された画面の表示方法を設定します。 2020 HDR to 709 SDR、2020 HDR to 2020 SDR ：「ガンマ/EOTF」の設定値に応じて、設定が異なります。 「SMPTE ST 2084(PQ)」：各設定に対応した「User LUT」を適用します。 「Hybrid Log-Gamma」：各設定に対応した「User LUT」を適用します。「User LUT」→「2020 HLG to 709 HLG」の場合、「2020 HDR to 709 SDR」を選択時の「ガンマ/EOTF」は「2.4」になります。 「Canon Log(HDR)」、「Canon Log 2(HDR)」、「Canon Log 3(HDR)」：「Canon Log」、「Canon Log 2」または「Canon Log 3」を適用します。 「Preset Log 1」、「Preset Log 2」：「HDRレンジ」→「Preset Log 1」または「Preset Log 2」の設定値「100」を設定します。 User LUT 1～8 ：指定した「User LUT」を適用します。 オフ ：輝度のみを下げます。

システム設定

本機のシステムに関する設定をするときに使うメニューです。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
ファンクション／チャンネルボタン	FボタンやCHボタンに登録する機能やチャンネルを設定します。
ディスプレイファンクション／ディスプレイファンクション(CDL) ディスプレイチャンネル	本機のFボタンに登録する機能を設定します。Fボタンを選択して、リストから機能を登録します(📖92)。工場出荷時に設定されている機能は次のとおりです。 ■通常モード時 F1：コントラスト F2：ブライトネス F3：タイムコード F4：WFM/VEC F5：オーディオレベルメーター F6：ズームプリセット F7：ピクセル値/フレーム輝度 F8：ブースト(コントラスト) ■CDLモード時 F1：CDL RGB F2：CDL SOP/SAT F3：CDL/User LUTバイパス F4：1入力Dual View F5：フォルスカラー F6：オーバーレンジ F7：2020 色域外表示 F8：比較表示 📌 メモ 「チャンネルアップ／ダウン」でチャンネルを切り換える場合、「入力設定」(📖58)が「－」のチャンネルはスキップします。 - Fボタンで「マーカ」関連の設定を切り換えると、現在選択されている「マーカプリセット」の「表示」に反映されます。 「OSD一時消去」は、すべてのOSDを非表示にする機能です。「オン」を選択すると、OSD、「セパレーター」と「バックグラウンドカラー」が非表示となりますが、メニューの操作はできます。 ディスプレイのCHボタンに登録するチャンネルを設定します。 CHボタンを選択して、チャンネル番号を登録します。リストは「チャンネル設定」(📖58)で設定されている内容が表示されます。
言語	OSDやメッセージの表示言語を設定します。 English、日本語、簡体中文
日時	年／月／日／時／分を設定します。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
ネットワーク/IMD設定	本機のネットワークと外部機器によるリモート操作のための設定をします。
ネットワーク	本機のネットワークの設定をします。 IP アドレス取得 自動：DHCP/Auto IPにより自動で取得します。 手動：IPアドレスとサブネットマスクを手動で設定します。 ディスプレイ：192.168.0.1 サブネットマスク：255.255.255.0  メモ • 「パワーオン設定」が「User 1 ～ User 3」の場合は設定できません。
Wi-Fi	コントロール：Wi-Fiを使って本機をネットワークに接続し、外部機器からの制御信号を受け付けるかどうかを設定します。( 35) オン、オフ アクセスポイント：接続するアクセスポイントを設定します。「アクセスポイント」の初期値は未設定です。パスワードの入力が必要な場合は、半角英数字記号24文字以内で設定できます。パスワードの初期値は未設定です。( 35)
Web	コントロール：ネットワークまたはWi-Fiに接続した機器のWebブラウザから、本機をリモートで操作するときに、外部機器からの制御信号を受け付けるかどうかを設定します。( 36) オン、オフ ユーザー ID、パスワード：ユーザー IDとパスワードを設定します。「ユーザー ID」と「パスワード」は、半角英数字記号16文字以内で設定できます。( 36)。 「ユーザー ID」と「パスワード」の初期値は「user」です。
インモニターディスプレイ (IMD)	本機は、Television Systems Ltd社の「TSL UMD Protocol Ver. 5.0」に対応しています。LAN 端子に接続した外部機器から操作して、画面上に文字とタリーを表示できます。本機から直接、任意の文字を入力することもできます。文字は、半角英数字記号16文字以内で設定できます。( 34) コントロール：接続機器からの制御信号を受け付けるかどうかを設定します。 TSL Ver. 5.00、オフ マニュアル：本機で文字を入力するときに選択します。接続機器からの制御信号は受け付けません。 ポジション：文字とタリーの表示位置を、画面の上部または下部に設定します。 上、下 マニュアル表示種別 オート：入力設定に応じて、表示を変更します。 Single：1画面表示します。 Dual A,B、Dual C,D：2画面に表示します。 Quad A,B,C,D：4画面に表示します。 マニュアル表示名 (Single)、マニュアル表示名 (Dual/Quad A)、マニュアル表示名 (Dual/Quad B)、マニュアル表示名 (Dual/Quad C)、マニュアル表示名 (Dual/Quad D)：「コントロール」が「マニュアル」を選択時、「マニュアル表示名」のいずれかを選び、表示する文字を設定します。入力できる文字は英数字記号(半角)で、16文字までです。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
ディスプレイ名	本機の名前を設定します。入力できる文字は英数字記号(半角)で、16文字までです。
OSD設定	
バナー表示	電源を入れたり、チャンネルを変更したりしたときに表示されるバナーの表示方法を設定します。バナーには、チャンネル名や信号情報、本機の状態が表示されます。OSD非表示中にジョグダイヤルを押したときにもバナーを表示しますが、「オート」または「オフ」のときは、約6秒後に消去します。 オート：バナーを表示したら、約4秒後に自動的に消えます。 オン：バナーを表示し続けます。 オフ：バナーを表示しません。
ファンクションボタンガイド	オン：OSD非表示中にジョグダイヤルを押すと、本機のFボタンに登録されている機能の一覧を表示します。 オフ：ファンクションボタンガイドを表示しません。
OSDポジション	モード1 (4096x2160)：OSDを4096x2160領域に表示します。 モード2 (3840x2160)：OSDを3840x2160領域に表示します。
OSDサイズ	OSDメニューのサイズを設定します。 大、小
設定プロテクト	設定内容を変更できないようにします。MENUボタンを押した場合「シグナル／システムインフォメーション」は表示しますが、それ以外は操作できないためグレー表示になります。
パスワード	プロテクトをする場合のパスワードを設定します。数字4桁(0000～9999)です。パスワードの初期値は未設定です。
プロテクト対象	ピクチャーモードとセレクトチャンネルは、プロテクト設定の対象からはずすことができます。 ピクチャーモード：「オン」にすると「ピクチャーモード」の設定内容をプロテクトします。「オフ」にすると、「ピクチャーモード」の設定内容をプロテクト対象からはずします。 オン、オフ セレクトチャンネル：「オン」にすると「セレクトチャンネル」の設定内容をプロテクトします。「オフ」にすると、「セレクトチャンネル」の設定内容をプロテクト対象からはずします。 オン、オフ ファンクション設定：「オン」にすると「ファンクション設定」の設定内容をプロテクトします。「オフ」にすると、「ファンクション設定」の設定内容をプロテクト対象からはずします。 オン、オフ
プロテクト	プロテクトするときは「OK」を選択します。パスワード設定時はパスワードを入力後、「OK」を選択します。 • 設定プロテクトの解除のしかた 「プロテクト」にフォーカスを移動させ、SETボタンを約3秒長押しします。パスワード設定時はパスワードを入力後、「OK」を選択します。
電源ランプ/本体ボタンLED設定	
電源ランプ明るさ	本機の電源ランプの明るさを調整します。数字が大きくなるほど明るくなります。 オフ、1～5(3)
本体ボタン点灯設定	Fボタンと文字盤のランプを設定します。 オン、オフ
本体ボタン名点灯時間(秒)	何も操作しないときに、文字盤のランプが消灯するまで時間(秒)を設定します。 60、30、10、5

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
ファン設定	本体内のファンの動作を設定します。
ファンコントロール	手動でファンを停止させるときに、内部温度の上昇を防ぐために、停止前に速く回転します。 オン、オフ
ファン停止	「ファンコントロール」を「オン」にしたとき、ファンを手動で停止します。撮影や静かな環境などで使用するとき、ファンの音を消去します。 オン、オフ  メモ • 「オン」を選択しても「温度が高いため、ファンを停止できません。」のメッセージが表示された場合は、停止できません。本体内部の温度が下がるまでお待ちください。 • 停止時間は、室温(25℃)でAC電源使用時は約1分、DC電源使用時は約10分です。用途に応じて使い分けてください。 • ファン停止中に本体内の温度が高くなった場合には、「温度が高くなったため、まもなくファンの回転を再開します」のメッセージが表示され、約10秒後に回転を始めます。本体の温度が高くなっているため、通常より速く回転します。 • 「オフ」にするとファンの回転が再開します。通常より速く回転します。 • 高温下など周囲の環境によっては、ファンが停止しない場合があります。
互換設定	HDMI機器との接続互換性や、本機のファームウェアのバージョンによって異なる機能の動作を設定します。
HDMI	HDMI機器との接続互換性を設定します。 ノーマル：すべてのフォーマットに対応します。 互換優先1：「ノーマル」で映像が正しく表示されない場合に設定します。ディスプレイ本体のもつ輝度以上のHDR 信号は非対応です。 互換優先2：「ノーマル」または「互換優先1」で映像が正しく表示されない場合に設定します。HDR信号は非対応です。 互換優先3：他の設定で映像が正しく表示されない場合に設定します。 「4K50.00P/60.00P」とHDR信号は非対応です。
カラーレンジ	ノーマル：「カラーレンジ」の設定を、本機のファームウェアのVersion 1.3以降の新方式にします。 互換優先：「カラーレンジ」の設定を、本機のファームウェアのVersion 1.2以前の従来方式にします。
ファームウェア/ライセンスアップデート	ファームウェアをアップデートするときに使用します。詳細は、キヤノンのホームページでご確認ください。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)								
エクスポート／インポート	メインメニューのエクスポート／インポートの設定をします。  メモ - 次の設定内容はエクスポート／インポートされません。 <table border="1"> <tr> <td>画質設定</td><td>キャリブレーションの目標値(キャリブレーション結果を含む)</td></tr> <tr> <td>ディスプレイ設定</td><td>ズームプリセット、フレームホールド</td></tr> <tr> <td>ピクチャーファンクション設定</td><td>ピーキング(表示)、フォルスカラー(表示)、オーバーレンジ(表示)、2020 色域外表示(表示)、テストパターン、モノクロ、ブルーオンリー、レッドオフ、グリーンオフ、ブルーオフ、比較表示(表示)</td></tr> <tr> <td>システム設定</td><td>日時、ファン停止、エクスポート／インポート、パワーオン設定</td></tr> </table> - User LUTのデータは、「ターゲット」の「User 1 ～ User 3」にはエクスポート/インポートされません。 - 本機からエクスポートしたデータは、ファームウェアのバージョンが本機より前の製品にはインポートできない場合があります。インポートしたいときは、最新のファームウェアのバージョンにアップデートしてからお使いください。	画質設定	キャリブレーションの目標値(キャリブレーション結果を含む)	ディスプレイ設定	ズームプリセット、フレームホールド	ピクチャーファンクション設定	ピーキング(表示)、フォルスカラー(表示)、オーバーレンジ(表示)、2020 色域外表示(表示)、テストパターン、モノクロ、ブルーオンリー、レッドオフ、グリーンオフ、ブルーオフ、比較表示(表示)	システム設定	日時、ファン停止、エクスポート／インポート、パワーオン設定
画質設定	キャリブレーションの目標値(キャリブレーション結果を含む)								
ディスプレイ設定	ズームプリセット、フレームホールド								
ピクチャーファンクション設定	ピーキング(表示)、フォルスカラー(表示)、オーバーレンジ(表示)、2020 色域外表示(表示)、テストパターン、モノクロ、ブルーオンリー、レッドオフ、グリーンオフ、ブルーオフ、比較表示(表示)								
システム設定	日時、ファン停止、エクスポート／インポート、パワーオン設定								
エクスポート	ターゲット：エクスポート先を選択します。 USB：USBメモリーにエクスポートします。 User 1 ～ User 3：本体内のメモリーにエクスポートします。 ファイル名：工場出荷時の初期値は「dinfo_dpv2410.dat」です。USBメモリーにエクスポートするファイル名は半角英数記号16文字以内で変更できます。 実行：エクスポートを実行します。								
インポート	ターゲット：インポートするファイルの保存先を指定します。 USB、User 1 ～ User 3 ファイル名：拡張子(.dat)のファイルを表示し、選択します。 設定種別(すべて、画質設定、チャンネル設定、ディスプレイ設定、オーディオ設定、マーカー設定、ファンクション/システム設定)：インポートする設定を選択します。 実行：インポートを実行します。								
パワーオン設定	電源投入後のディスプレイの設定状態を選択できます。 ラストメモリー：前回電源を切ったときの設定で起動します。 User 1 ～ User 3：「エクスポート」で「User 1 ～ User 3」に保存した設定で起動します。								
全設定リセット	すべての設定を工場出荷時に戻します。選択すると「すべての設定を工場出荷時の設定に戻しますか?」というメッセージが表示されます。 OK：リセットを実行します。 キャンセル：リセットを実行せずに、1つ前の画面に戻ります。								

ディスプレイのFボタンに登録できる機能は、次のとおりです(87)。

項目	機能
画質設定	ピクチャーモード
	コントラスト
	ブライトネス
	クロマ
	クロマアップ
	シャープネス
	バックライトコントロール
	ガンマ/EOTF
	HDR
	HDRレンジ
	ブースト(コントラスト)
	HDR/SDR比較表示
	ゲイン
	バイアス
	xy
ピクチャーモード	SMPTE-C
	EBU
	ITU-R BT.709
	ITU-R BT.2020
	Adobe RGB
	DCI-P3
	User 1 (2020 PQ)
	User 2 (2020 HLG)
	User 3 (DCI PQ)
	User 4 ~ User 7
	CINEMA EOS SYSTEM
	ACESproxy (Ver. 1.0.1)
CDL/User LUT	CDLプリセット
	User LUT
	CDL RGB
	CDL R
	CDL G
	CDL B
	CDL SOP/SAT
	CDL Slope
	CDL Offset
	CDL Power
	CDL Saturation
	CDL/User LUTバイパス
	CDLエクスポート/インポート

項目	機能
チャンネル設定	チャンネルアップ
	チャンネルダウン
	入力信号選択
	音声端子
	1入力 Dual View
	CH1 ~ CH20
ディスプレイ設定	スクリーンスケール
	アナモフィック
	スケール法
	ズームプリセット
	ズーム 1
	ズーム 2
	ズーム 3
	フレームホールド
オーディオ設定	バックグラウンドカラー
	SDIグループ
	CH L
	CH R
	音量
	音声切換
マーカー設定	マーカープリセット
	マーカー1
	マーカー2
	マーカー3
	マーカー4
	マーカー5
	アスペクトマーカー
	セーフティゾーンマーカー1
	セーフティゾーンマーカー2
	エリアマーカー
ファンクション設定	センターマーカー
	グリッドマーカー
	タイムコード
	WFM/VEC
	波形モニター
	波形モニター信号選択
	ベクトルスコープ
	オーディオレベルメーター
	ピクセル値/フレーム輝度
	ピクセル値チェック
	フレーム輝度モニター
	キャプチャー
	カメラインフォメーション

項目	機能
ピクチャーファンクション設定	ピーキング
	ピーキング1
	ピーキング2
	フォルスカラー
	フォルスカラー1
	フォルスカラー2
	オーバーレンジ
	2020 色域外表示
	モノクロ
	ブルーオンリー
	レッドオフ
	グリーンオフ
	ブルーオフ
	バックライトスキャン
	比較表示
システム設定	OSD一時消去
	ファン停止

シグナルインフォメーション

信号の情報を表示します。「入力信号選択」が「Quad Input」のときは、信号全体と各入力の情報が表示できます。メニュー右上のガイドに従ってジョグダイヤルで選択してください。画面に表示されていなくても信号情報が取得されている場合には、その内容をグレースアウト表示します。

SDI信号		HDMI信号	
項目	表示例	項目	表示例
チャンネル	CH1	チャンネル	CH4
入力設定	3G/HD-SDI (3G Level A)	入力設定	HDMI
入力信号選択	Quad Input	入力信号選択	オート
Image Division	オート	フォーマット	オート
フォーマット	オート	解像度	4096x2160
解像度	4096x2160	Picture Rate, I/P/PsF	60.00P
Picture Rate, I/P/PsF*	24.00P	Pixel Encoding, Color Depth	4:2:2 YCbCr 10-bit
SDI Payload ID	89 C3 46 01	Matrix	ITU-R BT.709
Video Standard	3G-SDI	Range	フル
Sampling Structure	4:4:4:4 GBRA	EOTF	SMPTE ST 2084 (PQ)
Bit Depth	10-bit	Max Luminance (Peak/Avg.)	1000 / 500 cd/m ²
Picture Rate	24.00	Display Luminance (Max/Min)	1000 - 0.005 cd/m ²
Scanning Method	Progressive/Progressive (Transport/Picture)	White Point	x=0.313, y=0.329
Link Number	Single/Link_1	Primary Color Red	x=0.640, y=0.330
Colorimetry	UHD	Primary Color Green	x=0.300, y=0.600
		Primary Color Blue	x=0.150, y=0.060

* グレースアウト表示しているときに、「24.00P *」のように「Picture Rate」の精度が低いことを示す「*」が表示される場合があります。

システムインフォメーション

本機のステータスやネットワーク情報を表示します。

項目	表示例
ディスプレイ	DP-V2410
シリアルNo.	000000000000
ファームウェア/ライセンスVer.	1.3
使用時間*	5 h
IPアドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0
MACアドレス	FF:FF:FF:FF:FF:FF
Wi-Fi IPアドレス	192.168.0.1
Wi-Fi サブネットマスク	255.255.255.0

* 工場出荷時の検査などにより、購入時の使用時間は「0」ではない場合があります。

主な仕様／性能

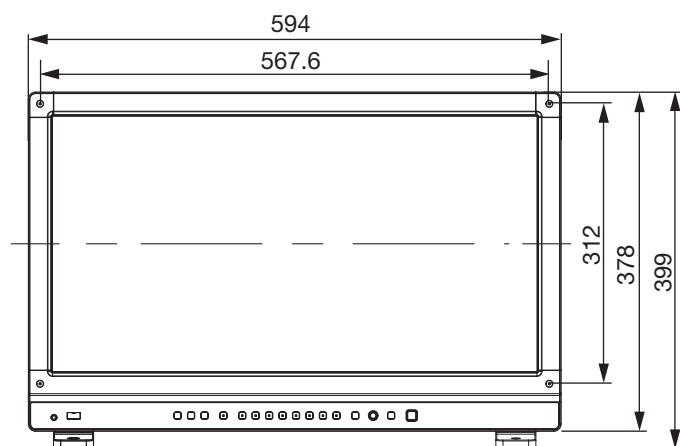
パネル		
パネルタイプ		IPS液晶パネル
画面サイズ		24型(61.1 cm)
アスペクト比		17 : 9
解像度		4096x2160 (8.8メガピクセル)
有効表示領域		約540.7×285.1 mm
ピクセルピッチ		132 μm/193 ppi
パネルドライバー		1024階調 RGB各色10-bit
画質		
輝度(標準)		100 cd/m ²
視野角(上、下、左、右)		89° (コントラスト比 10 : 1以上)
表面処理		アンチグレア
一般		
バックライト タイプ		RGB LED、直下型
電源		定格電圧 : AC 100 ~ 240 V 定格周波数 : 50/60 Hz DC 24 V ~ 28 V 最大 8.9 A、XLR端子
消費電力		最大負荷時(経年変化に伴う輝度変化を含む) : 約210 W 工場出荷状態 : 約160 W
環境条件	使用	温湿度 : 0 ~ 40 °C (20 ~ 85 % RH 結露がないこと) 推奨温度 15 ~ 30 °C 気圧 : 700 ~ 1060 hPa
	保存／輸送	温湿度 : -20 ~ 40 °C (20 ~ 85 % RH 結露がないこと) 41 ~ 60 °C (20 ~ 30 % RH 結露がないこと) 気圧 : 700 ~ 1060 hPa
外形寸法(幅×高さ×奥行き)		約594×399×187 mm(スタンド含む)、約594×378×106 mm(本体のみ、突起部除く)
質量		約12 kg
取り付け穴ピッチ		VESA規格 100×100 mm

インターフェース		
入力	3G/HD/SD-SDI	4個(1系統) BNC (75 Ω) レセプタクル端子 3G-SDI : SMPTE 2048-2/274M/296/372/425-5/425-3/425-1/ 428-19/428-9準拠 HD-SDI : SMPTE 2048-2/274M/292-1/296/428-19/428-9準拠 SD-SDI : SMPTE-259M準拠
	HDMI	1個(1系統) Type A端子 コンテンツ保護規格 : HDCP 2.2
出力	3G/HD-SDI	4個(パススルー1系統)
	ヘッドホン	1個 ステレオミニジャック、適合インピーダンス 32 Ω～64 Ω
コントロール	USB	1個 USB A レセプタクル端子 Universal Serial Bus Specification Revision 2.0準拠LS (Low Speed)/FS (Full Speed)/HS (High Speed)モード対応 Enhanced Host Controller Interface Specification for Universal Serial Bus Revision 1.0準拠
	LAN	1個 RJ-45端子 IEEE802.3 10BASE-TX / IEEE802.3u 100BASE-TX準拠

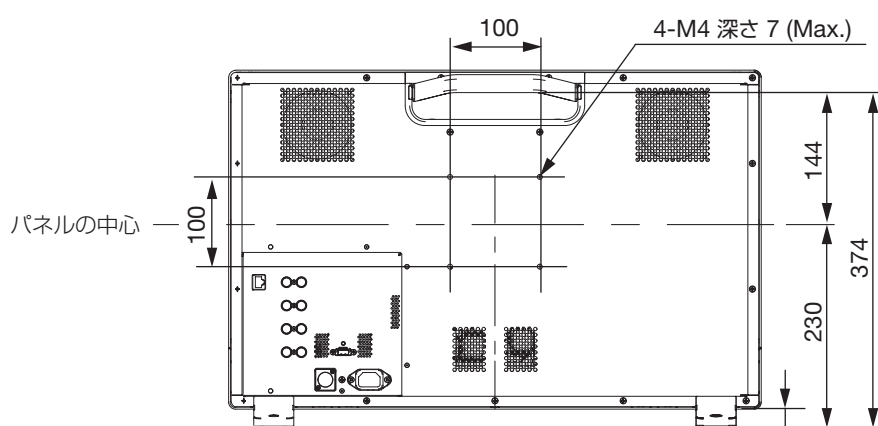
外形寸法

■ ディスプレイ本体

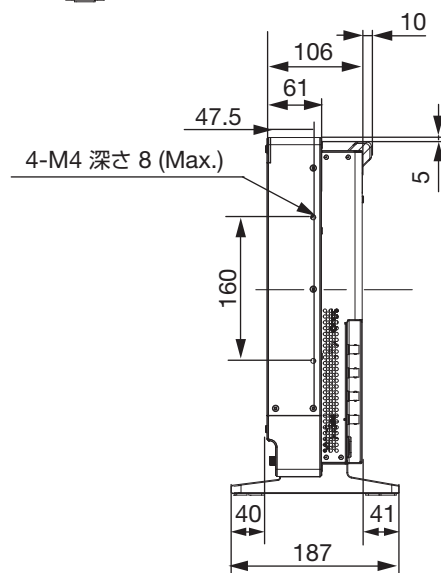
● 前面



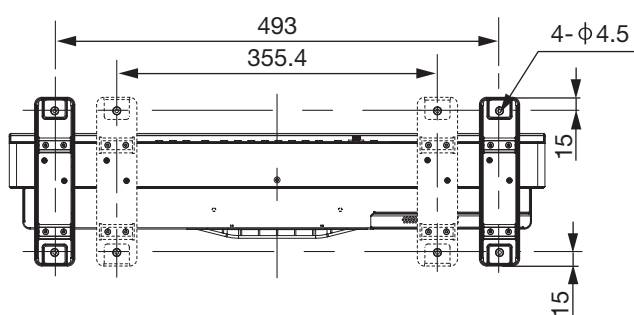
● 背面



● 側面



● 底面



単位：mm

付録

対応信号フォーマット

■SDI

「*」は音声信号に対応しているフォーマットです。

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
SD-SDI	720x487i 59.94/60 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE-259M
	720x576i 50.00 Hz			
HD-SDI	1280x720P 59.94/60.00 Hz*	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 292-1 SMPTE 296
	1280x720P 50.00 Hz*			
	1280x720P 29.97/30.00 Hz			
	1280x720P 25.00 Hz*			
	1280x720P 23.98/24.00 Hz*			
	1920x1080i 59.94/60.00 Hz*			SMPTE 292-1 SMPTE 274M
	1920x1080i 50.00 Hz*			
	1920x1080P 29.97/30.00 Hz*			
	1920x1080PsF 29.97/30.00 Hz*			
	1920x1080P 25.00 Hz*			
	1920x1080PsF 25.00 Hz*			
	1920x1080P 23.98/24.00 Hz*			
	1920x1080PsF 23.98/24.00 Hz*			
	2048x1080i 59.94/60.00 Hz			
	2048x1080i 50.00 Hz			
	2048x1080P 29.97/30.00 Hz			SMPTE 292-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
	2048x1080PsF 29.97/30.00 Hz			
	2048x1080P 25.00 Hz			
	2048x1080PsF 25.00 Hz			
	2048x1080P 23.98/24.00 Hz			
	2048x1080PsF 23.98/24.00 Hz			
3G-SDI (Level A)	1280x720P 59.94/60.00 Hz*	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 296
	1280x720P 50.00 Hz*	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	10-bit	
	1280x720P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	10-bit	
	1280x720P 25.00 Hz*	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	10-bit	
	1280x720P 23.98/24.00 Hz*	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	10-bit	
	1920x1080P 59.94/60.00 Hz*	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
3G-SDI (Level A)	1920x1080i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB*	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
		4:4:4 YCbCr*		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 50.00 Hz*	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	1920x1080i 50.00 Hz	4:4:4 RGB*	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr*		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB*	10-bit	
			12-bit	
		4:4:4 YCbCr*	12-bit	
		4:4:4 YCbCr*	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB*	10-bit	
			12-bit	
		4:4:4 YCbCr*	12-bit	
		4:4:4 YCbCr*	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB*	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr*		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	10-bit	
			12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	2048x1080P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
	2048x1080i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:2:2 YCbCr		
	2048x1080P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
3G-SDI (Level A)	2048x1080i 50.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
		4:4:4 X'Y'Z'		
	2048x1080P 47.95/48.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2
		4:4:4 RGB		
		4:4:4 YCbCr		
	2048x1080P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	2048x1080PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	2048x1080P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	2048x1080PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	2048x1080P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	2048x1080PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 428-9
4:4:4 X'Y'Z'		12-bit	SMPTE 428-19	
4:2:2 YCbCr		12-bit	SMPTE 2048-2	

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
3G-SDI (Level B)	1920x1080P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 274M
	1920x1080i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr*	12-bit	
	1920x1080P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	1920x1080i 50.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr*	12-bit	
	1920x1080P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 25.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	2048x1080P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
	2048x1080i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit	
	2048x1080P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	2048x1080i 50.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit	

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
3G-SDI (Level B)	2048x1080P 47.95/48.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	2048x1080P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	2048x1080PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	2048x1080P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	2048x1080PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	2048x1080P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格	
3G-SDI (Level B)	2048x1080PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2	
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit		
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 2048-2	
		4:2:2 YCbCr	12-bit		
Dual Link 3G-SDI (Level A)	1920x1080P 59.94/60 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-3 SMPTE 274M	
		4:4:4 YCbCr			
		4:2:2 YCbCr	12-bit		
	1920x1080P 50 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
		4:4:4 YCbCr			
		4:2:2 YCbCr	12-bit		
	2048x1080P 59.94/60 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-3 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2	
		4:4:4 YCbCr			
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit		
		4:2:2 YCbCr			
		2048x1080P 50 Hz	4:4:4 RGB		12-bit/10-bit
			4:4:4 YCbCr		
2048x1080P 50 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit			
	4:4:4 YCbCr				
	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit			
	4:2:2 YCbCr				
2048x1080P 47.95/48 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit			
	4:4:4 YCbCr				
	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit			
	4:2:2 YCbCr				
	2048x1080P 47.95/48 Hz	4:4:4 RGB		12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr			
Dual Link 3G-SDI (Level B)	1920x1080P 59.94/60 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-3 SMPTE 372 SMPTE 274M	
		4:4:4 YCbCr			
		4:2:2 YCbCr	12-bit		
	1920x1080P 50 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
		4:4:4 YCbCr			
		4:2:2 YCbCr	12-bit		
	2048x1080P 59.94/60 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-3 SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2	
		4:4:4 YCbCr			
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit		
		4:2:2 YCbCr			
		2048x1080P 50 Hz	4:4:4 RGB		12-bit/10-bit
			4:4:4 YCbCr		
2048x1080P 50 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit			
	4:4:4 YCbCr				
	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit			
	4:2:2 YCbCr				
2048x1080P 47.95/48 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit			
	4:4:4 YCbCr				
	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit			
	4:2:2 YCbCr				

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Dual Link 3G-SDI Square Division (Level B)	3840x2160P 29.97/30 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-3 SMPTE 372 SMPTE 274M
	3840x2160PsF 29.97/30 Hz			
	3840x2160P 25 Hz			
	3840x2160PsF 25 Hz			
	3840x2160P 23.98/24 Hz			
	3840x2160PsF 23.98/24 Hz			
	4096x2160P 29.97/30 Hz			SMPTE 425-3 SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 29.97/30 Hz			
	4096x2160P 25 Hz			
	4096x2160PsF 25 Hz			
	4096x2160P 23.98/24 Hz			
	4096x2160PsF 23.98/24 Hz			
Dual Link 3G-SDI 2 Sample Interleave (Level B)	3840x2160P 29.97/30 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-3 SMPTE 372 SMPTE 274M
	3840x2160P 25 Hz			
	3840x2160P 23.98/24 Hz			
	4096x2160P 29.97/30 Hz			SMPTE 425-3 SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	4096x2160P 25 Hz			
	4096x2160P 23.98/24 Hz			
Quad Link HD-SDI	3840x2160i 59.94/60.00 Hz*	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 292-1 SMPTE 274M
	3840x2160i 50.00 Hz*			
	3840x2160P 29.97/30.00 Hz*			
	3840x2160PsF 29.97/30.00 Hz*			
	3840x2160P 25.00 Hz*			
	3840x2160PsF 25.00 Hz*			
	3840x2160P 23.98/24.00 Hz*			
	3840x2160PsF 23.98/24.00 Hz*			
	4096x2160i 59.94/60.00 Hz			
	4096x2160i 50.00 Hz			
	4096x2160P 29.97/30.00 Hz			
	4096x2160PsF 29.97/30.00 Hz			
	4096x2160P 25.00 Hz			
	4096x2160PsF 25.00 Hz			
	4096x2160P 23.98/24.00 Hz			
	4096x2160PsF 23.98/24.00 Hz			
				SMPTE 292-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Quad Link 3G-SDI (Level A)	3840x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr*	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
	3840x2160i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB*	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr*		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr*	12-bit	
	3840x2160i 50.00 Hz	4:4:4 RGB*	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr*		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB*	10-bit	
			12-bit	
		4:4:4 YCbCr*	12-bit	
		4:4:4 YCbCr*	10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB*	10-bit	
			12-bit	
		4:4:4 YCbCr*	12-bit	
		4:4:4 YCbCr*	10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB*	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
		4:4:4 YCbCr*		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	10-bit	
			12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
	4096x2160i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:2:2 YCbCr		

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Quad Link 3G-SDI (Level A)	4096x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2
	4096x2160i 50.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 47.95/48.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2
	4096x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Quad Link 3G-SDI 2 Sample Interleave (Level A)	3840x2160P 59.94/60 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-5 SMPTE 274M
	3840x2160P 50 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	3840x2160P 29.97/30 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 25 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 23.98/24 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-5 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 59.94/60 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	4096x2160P 50 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	4096x2160P 47.95/48 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	4096x2160P 29.97/30 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 25 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 23.98/24 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
Quad Link 3G-SDI (Level B)	3840x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 274M
	3840x2160i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Quad Link 3G-SDI (Level B)	3840x2160i 50.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 274M
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr*	12-bit	
	3840x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
	3840x2160PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
	3840x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
	3840x2160PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
	3840x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
	3840x2160PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
	4096x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
	4096x2160i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:2:2 YCbCr		
	4096x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	4096x2160i 50.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:2:2 YCbCr		
	4096x2160P 47.95/48.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 2048-2

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Quad Link 3G-SDI (Level B)	4096x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Quad Link 3G-SDI 2 Sample Interleave (Level B)	3840x2160P 59.94/60 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-5 SMPTE 372 SMPTE 274M
	3840x2160P 50 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	3840x2160P 29.97/30 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 25 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 23.98/24 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 59.94/60 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-5 SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
	4096x2160P 50 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	4096x2160P 47.95/48 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	4096x2160P 29.97/30 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 25 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 23.98/24 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	

■ RAW

信号フォーマット
3840x2160P 59.94 Hz、50.00 Hz、29.97 Hz、25.00 Hz、24.00 Hz、23.98 Hz
4096x2160P 59.94 Hz、50.00 Hz、29.97 Hz、25.00 Hz、24.00 Hz、23.98 Hz

■ HDMI

信号フォーマット	カラーフォーマット/カラーデプス
640x480P 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 8-bit
800x600P 60.00 Hz	
1024x768P 60.00 Hz	
720x480P 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 12-bit/10-bit/8-bit
720x576P 50.00 Hz	4:4:4 YCbCr 12-bit/10-bit/8-bit
1280x720P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr 12-bit
1280x720P 50.00 Hz	
1920x1080P 59.94/60.00 Hz	
1920x1080i 59.94/60.00 Hz	
1920x1080P 50.00 Hz	
1920x1080i 50.00 Hz	
1920x1080P 29.97/30.00 Hz	
1920x1080P 25.00 Hz	
1920x1080P 23.98/24.00 Hz	
2048x1080P 59.94/60.00 Hz	
2048x1080P 50.00 Hz	
2048x1080P 29.97/30.00 Hz	
2048x1080P 25.00 Hz	
2048x1080P 23.98/24.00 Hz	
3840x2160P 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 8-bit
3840x2160P 50.00 Hz	4:4:4 YCbCr 8-bit
	4:2:2 YCbCr 12-bit
	4:2:0 YCbCr 12-bit/10-bit/8-bit
3840x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB 12-bit/10-bit/8-bit
3840x2160P 25.00 Hz	4:4:4 YCbCr 12-bit/10-bit/8-bit
3840x2160P 23.98/24.00 Hz	4:2:2 YCbCr 12-bit
4096x2160P 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 8-bit
4096x2160P 50.00 Hz	4:4:4 YCbCr 8-bit
	4:2:2 YCbCr 12-bit
	4:2:0 YCbCr 12-bit/10-bit/8-bit
4096x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB 12-bit/10-bit/8-bit
4096x2160P 25.00 Hz	4:4:4 YCbCr 12-bit/10-bit/8-bit
4096x2160P 23.98/24.00 Hz	4:2:2 YCbCr 12-bit

画像・フレーム表示

■SDI

信号システム			表示のしかた	
720x487	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
720x576	50.00	i	50.00	P
1280x720	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
	25.00	P	50.00	P*
	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
	50.00	P	50.00	P
	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
1920x1080	50.00	i	50.00	P
	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
	23.98/24.00	PsF	47.96/48.00	P*
	25.00	PsF	50.00	P*
	29.97/30.00	PsF	59.94/60.00	P*
	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
	25.00	P	50.00	P*
	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
	50.00	P	50.00	P
	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
2048x1080	50.00	i	50.00	P
	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
	23.98/24.00	PsF	47.96/48.00	P*
	25.00	PsF	50.00	P*
	29.97/30.00	PsF	59.94/60.00	P*
	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
	25.00	P	50.00	P*
	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
	47.95/48.00	P	47.95/48.00	P
	50.00	P	50.00	P
3840x2160	50.00	i	50.00	P
	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
	23.98/24.00	PsF	47.96/48.00	P*
	25.00	PsF	50.00	P*
	29.97/30.00	PsF	59.94/60.00	P*
	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
	25.00	P	50.00	P*
	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
	50.00	P	50.00	P
	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P

信号システム			表示のしかた	
4096x2160	50.00	i	50.00	P
	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
	23.98/24.00	PsF	47.96/48.00	P*
	25.00	PsF	50.00	P*
	29.97/30.00	PsF	59.94/60.00	P*
	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
	25.00	P	50.00	P*
	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
	47.95/48.00	P	47.95/48.00	P
	50.00	P	50.00	P
	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P

*：フレーム2度描き

■ HDMI

信号システム			表示のしかた	
640x480	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
800x600	60.00	P	60.00	P
720x480P	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
720x576	50.00	P	50.00	P
1024x768	60.00	P	60.00	P
1280x720	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
1280x720	50.00	P	50.00	P
1920x1080	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
1920x1080	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
1920x1080	50.00	P	50.00	P
1920x1080	50.00	i	50.00	P
1920x1080	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
1920x1080	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
1920x1080	25.00	P	50.00	P*
1920x1080	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
2048x1080	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
2048x1080	50.00	P	50.00	P
2048x1080	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
2048x1080	25.00	P	50.00	P*
2048x1080	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
3840x2160	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
3840x2160	50.00	P	50.00	P
3840x2160	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
3840x2160	25.00	P	50.00	P*
3840x2160	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
4096x2160	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
4096x2160	50.00	P	50.00	P
4096x2160	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
4096x2160	25.00	P	50.00	P*
4096x2160	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*

*：フレーム2度描き

エラーメッセージ

メッセージ		説明と対処法
キャリブレーション	外付けセンサーの初期化に失敗しました。	CA-310、CA-210の説明書をご覧ください。
	エラーが発生したため、キャリブレーションを終了しました。	- 外付けセンサーの設置や接続を確認し、キャリブレーションをし直してください(📖26)。 - CA-310、CA-210のマトリックス校正を行ってください(📖26)。
	キャリブレーションを終了しました。 (目標輝度より低い輝度で設定しました)	キャリブレーションの「ルミナンス」を再設定してください(📖54)。
	外付けセンサーの検出に失敗しました。 センサーの接続を確認してください。	外付けセンサーを本機のUSB端子に正しく接続してください。
ネットワーク	通信エラーが発生しました。	IPアドレスが重複している、またはネットワーク通信異常などの可能性があります。ネットワーク環境をご確認ください。
	IPアドレスが不正です。	正しいIPアドレスを入力してください。
	サブネットマスクが不正です。	正しいサブネットマスクを入力してください。
各種設定、CDLのエクスポート	USBメモリーの空き容量が不足しています。	別のUSBメモリーを接続するか、メモリー内の情報を削除してください。
	ファイルの書き込みに失敗しました。	USBメモリーに不具合がある、またはプロテクトされている可能性があります。USBメモリーをご確認ください。
LUT、各種設定、CDLのインポート	(LUTインポート時)異なるLUTタイプのファイルです。 (CDLインポート時)異なるファイル形式です。	正しいファイル形式を選択してください。
	ファイルの読み込みに失敗しました。	USBメモリーに不具合がある、またはプロテクトされている可能性があります。USBメモリーをご確認ください。
	インポートに失敗しました。	インポートするファイルに異常があります。ファイルをご確認ください。
	インポートファイルがありません。	USBメモリー、または「User 1-3」にインポートファイルが入っているかをご確認ください。
スクリーンキャプチャー	キャプチャーに失敗しました。	USBメモリーに不具合がある、またはプロテクトされている可能性があります。USBメモリーをご確認ください。
	無効な映像信号です。	無信号や、非対応の信号が入力されているなど、映像が表示されていない画面をキャプチャーしています。信号を確認後に再入力し、キャプチャーしてください。
	コピープロテクトされています。	キャプチャーしようとした信号は、HDMIのコピー保護規格HDCP 2.2でプロテクトされている可能性があります。この場合、キャプチャーはできません。HDMI信号をご確認ください。
	キャプチャーファイルの再生に失敗しました。	USBメモリーまたはファイルに不具合がある、またはプロテクトされている可能性があります。USBメモリーまたはファイルをご確認ください。
	キャプチャーファイルがありません。	USBメモリーにキャプチャーファイルが入っているかをご確認ください。

メッセージ		説明と対処法
ハードウェア	バックライトの異常を検出しました。	電源コードをいったん抜いてから再度接続し、電源を入れてください。 それでもこのメッセージが表示される場合には、お客様相談センターにご相談ください。
	ファンの異常を検出しました。	
	パネルの異常を検出しました。	
	I/F部の異常を検出しました。	
	システムエラーを検出しました。	
	温度が高いため、ファンを停止できません。	本体内部の温度が高くなっています。電源を切ってファンが止まるまでしばらくお待ちください。
入力信号	無信号	映像信号が入力されていないときに表示されます。
	非対応信号	非対応の映像信号が入力されています。対応信号フォーマット(□98)をご確認ください。
操作	操作は無効です。	操作ができません。各設定項目をご確認ください。
	プロテクト設定中です。	OSDメニューを操作する場合には、「プロテクト」にフォーカスを移動させ、ジョグダイヤルを約3秒長押ししてください。
	CDL/User LUTバイパス設定中です。	「CDL/User LUTバイパス」が「オン」のときは、「Power」、「Saturation」、「Offset」、「Slope」の調整はできません。
	パスワードが不正です。	正しいパスワードを入力してください。
USBメモリー	USBメモリーが接続されていません。	USBメモリーを本機のUSB端子に正しく接続してください。
	非対応USBメモリーです。	USBメモリーのフォーマット種別やセキュリティがかかっているかをご確認ください。
Wi-Fiアダプター	Wi-Fiアダプターが接続されていません。	Wi-Fiアダプターを本機のUSB端子に正しく接続してください。
	Wi-Fiアクセスポイントに接続できませんでした。	パスワードが異なる、またはネットワーク通信異常などの可能性があります。ネットワーク環境をご確認ください。
ファームウェアのアップデート	アップデートファイルがありません。	ファームウェアのアップデートファイルがUSBメモリーなどに保存されていません。
	アップデートファイルの読み込みに失敗しました。	ファイルに異常があります。ファイルをご確認ください。
	ファームウェア/ライセンスはアップデート済みです。	本機でのアップデートが適用されているファイルです。
DC電源	DC入力電圧が低下しています。	DC電源の入力電圧が、約22.5 V未満になったことを示します。DC電源の電圧をご確認ください。
	DC入力電圧が低下しています。電源オフします。	DC電源の入力電圧が、約21.0 V未満になったことを示し、電源を切にします。23.5 V以上のDC電源を接続し、  ボタンで電源をいれてください。
	DC入力電圧が異常です。電源オフします。	DC電源の入力電圧が、約35.8 V以上になったことを示します。DC電源の入力電圧をご確認ください。

こんなときは

症状	原因と対処	
電源が入らない (電源ランプが点灯しない)	⏻ボタンを押してください。 - AC電源またはDC電源コードが正しく接続されていることをご確認ください。 - 電源ランプの明るさがオフになっている可能性があります。オフ以外に設定してご確認ください。	12
		20
		89
画面が表示されない	電源ランプが点灯しない場合	12
	⏻ボタンを押してください。 - AC電源またはDC電源コードが正しく接続されていることをご確認ください。	20
	電源ランプが橙色に点灯している場合	12
	電源ランプが橙色に点滅している場合 - 点滅が3秒間に1回のとき：お客様相談センターにご相談ください。 - 点滅が3秒間に2回のとき： ⏻ボタンで電源を入れてください。 - 使用環境によっては、本体の温度が予想以上に高く(低く)なる場合があります。環境条件(📖95)をご確認ください。 - また、直射日光が当たらないようにしてください。 - それでも電源が入らない場合は、お客様相談センターにご相談ください。	12 95
DC電源使用時に電源が急に切れる	ご使用のDC電源によっては、しきい値になると電圧を0にする機種があります。その場合、電圧の低下を示すメッセージは表示されません。充電されたDC電源またはAC電源を接続してください。	—
希望の画像が表示されない	入力信号に合わせて、「チャンネル設定」の各項目を適切に設定してください。	58
3G-SDI RAW信号の映像が表示されない	CINEMA EOS SYSTEMカメラの機種により、3G-SDI RAW信号の映像を表示できない場合があります。対応製品については、キヤノンのホームページでご確認ください。	—
Quad Input/Dual Inputのときに、表示されないエリアがある	信号が入力されていない可能性があります。インターフェース部にある表示エリアアイコンで、入力エリアと信号ケーブルが正しく接続されているかをご確認ください。	18
	端子ごとに異なる解像度、周波数の信号が入力されている可能性があります。信号をご確認ください。	94
映像が一時的に静止する	Webブラウザーを使用して「Capture」を実行している場合、画面が静止することがあります。「Capture」を終了する、または「Web」→「コントロール」を「オフ」にすると、通常の画面に戻ります。	36
画面が明るすぎる／暗すぎる	- OSDメニューの「コントラスト」を調整してください。 - 液晶ディスプレイのバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになった場合には、お客様相談センターにご相談ください。	45

症状	原因と対処	
焼き付きが現れる	この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することを極力避けることをお勧めします。	—
画面に点灯しないドットがある、または赤、青、緑、白のドットがある	液晶ディスプレイは、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。	—
画面上に干渉縞が見られる／液晶パネルを押したあとが消えない	画面全体に白い画像または黒い画像を表示してください。症状が解消されることがあります。	—
OSDメニューが操作できない	「設定プロテクト」が設定されていないことをご確認ください。	89
「アスペクトマーカー」、「セーフティゾーンマーカー」、または「エリアマーカー」が表示されない	無信号、非対応信号、または「入力設定」が設定されていないチャンネルを選択している可能性があります。信号をご確認ください。	94
「カメラリンク」の「ファン」を「オン」、または「ファン停止」を「オン」にしているのに、ファンが回転を始める	AC電源使用時の停止時間は約1分です。長く停止させたい場合は、DC電源をご使用ください。	82
	「カメラリンク」の「ファン」を「オン」にしているとき、停止時間はカメラと一致しない場合があります。	90
「カメラリンク」の「ファン」を「オン」、または「ファン停止」を「オン」にしたのに、ファンが停止しない	本機の内部温度が高い場合、ファンは停止しません。内部温度が下がってから、設定してください。	82
	高温下など周囲の環境によっては、ファンが停止しない場合があります。使用温度(95)以下でご使用ください。	90
「設定プロテクト」のパスワードを忘れた	本機がスタンバイ状態のとき、ジョグダイヤルとボタンを押してください。パスワードが未設定状態にリセットされます。	12
電源を入れたとき、前回電源を切ったときの状態で起動しない	OSDメニューの「パワーオン設定」をご確認ください。「ラストメモリー」に設定すると、前回電源を切ったときの状態で起動します。	91
「ピクチャーモード」のUserモードの画質がプリセットの画質と異なる	「ピクチャーモードコピー」でプリセットモードを選択し、設定内容をコピーしてください。	55
左右の画面の画質が異なる	「チャンネル設定」→「ピクチャーモード」の設定をご確認ください。	25
画質が自動で変更される		60
同一の映像が2画面に表示される	「チャンネル設定」→「1入力 Dual View」の設定をご確認ください。	61

保証書とアフターサービス

本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

■保証書

本機には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。

■アフターサービス

製品の保証について

- 使用説明書、注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、保証書を製品に添付のうえ当該保証期間内に弊社修理受付窓口、またはお買い上げ店までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。また、お買い上げ店と弊社間の運賃諸掛りにつきましても、一部ご負担いただく場合があります。
- 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- 保証期間経過後の修理は有料となります。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承ください。

修理を依頼されるときは

故障内容を明確にご指示ください。また、修理品を送付される場合は十分な梱包でお送りください。

アフターサービス期間について

ディスプレイのアフターサービス期間は、製造打ち切り後8年です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種への本機交換を実施させていただく場合があります。その場合、旧製品でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことがあります。

修理料金について

- 故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。
- 窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

修理について

■修理に出すまえに

ご自身で変更した各種設定については、修理の前に必ずUSBメモリーにバックアップしてください(91)。なお、修理によって設定がリセットされた場合の補償についてはご容赦ください。

■修理のお問い合わせは

キヤノンお客様相談センター

050-555-90006 (全国共通)

平日：9:00 ～ 17:00

土日祝日と年末年始、弊社休業日はお休みさせていただきます。電話番号はよくご確認の上、おかけ間違いのないようお願いいたします。

- 購入年月日、製品の型名、故障内容を明確にお伝えください。不具合内容を確認の上、修理方法をご案内いたします。
- 修理を承る窓口をご案内いたします。
- 修理品の引き渡し方法(宅配便発送)やお届けについてご案内いたします。

本機で使用しているソフトウェアについて

本機に組み込まれているソフトウェアは、当社または第三者のソフトウェアモジュールが含まれています。

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア

当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約条項およびその他の準拠法によって保護されています。

また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアモジュールを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License v2(以下、GPL)、GNU Lesser General Public License v2.1(以下、LGPL)またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアモジュールが含まれています。

本機に組み込まれているフリーソフトウェアモジュール

- | | | | |
|-----------------|----------------|-----------------------------|------------------|
| • linux kernel | • busybox | • glibc | • JFFS2 |
| • SquashFS | • FUSE | • libfuse | • libupnp |
| • avahi-autoipd | • libxml | • zlib | • libpng |
| • Newlib(libc) | • Newlib(libm) | • wireless_tools | • wpa_supplicant |
| • openssl | • libnl | • RealTek_WiFi_linux driver | |

フリーソフトウェアのソースコードの入手方法

フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアモジュールを配布する条件として、そのモジュールのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびにGPL、LGPL、およびその他のライセンス契約の確認方法については、製品をお買い上げいただいた販売会社にお問い合わせください。

本機で使用しているソフトウェアのライセンス表示

ライセンス表示の義務

本機に組み込まれているソフトウェアモジュールには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そのライセンス表示を、以下に提示します。

■libupnp License

Copyright (c) 2000-2003 Intel Corporation All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither name of Intel Corporation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE

ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL INTEL OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■libxml License

Copyright (C) 1998-2003 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE DANIEL VAILLARD BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Daniel Veillard shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from him.

■Newlib(libc) License

Copyright (c) 1990 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of California, Berkeley. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Copyright (c) 1991, 2000 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■Newlib(libm) License

Copyright (C) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Developed at SunPro, a Sun Microsystems, Inc. business.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software is freely granted, provided that this notice is preserved.

■openssl

Copyright (C) 1998-2017 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

■wpa_supplicant

Copyright (C) 2002-2016, Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors
All Rights Reserved.

This software may be distributed, used, and modified under the terms of BSD license:

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

索引

番号	
1入力 Dual View	61
2 Sample Interleave	58
3G-SDI RAW	58
200%(スクリーンスケーリング)	64
2020 ガマツトマッピング	54
2020 コンスタントルミナンス	54
2020 色域外表示	85

A	
ACESproxy	45
Adobe RGB	45

C	
Canon Log、Canon Log 2、Canon Log 3	47
CDL/User LUT	52
CDL/User LUTバイパス	52
CDLエクスポート／インポート	30
CINEMA EOS SYSTEM(ピクチャーモード)	45
Cinema Gamut to 709	47
Cinema Gamut to 2020	47
Cinema Gamut to DCI	47

D	
DCI-P3	45
DCI-P3+ to 709	47
DCI-P3+ to DCI	47
Dual Input	58
Dual Link 3G-SDI	58

E	
EBU	45

G	
Gamma LUT	47
Gamut LUT	47

H	
HDMI	13、19、90
HDMIリンク	55
HDR/SDR比較表示	54
HDRレンジ	49、83
Hybrid Log-Gamma	47
Hybrid Log-Gamma System	54

I	
Image Division	58
Input Transform	50
I/PsF	66
I/P変換	66
ITU-R BT.709	45
ITU-R BT.1886	47
ITU-R BT.2020	45

L	
LAN	13
LTC	73
LUTインポート	28、53

M	
MACアドレス	94
Marker/TC/WFM/VEC端子	59
Multi View (Dual)	58
Multi View (Quad)	58

N	
Native Input Resolution (スクリーンスケーリング)	64

O	
Offset	52
OSD一時消去	87
OSDサイズ	89
OSD設定	89
OSDポジション	89
OSDメニュー	21、38
Output Transform	50
Output Transform Surround	50

P	
PLUGE(テストパターン)	78
Power	52
Preset Gamut	47
Preset Log	47
PsF	66

Q	
Quad Input	58

R		カメラリンク.....	79
Ramp(テストパターン).....	78	カラーガマット.....	47
S		カラーバー(テストパターン).....	78
Saturation.....	52	カラーレンジ.....	51、90
SDI.....	13、18	ガンマ/EOTF.....	47
Single Input.....	58	キャリブレーション.....	26、54
Slope.....	52	グリーンオフ.....	85
SMPTE-C.....	45	グリッドマーカ.....	72
Square Division.....	58	グレイ(テストパターン).....	78
U		グローバルディミング.....	46
USB.....	12	クロマ.....	45
User 1-7.....	45	ゲインR/G/B.....	46
User LUT.....	52	言語.....	87
V		互換設定.....	90
VITC.....	73	コントラスト.....	45
W		サ	
Web.....	36、88	サブネットマスク.....	88
Wi-Fi.....	35、88	シェーブトレース.....	65
Y		シグナルインフォメーション.....	94
YCbCr カラーマトリクス.....	53	システムインフォメーション.....	94
ア		システム設定.....	87
アスペクトマーカ.....	68	自動画質設定(ARRI).....	80
アナモフィック.....	64、81	自動画質設定(CINEMA EOS).....	79
色温度.....	46	自動画質設定(VARICAM).....	81
インターナルシンク.....	59	シャープネス.....	45
インモニターディスプレイ.....	88	詳細設定	
エクスポート／インポート.....	29、91	CDL.....	52
エリアマーカ.....	71	画質設定.....	53
エリアマーカ(カメラリンク).....	81	使用時間.....	94
オーディオ設定.....	67	シリアルNo.	94
オーディオレベルメータ.....	76	ズーム.....	65
オーバーレンジ.....	84	スクリーンキャプチャー.....	78
音声端子.....	59	スクリーンスケーリング.....	64
カ		スケーリング法.....	65
画質設定.....	45	セーフティゾーンマーカ1、2.....	69
画質設定アンカー.....	24、55	設定プロテクト.....	89
画質設定リセット.....	55	セパレーター.....	61
画質優先.....	66	セレクトチャンネル.....	58
カスタム(xy)(色温度).....	46	全設定リセット.....	91
カメラインフォメーション.....	82	センターマーカ.....	72
		速度優先.....	66
		タ	
		タイムコード.....	73
		チャンネル設定.....	58

チャンネル名	31、59
ディスプレイ設定	64
ディスプレイチャンネル	87
ディスプレイファンクション／ ディスプレイファンクション(CDL)	87
ディスプレイ名	31、89
テストパターン	78
電源ランプ 明るさ	89
電源ランプ／本体ボタンLED設定	89

ナ

ニアレストネイバー	65
日時	30、87
入力信号選択	58
入力設定	58
ネットワーク	88
ネットワーク/IMD設定	88

ハ

バイアスR/G/B	46
バイキュービック	65
波形モニター	74
パスワード	88、89
バックグラウンドカラー	66
バックライトコントロール	46
バックライトスキャン	86
バナー表示	89
パワーオン設定	91
ピーキング	83
比較表示	86
ピクセル値チェック	76
ピクチャーファンクション設定	83
ピクチャーモード	45、60
ピクチャーモードコピー	55
ファームウェア/ライセンスVer.	94
ファームウェア/ライセンスアップデート	90
ファン(カメラリンク)	82
ファンクション設定	73
ファンクション／チャンネルボタン	87
ファンクションボタンガイド	89
ファン設定	90
フィルムケイデンス	66
ブースト(コントラスト)	53
フォーマット	59
フォルスカラー	83
ブライトネス	45

ブラック(テストパターン)	78
ブルーオフ	85
ブルーオンリー	85
フレーム輝度モニター	77
フレームホールド	66
ベクトルスコープ	75
ホワイト(テストパターン)	78
本体ボタン 点灯設定	89
本体ボタン名 点灯時間	89

マ

マーカー設定	68
マーカープリセット	68
モノクロ	85

ラ

レッドオフ	85
ローカルディミング	46

製品の取り扱い方法に関するご相談窓口

キヤノンお客様相談センター

050-555-90006(全国共通)

平日：9:00 ～ 17:00

※土日祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。

※上記番号をご利用いただけない方は、03-5428-1208にお問い合わせください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってはつながらないことがあります。

キヤノン 動画ディスプレイホームページ

動画ディスプレイホームページを開設しています。

最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方はぜひお立ち寄りください。

キヤノン 動画ディスプレイ製品情報

canon.jp/v-display

キヤノン サポートページ

canon.jp/support

■保証書は必ず「購入店・購入日」などの記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

■本書の記載内容は、2018年5月現在のものです。

製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。最新の情報および説明書については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6